

平成27年度
事業報告書



社会福祉法人
多摩市社会福祉協議会

《事業報告書本編の見方》

多摩市第3次地域福祉活動計画後期計画の事業名

- 事業種別→【重点】【新規】【継続】
- 財 源→【自主】【補助】【委託】
- 【自主】会費、共同募金、歳末たすけあい、収益事業、寄付金
- 【補助】多摩市補助金
- 【委託】多摩市委託金、東京都社会福祉協議会委託金

事業名		① 地域福祉推進委員会の設置・運営支援
事業種別・財源・担当係		重点・継続 自主・補助
実施目標	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 未設置2エリアにおいては、民生児童委員や自治会・住宅管理組合、コミュニティセンター、老人クラブ等との連携を強化し、地域懇談会を開催するなど、設置に向けた活動を進めます。
	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第10エリア（唐木田・中沢・山王下）に委員会設置 ・ 第4エリア（新寺方・和田）において地域懇談会開催
取組結果		<ul style="list-style-type: none"> ・ 第10エリアにおいては、多摩センター地域包括支援センターと共同で今年度（平成27年度）に点検を実施した。また、多摩市総合地区災害対策連絡協議会に山手区、目黒区、住宅管理組合・青少年問題協議会、小学校等と見守りや防災についての懇談を行った。関係団体との関係性を構築しながら、委員会立ち上げを目指す。

多摩市第3次地域福祉活動計画後期計画（平成26年度から平成28年度まで）の実施目標

の実施目標

重点事業報告

1 地域住民が主体的に行う支え合いの仕組みづくり

「誰もが安心して暮らせるまち」をめざし、地域住民を始め、地域で活動する多様な機関・団体に参画いただき、コミュニティづくりや居場所づくりなど地域課題の解決に向けて住民主体で運営できるようコーディネートとネットワークの構築を行った。

■地域福祉推進委員会を中心とした小地域福祉活動の推進

- ① 地域福祉推進委員会未設置の第4エリア（東寺方・和田）と第10エリア（唐木田・中沢・山王下）では、社協役員と連携を密にし、地域住民懇談会を開催した。各地域内の自治会・住宅管理組合、民生委員、老人クラブ、地域包括支援センター、自主防災組織などの団体と設置に向けて検討を重ねて、第4エリアと第10エリアに地域福祉推進委員会が立ち上がった。
- ② 地域福祉推進委員会が設置された8ヶ所のエリアについては、参画している自治会やコミュニティセンター、専門職、専門機関との連携が強化され、住民が主体的に地域課題の解決に向け情報交換や共有を密にすることにより、「健康に関する」各種講座や、「世代間交流」「まちあるき」などを実施した。特に世代間交流では、近隣の小中学校や大学等との連携がはじまったエリアもあり、新しい参加者の確保や、担い手の発掘等にも努めた。
- ③ コミュニティセンター等市内8ヶ所で、健康チェックや脳トレ、健康体操などをまじえた「ふくし何でも相談」を地域包括支援センターと共催で実施することにより、来場者を増やし顔見知りになる中で相談や福祉ニーズの発掘に努めた。
- ④ 地域福祉推進委員会の中では、「見守り」をテーマとしたグループ討議を継続し、「地域住民でできる」見守り等について検討した。「見守りサポーター養成研修」の実施や、「見守りウォーキング」など具体的な事業を実施したエリアもあった。
- ⑤ サロン登録基準を見直し、「補助金の見直しと新たな要綱設置及び登録様式」を策定した。新規のサロンが9か所増え、サロン数が増えてきたため、補助金の期間を延長し、継続してサロン活動を支援していくようにした。また、サロンのない地域に「出前サロン」として体験サロンの実施は今後も継続していく。

2 災害時の支援体制の整備

多摩社協では、大規模災害が発生した際に、被災者に対する支援活動を行う「多摩市災害ボランティアセンター」を設置・運営することになっている。

このことから、研修や設置・運営訓練などを実施した。

■災害ボランティアセンターの設置設備・運営体制の整備

- ① 災害時に多摩社協職員として必要な行動をとり、速やかに災害ボランティアセンターを設置するため、10月に正規職員、嘱託職員を対象に参集訓練を実施し、参集状況及び「多摩市社会福祉協議会災害時職員行動マニュアル」について改めて確認することができた。

- ② 災害ボランティアセンター設置・運営訓練を行うにあたり、「災害ボランティアセンタースタッフボランティア活動体験」等各種研修を行い、参加者からは役割について理解できたとの声が多く聞かれた。
10月には、社協役職員、多摩ボラセン運営委員、ボランティアなどを対象に「災害ボランティアセンター設置・運営訓練」を実施した。訓練から得た課題等を整理した上で、災害ボランティアセンター設置・運営マニュアル見直し検討専門委員会において、マニュアルの様式見直し作業等を行い、マニュアルの改訂を行った。

- ③ 災害ボランティアセンター設置・運営に必要な資器材の整備については、現状確認までにとどまった。

- ④ 地域福祉推進委員会との連携として、「個人情報保護法の誤解と真実」の講座を開催した。

3 参加者の発掘と参加促進

多摩市には、ボランティア・NPO 団体等において活動している方以外にも、企業に勤める社員や学生、シニア世代と、地域活動の担い手となる人材が多く存在している。

地域に存在するこれらの力を地域活動への参加へつなげていくために、各種講座や地域活動の情報交換を行い、参加者の発掘と参加促進を行った。

■市民・企業・小学校・中学校・高等学校・大学等の地域活動等への参加促進

- ① 地域福祉推進委員会が地域のニーズを拾い「支えあいとプライバシー」をテーマに、全市的な普及啓発講座として「個人情報保護法の誤解と真実」の講座を企画実施し、講座の中から自治会・住宅管理組合で活用できる「見守りの事例」等の紹介も行った。
- ② 各地域福祉推進委員会では、地域性に応じた「まちあるき」が定着している地域もあり、近隣の小中学校と連携して実施するなど、自分が住んでいる地域を知り、多世代が地域活動への参画をするきっかけづくりを行った。
- ③ 小中学生から高齢者まで様々な世代がボランティア・地域活動に参加するきっかけとなるよう、「夏のボランティア体験」の実施や、車いす整備ボランティアの養成等の「市民活動入門講座」などを実施した。
また、学校が実施する福祉学習において、福祉機器の貸出やボランティア団体や職員を派遣等も行った。
- ④ 特技を持った個人ボランティアや団体のボランティア登録を進め、地域の施設等からのニーズに応じてボランティア活動へつなげることにより、活動者の地域活動への参加促進に努めた。
- ⑤ 企業や大学が行う社会貢献活動を後押しするため、「多摩地域企業情報交換の集い」の開催や、企業・大学等が行う授業・研修に講師派遣や福祉機器等の貸出等を行うことで、社員・学生の知識や経験、スキルなどの力を地域活動につなげ、企業・団体での取組事例の紹介や情報交換・情報提供等を行い、地域活動に参加できるように努めた。

4 権利擁護事業の充実と拡充

多摩市では、平成26年度に高齢化率が25%を超え、核家族化と高齢期の長期化が進み、家族の生活形態も大きく変化してきており、高齢者や知的・精神障がい者など、成年後見制度や地域福祉権利擁護事業の利用を必要とする市民も年々増加している。

これらのことから、地域福祉権利擁護事業等の充実を図り、成年後見制度利用者への支援を行った。

■地域福祉権利擁護事業等の充実 ■成年後見制度利用者への支援

- ① 市民向け・事業所向け事業説明会や、市と共催で市民の方を対象とした成年後見制度の講座等を開催し、成年後見制度や地域福祉権利擁護事業等の普及啓発を図るとともに利用促進に努めた。また、成年後見制度を利用する相談者に対して成年後見制度申立書類の書き方や、必要書類について対応を行った。

- ② 後見人・保佐人・補助人支援会議を開催し、後見業務等における疑問等の解決を図るとともに、後見人・保佐人・補助人及び受任予定の市民の交流を促進し、後見業務の支援を行った。

I 一人ひとりにやさしい地域づくり

1 小地域福祉活動の推進

(1) 地域住民が主体的に行う支え合いの仕組みづくり

事業名		① 地域福祉推進委員会の設置・運営支援		
事業種別・財源・担当係		重点・継続	自主・補助	まちづくり推進係
実施目標	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> 未設置2エリアにおいては、民生・児童委員や自治会・住宅管理組合、コミュニティセンター、老人クラブ等との連携を強化し、地域懇談会を開催するなど、設置に向けた活動を進めます。 設置8エリアについては、地域特性に合わせた講座等の普及啓発事業を実施し、住民自身が地域課題に気づき、課題解決に向かうよう支援します。 世話人会による主体的運営及び、部会制の導入等による効果的な活動を支援します。 エリア毎に専門機関の連携を強化し、地域住民主体による、見守り、支え合い活動が機能するよう、重層的なネットワークの構築を推進します。 自治会等の小単位で行われる集会等に積極的に出向き、活動内容や必要性をより分かりやすく説明するとともに、ホームページ等の活用により、広く住民に周知します。 		
	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 第4・第10エリアに委員会設置 地域特性に合わせた普及啓発講座の実施 世話人会へ提供する情報の充実および部会設置支援 地域特性に合わせた支え合いに関する事業の検討、実施 自治会役員会等への出席等周知活動の強化 委員会の設置要綱を作成し、活動内容目的などを明確化する。 		

取組結果	<ul style="list-style-type: none"> 第 4 エリア及び第 10 エリアは地域住民懇談会を経て、7 月に両エリアとも地域福祉推進委員会が立ち上がった。 第 4 エリアはオープニングとして 9 月に防災イベントを開催、年度末には世話人会体制も整い、来年度早々に地域の居場所である「三方の森ふれんど広場」開催に向けて準備を進めた。 第 10 エリアは、居場所づくりに向けて他地域のサロン見学や、また 3 月にはからきだ菖蒲館との共催で「桜まつり」を開催した。 第 2、4、10 エリアでは委員会をテーマごとの小グループに分けて、それぞれで議論を深めた結果、各グループ参加者主体で地域の大学との連携やイベント企画、防災に関する HUG 講座の企画等の取り組みが進んだ。 委員会設置済みのエリアでは、まち歩きや子どもの見守り等、関係機関や地域の小・中学校や地域団体との新たなネットワークの構築が図れ、地域との連携に結び付いた。
------	--

事業名		② 地域福祉推進委員会連絡会の設置		
事業種別・財源・担当係		継続	自主・補助	まちづくり推進係
実施目標	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> 各地域福祉推進委員会の世話人が、定期的に情報交換・共有することにより、他のエリアの活動や取り組み状況等について理解を深めるとともに、各委員会活動の活性化に結び付くよう支援します。 全市的に共通する課題に関する情報を共有することにより、各委員会が一体となって課題解決に向けた取り組みが行えるよう支援します。 		
	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 委員会活動を行う上での課題等のテーマを定めて 1 回以上開催 		
取組結果		<ul style="list-style-type: none"> 平成 27 年 7 月 30 日に第 1 回連絡会を実施し、広報紙の取組みと地域福祉推進委員会の活動拡大について情報交換を行った。(参加者 22 人) 平成 28 年 3 月 1 日に第 2 回連絡会を実施した。介護保険制度改正を受けた多摩市の取組みの情報提供を行うとともに、今後の地域福祉推進委員会の役割や方向性についての意見交換を行い、今後の課題についての整理を行った。(参加者 42 人) 		

事業名		③ ふれあい・いきいきサロン、ラウンジ活動の推進		
事業種別・財源・担当係		継続	自主・補助	まちづくり推進係
実施目標	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> 自治会等の小単位で、個別の説明会や体験型の「出前サロン」を実施するなど、サロンの必要性を訴える機会を積極的に設けます。 わかりやすい内容のチラシやパンフレットを作成し、地域の施設に設置するなど、地域住民がサロン活動に目を向けやすい環境をつくります。 老人クラブやPTA、青少年問題協議会等と連携し、子育て世代から高齢者まで幅広い世代を対象に、サロン活動を周知します。 地域福祉推進委員会の設置エリアにおいては、委員会参加団体と連携・協力しながら、エリア内でサロンが無い地区での立上げを支援します。 民生・児童委員や地域包括支援センターと連携し、サロン参加者の個別的な課題の解決につなげます。 市内におけるサロン活動がより活発に展開されるよう、サロン登録要件やサロン立上げ支援、活動を継続させるための支援等の内容を見直し、登録サロン活動の拡充に努めます。 		
	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> サロン・ラウンジ登録数を70以上にする。 自治会や子育て関係団体等と連携し、各エリアの状況に応じてサロン活動のない地域にて「出前サロン」の開催を実施 サロンの登録基準を見直し、補助金の見直しと新たな要綱設置及び登録様式を策定 		

取組結果	<ul style="list-style-type: none"> • サロン・ラウンジ登録数は、新規サロン9ヶ所を含む52登録サロンの他、ラウンジ活動等も含め合計64サロンが活動中。 • サロン説明会を2回開催（7月：参加者13人 1月：参加者16人） • 地域福祉推進委員会や民生委員、地域包括支援センターと連携をとり、サロン参加者に福祉情報を提供することで、認知症の方の見守り等緩やかな支援につながった。 • サロン通信4回発行。 • サロンへの支援を継続・強化するために、多摩社協のサロン登録に関する要綱及び助成基準の見直しを行い、要綱を改正した。
------	--

事業名		④ ふれあい・いきいきサロン連絡会・交流会の実施		
事業種別・財源・担当係		継続	自主・補助	まちづくり推進係
実施目標	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> • エリア毎に行うサロン連絡会において、活動者が定期的に情報交換することにより、各サロンの連携及び活動の活性化を促進する機会とします。 • サロン活動の課題でもある、担い手不足や財源不足、プログラム企画などの課題に対し、地域内のサロンが連携し助け合うことで、サロン活動を継続していく仕組みを作ります。 • 市内全サロンを対象としたサロン交流会を開催します。 		
	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> • 各エリアのサロン同士の連携と交流を推進。 • サロン交流会を1回以上実施 		
取組結果		<ul style="list-style-type: none"> • 平成28年2月2日にサロン交流会を実施し、介護保険制度改正に伴う多摩市の取組みや地域包括支援センターのエリア改正についての情報提供を行い、新しい地域包括支援センターの担当エリア毎で情報交換を行った。また、平成28年度からの要綱改正の説明も行き、登録サロンへ周知した。（参加36サロン、関係者も含め参加者72名） 		

事業名		⑤ たすけあい有償活動の推進		
事業種別・財源・担当係		継続	自主	まちづくり推進係
実施目標	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> 相談件数や、協力員が少ないエリア（主に既存地域）では、自治会等の小単位で個別的な説明会を開催し、事業の周知に努めます。 地域福祉推進委員会の設置エリアにおいては、参加の地域住民の方に協力いただき、隠れたニーズや協力員として活動できる人材を発掘します。 相談内容の多様化に対応するため、外部講師の活用などにより、研修内容を初任者研修とステップアップ研修などに分けて実施し、協力員のスキルアップを行います。 民生・児童委員や地域包括支援センター、ケアマネジャー等の専門職・機関との連携を強化し、支援が必要な人たちを、必要な機関にコーディネートします。 わかりやすい内容のチラシやパンフレットを作成し、地域の施設に設置するなど、サービスにつながりやすい環境をつくれます。 		
	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 自治会等における説明会の実施 サロンや地域福祉推進委員会での広報活動 協力員初心者研修、ステップアップ研修を各1回実施 ニーズ把握等について地域包括支援センターなど関係機関と連携 		
取組結果		<ul style="list-style-type: none"> 6月25日に協力員に対し「見守りサポーター養成講座」（初任者研修）を実施。 12月16日に協力員に対し「高齢者疑似体験とサポートについて」（ステップアップ研修）を実施。 新規相談153件（平成26年度は132件）。そのうち、地域包括支援センターなど関係機関からの紹介は61件。 協力員説明会の実施に向けて、重点エリア（永山、連光寺、聖ヶ丘）にポスティングを行った。（ポスティング件数：約2,000件、内参加申込：4人） 自治会、住宅管理組合での会員募集の説明やふれあい・いきいきサロン訪問に際し、パンフレットを持参し事業周知を強化した。 		

事業名		⑥ 地域住民活動組織との連携・支援強化		
事業種別・財源・担当係		継続	自主・補助	まちづくり推進係
実施目標	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> • コミュニティセンター及び自治会・住宅管理組合等と連携し、地域住民に対し、より身近な福祉情報の提供に努めるとともに、地域住民同士の顔の見える関係づくりや地域活動へ参加するきっかけづくりに取り組みます。 • 自治会・住宅管理組合の福祉活動を支援する手法を見直し、住民自治活動の活性化に努めます。 		
	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> • 地域住民間のつながりが強化できるよう自治会・住宅管理組合にふくし活動助成金を周知し住民活動につなげる。 • 自治会・住宅管理組合、老人クラブ、コミュニティセンター等の事業にコーディネーターとして参加 		
取組結果		<ul style="list-style-type: none"> • 65自治会・住宅管理組合へ申請に基づき助成金を交付した。 • コミュニティセンター等事業へ参加し、連携強化を図った。 (聖蹟さくらまつり、ゆう桜ヶ丘夏まつり、愛宕かえで館まつり、貝取こぶし館まつり、関戸つむぎ館まつり、地域ふれあいフォーラム TAMA、トムハウスまつり、からきだ菖蒲館まつり) • 自治会・住宅管理組合等事業へ参加、協力を行った。 (愛宕連絡協議会夏祭り、落合ふるさと夏祭り、馬引沢・諏訪地区合同防災訓練、聖ヶ丘中学校周辺地区合同防災訓練) 		

2 ボランティア・市民活動の推進

(1) 運営体制の強化・拡充

事業名		① 多種多様な幅広い市民や団体等の参画による運営		
事業種別・財源・担当係		継続	自主・補助	多摩ボランティア・市民活動支援センター
実施目標	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い分野で活動している関係者や思いをもった市民などの参加が、これまで以上に得られるように、運営委員会規程を見直します。 常に化するニーズや課題に対応するため、各種専門委員会を再編・設置しながら、解決に向けた検討を行い、運営委員及び専門委員と一体となって、市民に開かれた、市民に必要とされる多摩ボラセンの運営を推進していきます。 ボランティアコーディネーターの専門性を高める研修等を実施します。 		
	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 運営委員会規程の見直し・改正に向けた検討 外部委員を積極的に活用し、各種専門委員会を充実 		
取組結果		<ul style="list-style-type: none"> 運営委員の長期欠員等の改善、ボランティア活動等振興助成金審査会の位置付けについて、運営委員会規程・内規の見直しを行った。 ボランティアセンター職員としての専門性の向上を図るため、東京ボランティア・市民活動センターの主催する研修を受講し、今年度からセンターに着任した1名の職員が日本ボランティアコーディネーター協会の認定するボランティアコーディネーター3級資格を取得した。 		

(2) 活動の場や災害時の支援体制の整備

事業名		① 団体活動の場の整備		
事業種別・財源・担当係		継続	自主・補助	多摩ボランティア・市民活動支援センター
実施目標	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> 永山分室閉鎖後に活動団体が円滑に移転できるように、センター機能強化専門委員会において、本センター（ヴィータ・コミュニネ）や総合福祉センター分室の有効活用を含めて検討していきます。 		
	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 本センターの施設活用方法の見直し 		
取組結果		<ul style="list-style-type: none"> 拠点確保に向けて、多摩市の関係部署との情報収集を重ねながら、今後の方向性・具体的要望について内部で検討した。 		

事業名		② 災害ボランティアセンターの設置設備・運営体制の整備		
事業種別・財源・担当係		重点・継続	自主・補助	多摩ボランティア・市民活動支援センター、まちづくり推進係、総務係
実施目標	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時に多摩社協職員として必要な行動をとり、速やかに災害ボランティアセンターを設置するため、役職員等を対象とした参集訓練等を行うとともに、適宜「多摩市社会福祉協議会災害時職員行動マニュアル」の見直しを行います。 ・災害ボランティアセンターの円滑な運営のため、役職員、多摩ボラセン運営委員、ボランティアなどを対象に実践的な設置・運営訓練を行うとともに、適宜「多摩市災害ボランティアセンター設置・運営マニュアル」の見直しを行います。 ・災害ボランティアセンターを設置・運営するために必要な資機材等について整理し、不足するものをリストアップする中で市と調整し、整備を進めます。 ・大災害時の地域におけるニーズの把握や、要配慮者対応にボランティアを結びつけられるよう、地域福祉推進委員会等において地域防災の普及啓発活動を行うとともに、地域防災組織との連携強化を推進します。 ・各種訓練や研修会等を通じ、災害ボランティアセンターの設置・運営のためのスタッフとして、災害ボランティアの育成・登録を推進します。 		
実施目標	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・参集訓練を1回以上実施 ・センター設置・運営訓練を1回以上実施 ・センター設置・運営マニュアルの検証と見直し ・市と資機材等を協議し、不足する資材等の整備 ・災害ボランティアの育成 		
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ・10月に職員参集訓練を実施。今後も繰り返し実施しながら、災害時職員行動マニュアルを適宜見直していく。 ・災害ボランティアセンタースタッフボランティア活動体験を9月9日、9月24日、10月24日の全3回実施した。 ・10月24日に災害ボランティアセンター設置・運営訓練を実施し、訓練から得た課題等を整理した上で、災害ボランティアセンター設置・運営マニュアル見直し検討専門委員会において、センター設置・運営マニュアルを改訂した。 			

事業名		③ 災害時の要配慮者支援の啓発		
事業種別・財源・担当係		重点・継続	自主・補助	多摩ボランティア・市民活動支援センター、障がい者支援係、まちづくり推進係
実施目標	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> 地域福祉推進委員会等、地域の組織・団体などを通じ、冊子「災害時要援護者からのメッセージ」や「ヘルプカード」などの活用により、災害時要配慮者支援の必要性を啓発し、理解者を増やししながら、「避難支援者」の育成につながるように努めます。 		
	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 災害時要援護者からのメッセージを活用した啓発活動の実施 ヘルプカードの広報及び活用事業の実施 		
取組結果		<ul style="list-style-type: none"> 「災害時要配慮者からのメッセージ」を市総合防災訓練や小中学校で実施される防災訓練などで配布し、啓発を促した。 ヘルプカードのポスターをセンター内に掲示する他、窓口にてヘルプカードを配布・周知に努めた。 		

(3) 幅広い関係者との積極的な協働関係づくりの推進

事業名		① ボランティア・市民活動団体の登録促進・支援の充実		
事業種別・財源・担当係		継続	自主・補助	多摩ボランティア・市民活動支援センター
実施目標	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> 多摩市の強みである市民の力を活動に結び付けるため、活動団体に対する立ち上げ支援を強化しながら、ボランティア・市民活動の活性化及び振興を図ります。 		
	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 団体登録基準及び助成金要綱の周知の強化 登録団体数 70 団体以上 		
取組結果		<ul style="list-style-type: none"> 新団体登録基準及び助成金要綱をホームページにて周知。また、助成金の公募を行い、助成金交付額（全 17 団体）651,642 円を交付した。 登録団体数 69 団体（平成 28 年 3 月 31 日現在） 		

事業名		② 団体同士のネットワークづくりの推進	
事業種別・財源・担当係		継続	自主・補助 多摩ボランティア・市民活動支援センター
実施目標	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> 市内で活動しているボランティア・市民活動団体などによる活動紹介や、団体間の交流の機会の場づくりのため、ボランティアまつり及び多摩ボラセン登録団体等連絡会の充実を図ります。 	
	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 第7回ボランティアまつりの開催 参加67団体以上 多摩ボラセン登録団体等連絡会 加入35団体以上 	
取組結果		<ul style="list-style-type: none"> 平成28年1月23日(土)に第7回ボランティアまつりを開催。55団体の参加、42団体の協力を得た。また当日は63名のボランティアが運営に協力。なお、ボランティアまつりの開催に向け、平成27年6月から実行委員会を立ち上げ、企画・運営に係る検討・準備を進めた。平成28年2月(反省会)までに計9回実行委員会を開催した。 団体登録基準を見直し、今年度よりこれまでの登録団体とセンター利用団体を一本化するとともに、多摩ボラセン登録団体等連絡会の周知・加入に努めた。 加入団体数 25団体、1個人(平成28年3月末現在) 	

(4) 幅広いニーズキャッチの仕組みと体制づくりの推進

事業名		① 地域での相談体制の整備・拡充	
事業種別・財源・担当係		継続	自主・補助 多摩ボランティア・市民活動支援センター
実施目標	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> 本センターの休館日及び夏のボランティア体験やボランティア保険更新時期に合わせ、各地域で臨時の出張相談窓口を設置し、ボランティア相談員を配置し、相談受付等の充実を図ります。 地域住民をボランティア相談員として養成し、地域でのニーズ把握に努め、課題解決につなげていきます。 	
	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 出張相談窓口の設置場所検討・設置 ボランティア相談員育成のための講習会実施 	
取組結果		<ul style="list-style-type: none"> 4月に登録更新及びボランティア保険加入手続きのため、ひじり館、貝取こぶし館、愛宕かえで館、トムハウス、からきだ菖蒲館、総合福祉センター、ベルブ永山にて出張相 	

	<p>談を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 6月、7月に夏のボランティア体験の参加申込のための出張相談をひじり館、貝取こぶし館、愛宕かえで館、トムハウス、からきだ菖蒲館、多摩ボラセン永山分室、総合福祉センターで実施した。 • 3月に翌年度に向けた登録更新、保険加入手続き、「にゃんともTAMAるボランティアポイント」登録手続きのため、ひじり館、貝取こぶし館、愛宕かえで館、トムハウス、総合福祉センターにて出張相談を実施した。
--	--

事業名		② 情報発信手段とコーディネート機能の充実		
事業種別・財源・担当係		継続	自主・補助	多摩ボランティア・市民活動支援センター
実施目標	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> • ボランティア通信の充実を図り、市内各駅や公共施設などに配架します。 • メールマガジンを通じて、最新の情報を配信します。 • 本センター（ヴィータ）内の情報コーナースペースを充実し、ボランティア・市民活動に関する情報提供、相談、コーディネート機能の充実を図ります。 • 埋もれたニーズを発掘していくための手法を検討し、ニーズ把握に努め、活動メニューを充実させることにより、活動者の拡大を図ります。 		
	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> • ボランティア通信の誌面内容の見直し • ボランティア通信配架先の見直し検討・実施 • 様々な情報媒体を活用した、幅広い世代に向けたボランティア・市民活動の効果的な情報発信方法の検討 • メールマガジン登録数 630 人以上 • 専門委員会においてニーズ発掘手法の検討・実施 		

取組結果	<ul style="list-style-type: none"> • 広報活動の強化ならびに、本センターのレイアウトとそれによる機能強化等には、センター機能強化検討専門委員会で検討を進めていくことになった。 • ボランティア通信は、30周年記念キャラクター「タマボラ君」やイラスト、写真等画像の活用、テーマに沿った誌面構成など、読みやすさに配慮して作成した。また、ボランティアポイント登録者にもボランティア通信を発送し、活動者の拡大を図った。 • メールマガジン登録者数 611人 (平成28年3月末現在)
------	--

(5) 運営資金及び活動財源の確保

事業名		① 財源確保に向けた事業等の実施・拡充		
事業種別・財源・担当係		継続	自主	多摩ボランティア・市民活動支援センター
実施目標	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> • 各種チャリティ事業収入、広告料収入、ボランティア・市民活動の振興のための指定寄附金の増収を図ります。 • 基金の活用について検討します。 		
	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> • 専門委員会において財源確保につながる事業企画を検討 • 多摩ボラセン 30周年記念マスコットキャラクターの決定及びキャラクター活用による財源確保に向けた検討 • 企業情報交換の集い等において広告の効果を説明するなど、地域のネットワークを活用した広告主獲得へ向けた取り組みの強化 • ホームページやボランティア通信等を通じて指定寄附の使用内容（具体的な用途）等についての説明 • 専門委員会において基金活用の考え方を検討 		
取組結果		<ul style="list-style-type: none"> • 財源確保検討専門委員会にて、チャリティ事業について検討・実施した。「夏休み子ども科学実験教室」「クリスマスキャンドルスタンドづくり」等のチャリティイベント以外に、ボランティアまつりや東日本大震災復興支援チャリティコンサートでの復興支援品販売およびタマボラくんグッズの販売により、自主財源確保に努めた。 • 広告料収入について、ボランティア通信1面に、今年度上半期2回、下半期2回、計4回の広告掲載をした。広告掲載の問合せは2件あった。 • 基金活用について、財源確保専門委員会にて平成28年度も引き続き検討を行うことになった。 		

	チャリティ事業収入	138,959円
	ボランティアまつり協賛金	255,000円
	ボランティア基金新規積立額	56,000円
	事業費寄附金額	600,245円
	(商品券寄附 100,000円を含む)	

Ⅱ 福祉のまちづくりを支える人づくり

1 住民意識の高揚

(1) 地域福祉活動への意識啓発

事業名		① 福祉意識の高揚事業		
事業種別・財源・担当係		継続	自主・補助	まちづくり推進係
実施目標	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> • NPOや地域包括支援センター等、関係機関と連携・協働しながら、防災や防犯、健康、歴史等の様々な内容の普及啓発講座等を実施し、住民自身が地域課題に気づき、課題解決に向けての活動に取り組めるよう支援します。 • 各事業でワークショップを取り入れ、住民の「気づき」を促し、住民が地域でできることを自ら発見し、様々な地域活動に参画するきっかけを作ります。 		
	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> • 各地域福祉推進委員会を中心に福祉課題を考える機会として啓発事業を実施し、担い手を発掘 		
取組結果		<p>《関戸地区》まち歩きをコース別、対象者別を実施し、幅広い世代の方を取り込んでの事業展開ができた。また地元の商店会とのコラボレーションでまち歩きマップの作成も行った。</p> <p>《連光寺・聖ヶ丘地区》多摩市高齢支援課の職員による介護保険制度の勉強会や住民交流事業、近隣大学と連携しての「災害対応ゲーム」を実施した。</p> <p>《桜ヶ丘地区》「いつまでも住み慣れたまちで暮らしていくために」をテーマに、地域における医療と介護についての市内の医師を講師に招き、講演会を実施した。</p> <p>《和田地区》防災イベントとして「簡易トイレ設置体験」を実施した。</p> <p>《愛宕地区》近隣大学から講師を招き、安心して暮らせる地域づくりについての講座や、地域に目を向けることをテーマに地元中学生と一緒にまち歩きを実施した。</p> <p>《永山地区》地域の医師を講師に招き「痛活セミナー」と多摩市高齢支援課による介護保険制度の勉強会を実施した。永山小・中地区で合同防災訓練を、瓜生小地区で避難所運営訓練を昨年度に引き続き実施した。</p>		

	<p>《貝取・豊ヶ丘地区》「支えあいとプライバシー」をテーマに、全市向けの地域福祉普及啓発講座を実施した。</p> <p>また、昨年度に引き続き災害救援ボランティア推進委員会から講師を招き、HUG（避難所運営ゲーム）を実施した。</p> <p>《唐木田・中沢・山王下等》からきだ菖蒲館と共催で、「唐木田・中沢・鶴牧・山王下桜まつり」を実施した。</p>
--	--

事業名		② 地域住民懇談会の開催		
事業種別・財源・担当係		継続	自主・補助	まちづくり推進係
実施目標	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> • 地域の実情の把握と課題の抽出を行います。 • 地域住民懇談会を開催することにより、多くの住民が地域課題に気づき、地域活動の第一歩につなげるようにします。 • 地域住民懇談会で出たニーズについては、地域福祉推進委員会等において解決に向けた活動を支援します。 		
実施目標	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> • 地域福祉推進委員会未設置エリア及び地区において開催 • 地域福祉推進委員会設置エリアにおいては委員会及び各事業を通じて地域ニーズを把握し、課題解決に向けた取り組みを検討 		
取組結果		<ul style="list-style-type: none"> • 第4エリアにおいて、地域住民懇談会を1回開催した。 • 第10エリアにおいて、役員及び関係団体との地域住民懇談会を2回開催した。 • 第4・10エリアともに、地域住民懇談会をきっかけに7月に地域福祉推進委員会が立ち上がった。 		

2 人材育成と参加促進

(1) 活動者の発掘と参加促進

事業名		① 市民の地域活動等への参加促進		
事業種別・財源・担当係		重点・継続	自主・補助	多摩ボランティア・市民活動支援センター、まちづくり推進係、高齢者支援係
実施目標	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民の地域に対する関心を高めるため、福祉分野に限らず、防災や防犯、健康や介護、環境など、その地域に住む方が関心のもてる、生活全般に関するジャンルの普及・啓発事業を行います。 地域福祉推進委員会等においては、地域に目を向け、課題に気づき、自ら参加できる活動に一步踏み出すためのきっかけづくりとして、興味のもてる、役に立つ情報を提供するとともに、まち歩きやマップ作りなど一般住民向けのワークショップ等の活動を行い、多くの地域住民の参加を促します。 たすけあい有償活動やふれあい・いきいきサロンについて、自治会等の小地域単位で個別的な説明会や体験型の「出前サロン」などのきっかけづくりを実施します。 地域福祉推進委員会の世話人やサロン活動者が、立上げプランと一緒に計画する等、サロンを立上げる支援をします。 		
	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 地域福祉推進委員会において普及啓発に関する事業等を実施 協力員説明会を2回以上開催 出前サロンの実施 ふれあい・いきいきサロン説明会を2回以上開催 		

実施目標	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> • 小中学生から高齢者まで様々な世代が地域活動等に参加するきっかけとなるよう、ボランティア体験や市民活動入門講座、地域出前事業などの「地域活動等参加促進プログラム」を充実し、活動者の裾野を広げていきます。 • 技術や経験、知識が豊富な高齢者の力や、趣味や特技を活かして活動している個人やサークルなどの力を地域活動等につなげるために、隠れたニーズを把握し、自分の出来る活動が見つかるよう、活動メニューを効果的に周知します。 • 参加機会のきっかけづくりの一つとして、新たに多摩市で取組む介護予防ボランティアポイント制度等を通じ、老人福祉センターの利用者など、技術や経験、知識が豊富な高齢者の力を、地域活動等につなげるよう、コーディネートを推進します。 <p>※介護予防ボランティアポイント制度</p> <p>介護予防を推進する目的で、介護保険施設等でボランティア活動に取り組む高齢者の活動実績を「ポイント」として評価し、そのポイントを換金等して交付する制度。元気な高齢者が地域に貢献出来るような取り組み。</p>
	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> • 活動者増を目的とした各種講座及び地域出前事業の実施 ボランティア登録者数 270人以上 ボランティア体験者数 330人以上 • 災害ボランティア養成講座を1クール以上開催 災害ボランティア登録者数 40人以上
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> • 関戸地区でまち歩きの実施(3回延べ68人参加)、永山地区でまち歩き(11回延べ383人参加)、さんぽ会(月2回)の実施 • 連光寺・聖ヶ丘地区で介護保険制度の勉強会を実施(51人参加)。「防災ゲーム」を実施した。(21人参加) • 桜ヶ丘地区で地域における医療と介護についての講演会を実施した。(61人参加) • 和田地区百草団地周辺エリアでは《和田地区》防災イベントを実施した。(60人参加) • 愛宕地区では、安心して暮らせる地域づくりについての講座(86人参加)や、まち歩き(45人参加)を実施した。 • 永山地区では永山小・中地区で合同防災訓練(100人参加)を、瓜生小地区で避難所運営訓練(162人参加)を昨年度に引き続き実施した。また「痛活セミナー」(48人参加)を、介護保険制度の勉強会(39人参加)も実施した。 	

取組結果

- 貝取・豊ヶ丘地区では HUG（避難所運営ゲーム）を実施した。（22人参加）
- 貝取・豊ヶ丘地域福祉推進委員会企画で、個人情報保護と地域福祉活動についての講演会を地域住民主体での全市向けの普及啓発事業として実施した。（69人参加）
- 唐木田・中沢・山王下等地区ではからきだ菖蒲館と共催で、「唐木田・中沢・鶴牧・山王下桜まつり」を実施した。
- たすけあい有償協力員研修会・説明会を各2回開催
- ふれあい・いきいきサロン説明会 2回開催
- 新規サロン(9サロン)の立ち上げ
- 市民活動入門講座（地域活動編）・（IT編）アフターフォロー講座や夏のボランティア体験等の実施の他、企業・学校・団体への地域出前事業を実施し、活動者の発掘・育成・支援に努めた。

ボランティア登録者数 475人

ボランティア体験者数 252人

（平成28年3月末現在）

- 介護予防ボランティアポイント事業では、登録者説明会および研修会を8月と3月に実施し、事業の周知を行った。
- 市民活動入門講座（災害ボランティア編）を開催し、防災への意識を高めるきっかけとし、災害ボランティアセンタースタッフボランティアの登録呼びかけを行った。
- 災害ボランティアセンタースタッフボランティア活動体験を9月に開催し、災害ボランティアスタッフの役割の再確認と技術の向上を図る機会となった。

災害スタッフボランティア登録者数 23人

（平成28年3月末現在）

事業名		② 企業・大学等の地域活動等への参加促進		
事業種別・財源・担当係		重点・継続	自主・補助	多摩ボランティア・市民活動支援センター
実施目標	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> 企業や大学等が行う社会貢献活動を後押し、仕事で培った知識や経験、スキルや学生の若い力を地域活動等につなげていくため、福祉分野に限らず、さまざまな活動メニューを構築し、企業・大学・団体・施設などが情報交換できる場を設けるなど、連携を深めながら「たまボランティアギフト」を推進します。 「企業情報交換会」を開催し、活動参加へのコーディネートを推進していきます。 大学等の学校との連携を深め、学校の地域活動等への参加促進を支援します。 		
	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> たまボランティアギフトの参加範囲の拡大とプログラムの見直し 「企業情報交換の集い」の1回以上開催 大学との連携・協力による事業等の企画・実施 企業との連携が活発なVCの視察・研究 		
取組結果		<ul style="list-style-type: none"> 企業や大学等の社会貢献活動の活性化に向け、ボランティア通信にて、「多摩地域の企業の社会貢献活動特集」の連載することで、企業の社会貢献活動を知ってもらう機会となった。 10月27日に「第5回多摩地域企業情報交換の集い」を開催。事業所、大学、団体で合計24団体が参加し、社会貢献活動について事例報告や情報交換、交流等を行い、参加者からは、様々な企業の方と話すことで、他の企業の社会貢献活動の取組みについて聞いて、とても参考になったとの声が聞かれた。 恵泉女学園大学の協力のもと、昨年度に引き続き、今年度もチャリティクリスマスリース作りを12月6日に実施した。 第7回ボランティアまつりにおいて、ボランティアギフトを活用して2社34名の社員がボランティア活動を行った。 ボランティアギフト額 91,200円(1社12名分) 第7回ボランティアまつりに企業7事業所、大学2校が参加した。また企業等42団体から協賛があった。 		

Ⅲ きめ細やかな相談と支援の推進

1 地域での相談体制の整備

(1) 必要な人に必要な支援が届く相談体制の整備

事業名		① 地域での相談の実施		
事業種別・財源・担当係		継続	自主・補助	まちづくり推進係
実施目標	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> 権利擁護センターや地域活動支援センター、多摩ボランティア・市民活動支援センターなど専門相談機関と連携し、総合的な相談に対応できるよう相談体制を再構築します。 地域福祉推進委員会やふれあい・いきいきサロン等のネットワークを活用し、支援の必要な人を発掘し、支援につなげられるよう積極的に働きかけます。 		
	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 相談体制の検討 福祉なんでも相談の実施 地域状況に応じて出張相談等の実施 		
取組結果		<ul style="list-style-type: none"> コミュニティセンター運営協議会、地域包括支援センター等と連携し、市内8箇所にて計81回開催した。 相談体制の周知および相談者を呼び込むための工夫として、エリアにより各種事業を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> (a) 地域包括支援センターと連携し、認知症予防として脳トレ講座・転倒予防体操等を実施した。 (b) 権利擁護センターと連携し、権利擁護相談を実施した。 (c) 障がい者支援係と連携し、障がいに関する相談を実施した。 		

(2) 生活困窮者のための相談・支援事業の実施

事業名		① 生活安定のための相談・支援事業
事業種別・財源・担当係		新規・継続 補助・受託 総務係
実施目標	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> 生活福祉資金等の貸付事業は、関係機関と連携しながら制度の周知を図るとともに、きめ細やかな相談事業を実施します。 生活困窮者自立支援事業については、関係機関の実施状況等を確認しながら検討します。
	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 貸付・相談事業の実施 生活困窮者自立支援事業（学習支援等）についての検討 生活困窮者を対象としてフードバンク事業の実施
取組結果		<ul style="list-style-type: none"> 1 生活福祉資金 <ul style="list-style-type: none"> (1)相談総件数 1,446 件（昨年度同期 952 件） (2)貸付 34 件（昨年度同期 18 件） 2 小口資金 * 社協独自事業 <ul style="list-style-type: none"> (1)相談件数 869 件（昨年度同期 579 件） (2)貸付件数 36 件（昨年度同期 26 件） <p>生活福祉資金・小口資金ともに相談件数・貸付件数が増加している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 民生委員を対象に、貸付事業の概要説明を行い、周知を図った。 生活困窮者自立支援事業については、平成 27 年度は、市が直営で実施。 多摩社協独自事業として、生活困窮者を対象とした多摩社協版フードバンク事業を実施。 <p>※多摩社協版フードバンク事業</p> <p>企業等で備蓄している非常食の入れ替え時に生じる賞味期限間近の非常食を寄付してもらい、資金の貸付に至るまでの間など、2~3 日分を配布。多摩社協で備蓄している非常食も同様に配布。多摩市および多摩市内企業からの保存食糧寄贈を受け、貸付等相談者の状況に応じて配布。食糧は、20 世帯に配布。市役所（福祉総務課）でも 24 日分の非常食を託して配布した。生活困窮者支援を行う NPO 団体とも連携を取りつつある。</p>

2 権利擁護事業の充実と拡充

(1) 権利擁護センターの充実

事業名		① 地域福祉権利擁護事業等の充実		
事業種別・財源・担当係		重点・継続	自主・補助・ 受託	権利擁護センター
実施目標	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> 利用対象者が急増する中、成年後見制度と役割を分担しながら、市民が必要とした時、適切に利用できる持続可能な事業体制を図ります。 		
	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 市内全自治会、管理組合などへパンフレットを活用し事業のPRを実施。 地域のサロンなどで事業の出前説明会を実施。 地域包括支援センター、ケアマネージャー、介護保険事業所へ事業説明を行い、利用についての連携を実施。 地域福祉権利擁護事業のサービスの担い手として、また、市民協働で事業を実施するため、登録型生活支援員の育成と新規10名の登録を目指す。 		
実施目標	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> 福祉サービスの利用を前提としない契約を多摩市や関係機関と連携し推進します。 		
	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関と連携し、利用推進の実施 		
取組結果		<ul style="list-style-type: none"> 相談支援件数 4, 124件 地域福祉権利擁護事業等契約者数28件、累計256件 市民向け・関係機関等向け事業制度説明会4回実施、参加者110名 生活支援員情報連絡会の開催2回 参加者42名 生活支援員新規登録者3名 総登録者数31名 福祉サービスに至る以前の契約件数1件、累計4件 		

事業名		② 多摩市との覚書に基づく緊急事務管理事業の充実		
事業種別・財源・担当係		継続	補助	権利擁護センター

実施目標	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> 緊急事務管理が必要な人に対し、速やかに対応ができるよう多摩市と連携を図っていきます。
	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 覚書に基づき多摩市と連携し実施
取組結果		対応件数2件、累計7件

(2) 成年後見制度に関する事業の拡充

事業名		① 成年後見制度利用支援事業の充実
事業種別・財源・担当係		重点・継続 補助 権利擁護センター
実施目標	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> 成年後見制度の利用方法について、さらに多くの市民の方々に周知するため、引き続き窓口での相談のほか、各種広報活動、出前説明会や講座を開催します。 申立てに関する相談、申立書の配布、記載方法の説明等を実施し利用支援を図ります。 利用相談の個々のケースに応じ多摩南部成年後見センター扱いとなるケースについては多摩市とその他のケースについては弁護士等専門職団体と連携した利用支援を実施します。
	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 親族等の申立が必要な市民の方に、申立てに関する相談、申立書の配布、記載方法の説明等を実施。 地域包括支援センター等関係機関と連携し、親族による後見業務についての説明会を実施。 地域のサロンにおいて、成年後見制度の啓発を実施。 制度の利用相談や講座などによる啓発活動を実施。 個々のケースに応じた利用支援を実施。
実施目標	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> 親族後見人及び社会貢献型後見人（市民後見人）が後見業務を行う中で、後見人等活動の支援が必要となるため、後見業務についての疑問等の解決を図る懇談会を開催します。
	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 親族後見人及び社会貢献型後見人（市民後見人）を対象とした懇談会を実施
取組結果		<ul style="list-style-type: none"> 成年後見相談件数224件 成年後見申立支援件数5件、累計54件 講座等の実施件数10回、207名参加 後見人懇談会開催3回、21名参加

IV 市民とともに歩む、社協の経営

1 組織体制の見直しと強化

(1) 「意思決定」の仕組みの強化

事業名		① 理事会、評議員会の活性化		
事業種別・財源・担当係		継続	自主・補助	総務係
実施目標	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> • 理事会、評議員会の審議案件に至るまでの間、部会、部会連絡会及び委員会を積極的に開催し議論を深めるとともに、役員の間わりも深くなることで、組織の活性化を図ります。 • 各部会等の役割等を見直しながら再編に向けた取り組みを行います。 • 地域からの意見を事業に反映するため、評議員の推薦枠を再考するとともに、欠員が生じないようにします。 		
	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> • 部会等の開催 • 部会等の再編・実施 • 評議員選任基準の検討見直し・制定 		
取組結果		<ul style="list-style-type: none"> • 定期的に各部会、部会連絡会、各委員会を開催し、それぞれの所掌事項について検討を行った。 • 総務部会で経営戦略会議及び部会連絡会のあり方について検討し、組織体系の見直し及び部会規程を改正し、経営戦略会議及び合同部会を廃止し、部会連絡会を法人運営の重要事項について検討する場として位置づけた。 • 次期評議員の選出基準について明確化した。 		

(2) 組織強化と人財育成

事業名		① 事務局組織の強化		
事業種別・財源・担当係		継続	自主・補助	総務係
実施目標	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 厳しい財政状況が続き、将来的な財源確保が不確定でもあることから、限られた財源及び職員数で事業運営を行うためには、各事業の効率性等を検証しながら組織の見直しも適宜必要になると考えます。よって、適切な時期に組織改正が行えるよう、事業評価を行いながら組織改正についても検討します。 		
	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事務局再編の検討、実施 ・ 第三者機関による事業評価の実施を検討 		
取組結果		<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 28 年度事務局再編に向けて市と協議し、南部地域包括支援センターの廃止に伴い、小地域福祉活動の推進及び法人運営の強化を図るための体制づくりを行った。 ・ 外部に委託して経営診断を実施した。 		

事業名		② 法人運営の強化		
事業種別・財源・担当係		継続	自主・補助	総務係
実施目標	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多摩社協の広報媒体や各種事業において、広報活動を強化しながら認知度を上げる取り組みを継続します。 ・ 多摩社協に対する支援者・協力者を増やすことが法人運営の強化につながるため、会員制度の見直しを実施しながら会員の増強に取り組めます。また、会費数の増加に伴い、会費による支援者も増やします。 		
	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報活動の強化 ・ ふくしだよりの紙面数の充実 ・ サポーターの増大 		
取組結果		<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報広聴部会にて内容を精査しリーフレットの改訂を行い、福祉フェスタやボランティアまつり、地域福祉推進委員会など各事業等を通じて配布した。市内公共施設などにも配架した。 ・ 社協事業をわかりやすく周知するため、紙面を 2 ページから通年 4 ページにし、年 6 回発行のうち 1 回は全面カラーで発行した。 ・ 会員制度を見直し、今年度より会費を賛助金（寄附扱い） 		

	とし、税控除の優遇を受けられるようにした。ふくしだより 5 月号を郵便振込用紙付きの紙面とし、会員（サポーター）増強を図った。125 人（271,000 円）の方々が振込用紙を活用して会員となった。また、職員を各エリアに配置し、会長、副会長をはじめ、役員の協力を得ながら会員増強に取り組んだ。
--	--

事業名		③ 人財育成
事業種別・財源・担当係		継続 自主・補助 総務係
実施目標	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> 地域福祉推進事業に必要な人財については、全ての事業において求められるコミュニティーワークや、相談事業に必要な専門知識等を習得できる研修を構築します。 関係機関と連携を図りながら研修を実施することで、職員のスキル向上を図り、人財育成に努めます。 法改正や事業の見直し等による必要な研修は適宜実施します。
	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 人財育成計画並びに研修計画の検討・構築 研修体系の構築
取組結果		<ul style="list-style-type: none"> 事務局内でプロジェクトを設置・検討し、目指すべき職員像、職員研修体系などを明確にした人材育成方針（案）を作成した。

（3）自主財源の確保

事業名		① 自主財源の見直しと新たな財源確保の検討と拡充
事業種別・財源・担当係		継続 自主 総務係
実施目標	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> 今まで実施してきた各種事業については、事業内容の検証を行い、経費の削減を図りながら継続実施し、自主財源の確保に努めます。
	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 各種事業実施 福祉事業支援制度への申請等新たな財源確保の検討、実施
取組結果		<ul style="list-style-type: none"> イベント推進部会にて、チャリティゴルフ大会の効率的な実施について精査し、経費や人員体制の大幅な削減に努めた。

	<ul style="list-style-type: none"> • 福祉フェスタ及び春の発表会、福祉大会の会場で福祉バザーを実施し、昨年度（470,362 円）を上回る売り上げ（643,896 円）を得ることができた。同会場で地元企業からの寄付物品（事務用ファイル等）もチャリティ販売し、財源確保に取り組んだ。 • ふくしだよりの広告枠を増やし、前年度（403,000 円）を上回る広告料収入（543,000 円）を得ることができた。 • 社会貢献事業に関する社会福祉法人のネットワーク化モデル事業に申請し、東京都社会福祉協議会より補助を受けた。
--	---

2 透明性のある法人経営の確立

(1) 計画の進行管理及び次期計画の策定

事業名		① 計画の推進と次期計画の策定		
事業種別・財源・担当係		継続	自主	総務係
実施目標	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> • 新たに事業評価指標を策定し、今後の事業評価システムを構築します。 • 次期計画の策定については、地域福祉計画の改定状況を勘案しながら策定作業を進めます。 		
	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> • 事業評価システムの構築 • 地域福祉活動計画推進委員会の開催 • 第 4 次地域福祉活動計画策定に向け、現事業の評価の実施と新たな課題の拾いだしを実施 		
取組結果		<ul style="list-style-type: none"> • PDCA がわかるように、地域福祉活動計画兼単年度事業評価票の見直しを行った。 • 地域福祉活動計画推進委員会を 2 回開催し、計画の進捗状況及び次年度計画の確認を行った。 • 事業評価票に基づき現事業の評価や課題を明らかにするとともに、第 4 次地域福祉活動計画策定のための基礎資料として、ニーズ調査を実施した。また、第 4 次地域福祉活動計画策定委員会を設置し、第 1 回委員会を 2 月に開催した。 		

(2) 情報提供の充実と情報管理の徹底

事業名		① 広報事業の充実
事業種別・財源・担当係		継続 自主 総務係
実施目標	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> ホームページのリニューアルを実施したことによる効果等を把握し、検証を行いながら充実を図るとともに、既存媒体等の活用も再考します。
	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ホームページに財務情報の公表等掲載内容の充実 新たな広報媒体への取り組み検討・実施
取組結果		<ul style="list-style-type: none"> 事業報告書、決算書、事業計画書、予算書、現況報告書などの財務情報等を公表する他、講座やイベントなど各事業の情報を発信するなど充実に努めた。 ホームページの充実を図るため、地域福祉推進委員会、サロン活動、たすけあい有償活動などの小地域福祉活動の情報を多く発信できるよう、内容の見直し検討を行った。次年度より新たなページを設ける予定。 SNS（フェイスブック）の活用を検討。ウェブサイト「Tama e-books」を活用して情報を積極的に発信した。また、機関誌「タウンニュース」を通じて、多くの事業をPRした。

事業名		② 情報管理の徹底
事業種別・財源・担当係		新規 自主 総務係
実施目標	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> 取扱いマニュアル等の作成を行うとともに、関係規程の見直しを検討しながら、情報管理の徹底を図ります。
	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報保護規程の見直し検討 個人情報保護に関するマニュアルの検討・策定 情報管理の現場確認の実施
取組結果		<ul style="list-style-type: none"> マイナンバー制の施行に伴い、特定個人情報等取扱保護規程を定めた。マイナンバーの取扱責任者、取扱担当者を配置した。 マニュアルの策定までには至っていないが、研修等に参加し、マイナンバーの取扱についてのルールを定めるなど、

	<p>必要な安全管理措置を講じた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人情報をFAX送信する際には、誤送信を防ぐため、必ず複数でチェックしてから送信することを徹底した。また、郵便物の投函ルールを定め、紛失などが起こらないように徹底した。
--	--

3 在宅福祉サービスの再構築

(1) 介護保険法に基づく事業の実施

事業名		① 南部地域包括支援センターの機能強化		
事業種別・財源・担当係		継続	自主・受託	高齢者支援係
実施目標	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> 地域包括ケアシステムの構築を目指し、南部地域包括支援センターの機能強化を図ります。 地域住民の自助力向上を目指し、地域住民や地域団体に対して、介護予防教室等の事業を推進します。また、地域住民と専門機関が気軽に集い、交流できる“場”として「南なん亭」を開催し、地域住民の健康増進と自助力の向上を目指すとともに、相互の“壁”を低くし、連携を密にしながら共助力の向上につなげます。 住民主体の互助力強化を目指し、地域福祉推進委員会との連携を強化するとともに、従来の民生・児童委員やサロン代表者、コミュニティセンター運営協議会等だけでなく、平成 25 年度に多摩市高齢支援課で養成された介護予防リーダーと連携した事業展開を図りながら、地域の小・中学生やその保護者等の若い世代への認知症サポーター養成講座を実施し、高齢者を地域で支える包括的な体制づくりを目指します。 地域の関係機関を含む共助力の向上のために、まちづくり推進係と連携しながら地域づくりを進めるとともに、権利擁護センターや地域活動支援センターと連携し、相談機能の強化を目指します。 		

	事業計画	<p>【地域住民の自助力向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 元気チェック：貝取こぶし館（年11回） 総合福祉センター（南部包括担当 年4回） • 介護予防教室 サロンや自治会での出前講座（年6回） 貝取こぶし館での知っ得講座（実施時参加） • おたっしゅ健診（年3回） • 南なん亭（年10回） <p>【地域の互助力向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 認知症サポーター養成講座（年4回） <p>【共助力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 地域ケア会議（年2回） • わが街こんだん会（年1回） • 地域の活動に参加： 南豊ヶ丘公園うんどう教室（年12回） パルシステム食事会（年6回）
取組結果		<ul style="list-style-type: none"> • 元気チェック 貝取こぶし館（12回） 総合福祉センター（3回） • 介護予防教室 サロンや自治会での出前講座（7回） 知っ得講座参加（2回） • おたっしゅ健診（3回） • 南なん亭（10回） • 認知症サポーター養成講座（6回） • 地域ケア会議（2回） • わが街こんだん会（3回） <p>• 元気チェックや介護予防教室等を通して、地域包括支援センターの役割を周知するとともに、地域住民の介護予防に対する意識を高めることができた。</p> <p>• 「南なん亭」を実施することにより、専門機関と地域住民が交流する場を設け、相互の新たなつながりを構築するとともに関係機関との連携の強化を図った。</p> <p>• 地域ケア会議を開催。専門職や地域住民、民生委員が参加し、個別課題を検討した。同時に地域課題を把握及び市への提言を行った。</p> <p>• 認知症に関する理解を深め、いつまでも暮らせる地域にするにはどうしていけばよいかをテーマに検討・情報交換を行う場として、「わが街こんだん会」を開催した。（対象：</p>

	<p>地域住民、ケアマネジャー、医師、民生委員、その他関係機関)</p> <ul style="list-style-type: none"> 南豊ヶ丘うんどう教室やパルシステム食事会、福祉こぼし館で行われているなんでも相談、知っ得講座等に随時参加。参加者や関係団体から相談を受けることも多く、高齢者の総合相談窓口としての機能強化につながっている。
--	---

(2) 地域活動支援センターの機能充実

事業名		① 地域活動支援センター I 型の機能強化		
事業種別・財源・担当係		継続	受託・自主	障がい者支援係
実施目標	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> 計画相談支援をスムーズに行うため、市やサービス提供事業所等との連携を深めるとともに、相談支援専門員のスキルアップを図ります。 相談支援事業の充実を図るため、まちづくり推進係や高齢者支援係と連携しながら、福祉なんでも相談やふれあい・いきいきサロン等にて専門職員を活用した身近な相談の機会を増やし、福祉サービスを受けずに埋もれている潜在的な相談ニーズを把握するとともに、家族・支援者などからの相談に留まらず、障がいの有無に関係なく誰もが気軽に相談できる場所・共生できる地域社会を目指します。 地域活動支援センターあんの事業を多くの方に知ってもらうために、様々な機会や媒体を活用して、利用者にとってわかりやすい福祉情報の発信や提供を行います。 ヘルプカードを様々な立場の人に対し、様々な場面で周知をしていくことで、日ごろから声をかけあえる関係づくりを支援していきます。 指定一般相談支援事業についての検討を行います。 		
	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 相談ケースの増加に伴う多種多様なケースに対応するため、職員のスキルアップを目的とした勉強会や研修に積極的に参加 計画相談支援の充実(サービス等利用計画の作成を市と調整し実施) 新規110ケース実施 専門職や関係機関と連携を図り、地域の方が身近に利用できるコミセン等で相談会や勉強会を開催できるよう調整し、実施 福祉サービスにつながっていない方にたいして、民生委員をはじめ地域の関係者との連携を図り、適切な関係機関等に繋げられるよう支援を充実 		

		<ul style="list-style-type: none"> パンフレット等の配布や回覧、ホームページの定期的な更新等により、地域活動支援センターあんの周知を図るとともに、センター利用者を拡大 ヘルプカードの継続的な配布
取組結果		<ul style="list-style-type: none"> 相談員のスキルアップのため、各種研修への参加と職員間の情報共有を行った。 計画相談支援（新規）は新規67ケースを実施。 地域の方が身近に相談できるよう、コミセンで実施している福祉なんでも相談（3か所）に相談員が同席し、相談窓口のPRと情報収集を行った。 「親なきあと」をテーマに講演会を実施し、多くの参加者を得て、最新の動向や役立つ情報の提供ができた。 より見やすくわかりやすいパンフレットの内容について検討し、改訂版を作成した。

(3) 老人福祉センター事業の実施

事業名	① 老人福祉センターの充実と地域展開		
事業種別・財源・担当係	継続	受託	高齢者支援係
実施目標	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> 老人福祉センターの機能を充実させ、高齢者の生きがいつくり、健康増進や活動を支援していきます。 認知症など健康状態の変化や孤立化等について、早期の支援につなげていけるよう、各包括支援センターと連携していきます。 講座や同好会をきっかけに、地域活動の担い手として高齢者が活躍できるよう事業を展開していきます。 サロンやコミセンで行われている講座や催し、単位老人クラブの活動内容等の地域情報を提供し、参加を促していくために、まちづくり推進係や多摩ボランティア・市民活動支援センター、多摩市老人クラブ連合会との連携を強化していきます。 	

	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> • 寿大学の開講 ※新規参加者増員の取り組みを強化 文化・教養講座；10種12講座（英会話、書道、陶芸 キーボード、ちぎり絵、自分史など） パソコン講座；7種23講座（初めてのパソコンと文字入 力、ワードで文書編集など） 健康推進講座；9種12講座（太極拳、自彊術体操など） • 講演講座の実施（年4回） • 同好会活動の支援 • 春の発表会の実施 • 地域活動に結び付ける講座の検討・実施 • 福祉センター内で元気チェックの実施（月1回） ※南部・中部・多摩センター地域包括支援センターと共催 • センターだよりの発行（月1回） • 地域情報の提供手段の充実
取組結果		<ul style="list-style-type: none"> • 寿大学の参加者決定は、複数受講することを最小限にした抽選を行った。 • パソコン教室の募集は、たま広報に掲載されることが少なく、複数受講する方がいた。たま広報に頼っていた市民への周知方法の検討が必要である。 • 地域活動へ結び付けるために、市と連携を図り、介護予防リーダーへの講座の案内を行い、数名の参加者がいた。 • 老人福祉センター利用者の見守りが必要と思われる方については、ケース記録を作成し地域包括支援センター等の関係機関と連携を図った。

(4) 意思疎通支援事業（地域生活支援事業）の充実

事業名	① 意思疎通支援事業の充実		
事業種別・財源・担当係	継続	受託	障がい者支援係
実施目標	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> • 多摩市と連携し、手話通訳者並びに要約筆記者の人材の確保を図ります。 • 多様化する利用者のニーズに対応できるよう手話通訳者並びに要約筆記者の技術の向上を目指します。 	
	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> • 多摩市と連携し手話通訳者・要約筆記者の人材を確保 • 医療や福祉サービス利用時における手話技術や、要約筆記技術の向上について、通訳者及び筆記者の意見を取り入れながら実施（スキルアップ研修の実施） 	

取組結果	<p>【派遣実績】</p> <p>○手話通訳者派遣件数 1, 160件(前年度比68件減) (市登録手話通訳者派遣 1, 029件・都登録手話通訳者派遣; 131件)</p> <p>○要約筆記者派遣件数; 246件(前年度比 172件増) (市登録要約筆記者派遣; 220件・都登録要約筆記者派遣; 26件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多摩市地域生活支援事業運営要綱に基づく意思疎通支援事業を引き続き受託、実施した。 ・手話通訳者 4人・要約筆記者6人が新規登録。 ・手話通訳者研修は手話技術研修・事例検討・場面通訳などを実施、要約筆記者研修は要約筆記技術研修・関連制度などを実施し、実際の通訳・要約筆記場面に役立てることができた。 <p>手話通訳者研修:外部講師6回 聴協講師等 10回 開催 要約筆記者研修:外部講師3回 内部研修等4回 開催</p>
------	--

(5) 同行援護事業の経営安定化

事業名		① 同行援護事業の充実		
事業種別・財源・担当係		継続	自主	障がい者支援係
実施目標	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・同行援護事業所として従事者の確保を図ります。 ・近隣市の社協等と交流や情報交換を行うことにより、運営内容の充実を図ります。 ・利用者の多様なニーズに対応できるよう、従事者の技術向上を目指します。 		
	事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ふくしだより等へ登録者募集の掲載を行うと同時に、同行援護従事者養成研修事業者等への働きかけを行い、従事者を拡充 ・同行援護連絡会等参加 年2回以上 ・スキルアップ研修の実施 年2回 		
取組結果		<p>【派遣実績】</p> <p>○利用者契約者数 44人(前年度比2名増加)</p> <p>○同行援護従事者登録者数 30人(前年度比1名増)</p> <p>○同行援護従事者派遣回数 月平均186.6回 (前年度比13.7回減)</p> <hr/> <p>○派遣時間 月平均602.8時間 (前年度比4.5時間回減)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同行援護従事者6人が新規登録。 		

- 同行援護従事者の確保については、募集チラシを作成し、市内公共施設やしごと相談会にて配布するなどの広報活動を行うことができた。
- 近隣市の社協との情報交換のため、同行援護事業所連絡会に参加し、事業所としての運営内容の向上を図り、内部研修の検討・実施に役立てることができた。
- 外部講師による公共交通機関における支援方法の研修を10月・従事者懇談会を2月に開催し、適切な支援技術の習得と課題解決のための情報共有を行い、支援の向上に役立てることができた。
- サービス内容の充実を図るため、サービス担当者会議に出席し関係機関との連携を行い、利用者へのサービスのあり方や支援方法の確認を行うことができた。
- また、必要に応じて利用者宅を訪問し、利用者ニーズの把握を行い、サービスの内容を検討・実施することができた。

1 組織運営

(1) 三役会の開催

第1回 (H27. 4. 2)	第7回 (H27. 10. 1)
第2回 (H27. 5. 7)	第8回 (H27. 11. 5)
第3回 (H27. 6. 4)	第9回 (H27. 12. 3)
第4回 (H27. 7. 3)	第10回 (H28. 1. 7)
第5回 (H27. 8. 6)	第11回 (H28. 2. 4)
第6回 (H27. 9. 3)	第12回 (H28. 3. 3)

平成 28 年 3 月 31 日現在の役員・評議員の状況

	理 事	監 事	評議員
定 数	1 5	2	4 0
現員数	1 4	2	4 0

(2) 理事会の開催

第1回 (H27. 5. 21)	出席者 14 名 (内 3 名欠席連絡票)
第2回 (H27. 6. 18)	出席者 15 名 (内 2 名欠席連絡票)
第3回 (H27. 9. 17)	出席者 15 名 (内 4 名欠席連絡票)
第4回 (H27. 10. 1)	出席者 15 名 (内 2 名欠席連絡票)
第5回 (H27. 11. 19)	出席者 14 名 (内 2 名欠席連絡票)
第6回 (H28. 1. 21)	出席者 14 名 (内 0 名欠席連絡票)
第7回 (H28. 3. 17)	出席者 14 名 (内 1 名欠席連絡票)

(3) 評議員会の開催

第1回 (H27. 5. 28)	出席者 30 名 欠員 1 名
< 審議事項 >	
第1号議案	平成 26 年度社会福祉法人多摩市社会福祉協議会事業報告について
第2号議案	平成 26 年度社会福祉法人多摩市社会福祉協議会一般会計収入支出決算について
第3号議案	平成 25 年度社会福祉法人多摩市社会福祉協議会公益事業会計収入支出決算について
第4号議案	平成 26 年度社会福祉法人多摩市社会福祉協議会収益事業会計収入支出決算について
第5号議案	平成 26 年度社会福祉法人多摩市社会福祉協議会小口資金貸付特別会計収入支出決算について
第6号議案	平成 26 年度社会福祉法人多摩市社会福祉協議会歳末たすけあい運動事業特別会計収入支出決算について
第7号議案	平成 27 年度社会福祉法人多摩市社会福祉協議会社会福祉事業区分地域福祉推進事業拠点区分資金収支補正予算 (第1号) について
第8号議案	第21期社会福祉法人多摩市社会福祉協議会理事の選任について

第2回 (H27. 6. 26)		出席者 30名 欠員なし	
<審議事項>			
第9号議案	社会福祉法人多摩市社会福祉協議会部会規程の一部を改正する規程の制定について	第10号議案	社会福祉法人多摩市社会福祉協議会規約・規程検討委員会設置要綱の廃止について
第11号議案	平成27年度社会福祉法人多摩市社会福祉協議会社会福祉事業区分地域福祉推進事業拠点区分資金収支補正予算(第2号)について平成26年度社会福祉法人多摩市社会福祉協議会一般会計収入支出補正予算(第2号)について		
第3回 (H27. 9. 24)		出席者 29名 欠員なし	
<審議事項>			
第12号議案	社会福祉法人多摩市社会福祉協議会就業規則の一部を改正する規則の制定について	第13号議案	社会福祉法人多摩市社会福祉協議会嘱託職員雇用等に関する規則の一部を改正する規則の制定について
第14号議案	社会福祉法人多摩市社会福祉協議会臨時職員雇用規則の一部を改正する規則の制定について	第15号議案	社会福祉法人多摩市社会福祉協議会特定個人情報等取扱規程の制定について
第16号議案	社会福祉法人多摩市社会福祉協議会ふれあい・いきいきサロン事業推進要綱の制定について		
第17号議案	社会福祉法人多摩市社会福祉協議会経理規程の一部を改正する規程の制定について	第18号議案	平成27年度社会福祉法人多摩市社会福祉協議会社会福祉事業区分地域福祉推進事業拠点区分資金収支補正予算(第3号)について
第19号議案	平成27年度社会福祉法人多摩市社会福祉協議会社会福祉事業区分障害者総合支援事業拠点区分資金収支補正予算(第1号)について		
第20号議案	第22期社会福祉法人多摩市社会福祉協議会理事及び監事の選任について		
第4回 (H27. 11. 27)		出席者 32名 欠員なし	
<審議事項>			
第21号議案	社会福祉法人多摩市社会福祉協議会多摩ボランティア・市民活動支援センター運営委員会規程の一部を改正する規程の制定について	第22号議案	社会福祉法人多摩市社会福祉協議会第4次地域福祉活動計画策定委員会設置要綱の制定について
第23号議案	社会福祉法人多摩市社会福祉協議会地域福祉活動計画策定調査会設置要綱の廃止について	第24号議案	社会福祉法人多摩市社会福祉協議会地域福祉活動計画策定調査会設置要綱の廃止について
第25号議案	平成27年度社会福祉法人多摩市社会福祉協議会社会福祉事業区分地域福祉推進事業拠点区分資金収支補正予算(第4号)について		

第5回 (H28. 1. 28)

出席者 29 名 欠員なし

< 審議事項 >

- | | |
|----------|--|
| 第 26 号議案 | 社会福祉法人多摩市社会福祉協議会給与規程の一部を改正する規程の制定について |
| 第 27 号議案 | 社会福祉法人多摩市社会福祉協議会福祉サービス利用支援事業実施要綱の一部を改正する要綱の制定について |
| 第 28 号議案 | 社会福祉法人多摩市社会福祉協議会生活支援員設置要綱の一部を改正する要綱の制定について |
| 第 29 号議案 | 社会福祉法人多摩市社会福祉協議会第 4 次地域福祉活動計画策定委員会委員の選出について |
| 第 30 号議案 | 平成 2 7 年度社会福祉法人多摩市社会福祉協議会社会福祉事業区分地域福祉推進事業拠点区分資金収支補正予算 (第 5 号) について |
| 第 31 号議案 | 平成 2 7 年度社会福祉法人多摩市社会福祉協議会社会福祉事業区分老人福祉センター運営受託事業拠点区分資金収支補正予算 (第 1 号) について |
| 第 32 号議案 | 平成 2 7 年度社会福祉法人多摩市社会福祉協議会社会福祉事業区分障害者総合支援事業拠点区分資金収支補正予算 (第 2 号) について |
| 第 33 号議案 | 平成 2 7 年度社会福祉法人多摩市社会福祉協議会公益事業区分介護保険事業拠点区分資金収支補正予算 (第 1 号) について |

第6回 (H28. 3. 25)

出席者 27 名 欠員なし

< 審議事項 >

- | | |
|----------|---|
| 第 34 号議案 | 社会福祉法人多摩市社会福祉協議会多摩市南部地域包括支援センターの廃止について |
| 第 35 号議案 | 社会福祉法人多摩市社会福祉協議会多摩市介護予防・日常生活支援総合事業の開始について |
| 第 36 号議案 | 社会福祉法人多摩市社会福祉協議会定款の変更について |
| 第 37 号議案 | 社会福祉法人多摩市社会福祉協議会組織規程の一部を改正する規程の制定について |
| 第 38 号議案 | 社会福祉法人多摩市社会福祉協議会経理規程の一部を改正する規程の制定について |
| 第 39 号議案 | 社会福祉法人多摩市社会福祉協議会印章規程の一部を改正する規程の制定について |
| 第 40 号議案 | 社会福祉法人多摩市社会福祉協議会多摩市南部地域包括支援センター (指定介護予防支援事業所) 運営規程の廃止について |
| 第 41 号議案 | 社会福祉法人多摩市社会福祉協議会多摩市南部地域包括支援センター運営規程の廃止について |
| 第 42 号議案 | 社会福祉法人多摩市社会福祉協議会多摩市介護予防・日常生活支援総合事業運営規程の制定について |
| 第 43 号議案 | 社会福祉法人多摩市社会福祉協議会たすけあい有償活動事業実施における債権の放棄について |
| 第 44 号議案 | 第 2 期社会福祉法人多摩市社会福祉協議会理事の選任について |
| 第 45 号議案 | 平成 2 7 年度社会福祉法人多摩市社会福祉協議会社会福祉事業区分地域福祉推進事業拠点区分資金収支補正予算 (第 6 号) について |
| 第 46 号議案 | 平成 2 7 年度社会福祉法人多摩市社会福祉協議会社会福祉事業区分障害者総合支援事業拠点区分資金収支補正予算 (第 3 号) について |
| 第 47 号議案 | 平成 2 7 年度社会福祉法人多摩市社会福祉協議会収益事業区分自動販売機設置運営事業拠点区分資金収支補正予算 (第 1 号) について |
| 第 48 号議案 | 平成 2 8 年度社会福祉法人多摩市社会福祉協議会事業計画について |

第 49 号議案	平成 28 年度社会福祉法人多摩市社会福祉協議会社会福祉事業区分地域福祉推進事業拠点区分資金収支予算について
第 50 号議案	平成 28 年度社会福祉法人多摩市社会福祉協議会社会福祉事業区分老人福祉センター運営受託事業拠点区分資金収支予算について
第 51 号議案	平成 28 年度社会福祉法人多摩市社会福祉協議会社会福祉事業区分障害者総合支援事業拠点区分資金収支予算について
第 52 号議案	平成 28 年度社会福祉法人多摩市社会福祉協議会社会福祉事業区分応急小口資金貸付事業拠点区分資金収支予算について
第 53 号議案	平成 28 年度社会福祉法人多摩市社会福祉協議会社会福祉事業区分歳末たすけあい運動事業拠点区分資金収支予算について
第 54 号議案	平成 28 年度社会福祉法人多摩市社会福祉協議会公益事業区分介護保険事業拠点区分資金収支予算について
第 55 号議案	平成 28 年度社会福祉法人多摩市社会福祉協議会収益事業区分自動販売機設置運営事業拠点区分資金収支予算について

(4) 監査の概要

- 第 1 回（平成 26 年度決算監査）（27. 5. 13） 出席者 監事 2 名
特別な改善事項の指摘はなし。
- 第 2 回（平成 27 年度中間決算監査）（27. 11. 12） 出席者 監事 2 名
特別な改善事項の指摘はなし。

(5) 各委員会の活動報告

地域福祉活動計画推進委員会			
開催状況	第 1 回	(27. 11. 20)	出席者 6 名
	第 2 回	(28. 3. 9)	出席者 7 名

多摩ボランティア・市民活動支援センター運営委員会			
開催状況	第 1 回	(27. 5. 18)	出席者 12 名
	第 2 回	(27. 9. 15)	出席者 11 名
	第 3 回	(27. 11. 17)	出席者 11 名
	第 4 回	(28. 3. 4)	出席者 9 名
	第 5 回	(28. 3. 15)	出席者 12 名

権利擁護センター運営委員会			
開催状況	第 1 回	(27. 5. 25)	出席者 6 名
	第 2 回	(27. 10. 26)	出席者 6 名
	第 3 回	(27. 12. 21)	出席者 6 名
	第 4 回	(28. 2. 25)	出席者 6 名

役員選考委員会			
開催状況	第 1 回	(27. 5. 28)	出席者 7 名
	第 2 回	(27. 9. 18)	出席者 6 名
	第 3 回	(28. 3. 24)	出席者 6 名

(6) 各部会の活動報告

総務部会			
開催状況	第 1 回	(27. 4. 10)	出席者 8 名
	第 2 回	(27. 6. 9)	出席者 9 名

	第3回	(27. 8. 25)	出席者	9名
	第4回	(27. 10. 8)	出席者	8名
	第5回	(27. 12. 16)	出席者	9名
	第6回	(28. 3. 9)	出席者	7名

広報広聴部会				
開催状況	第1回	(27. 4. 28)	出席者	7名
	第2回	(27. 6. 12)	出席者	5名
	第3回	(27. 8. 24)	出席者	9名
	第4回	(27. 9. 14)	出席者	10名
	第5回	(27. 10. 21)	出席者	6名
	第6回	(27. 12. 2)	出席者	11名
	第7回	(28. 2. 2)	出席者	9名

イベント推進部会				
開催状況	第1回	(27. 5. 26)	出席者	6名
	第2回	(27. 7. 8)	出席者	8名
	第3回	(27. 9. 8)	出席者	10名
	第4回	(27. 11. 5)	出席者	6名
	第5回	(28. 2. 1)	出席者	9名
	第6回	(28. 3. 14)	出席者	6名

地域福祉まちづくり部会				
開催状況	第1回	(27. 6. 30)	出席者	14名
	第2回	(27. 9. 16)	出席者	16名
	第3回	(27. 12. 17)	出席者	13名
	第4回	(28. 3. 10)	出席者	10名

部会連絡会				
開催状況	第1回	(27. 5. 22)	出席者	5名
	第2回	(28. 1. 12)	出席者	7名

(7) 後援名義の使用許可状況

年度	23	24	25	26	27
後援名義使用許可件数	28件	36件	33件	36件	33件

2 連絡調整

(1) 実習生の受入れ状況

年度	人数	期間	学校名
23	3	H23. 8. 18～9. 8 (16日) 1人	大妻女子大学
		H24. 2. 1～3. 6 (24日) 1人	大妻女子大学
		H24. 2. 1～3. 9 (25日) 1人	桜美林大学
24	2	H25. 2. 1～3. 8 (24日) 1人	大妻女子大学
		H25. 2. 1～2. 13 (8日) 1人	桜美林大学
25	5	H25. 8. 1～9. 10 (24日) 1人	大妻女子大学
		H25. 8. 1～9. 10 (24日) 1人	聖徳大学
		H26. 2. 3～3. 7 (24日) 2人	大妻女子大学
		H25. 8. 1～8. 9 (7日) 1人 (社会教育実習)	立教大学

26	5	H26. 8. 1～9. 12 (24 日) 2 人	大妻女子大学
		H27. 1. 29～3. 6 (24 日) 1 人	大妻女子大学
		H27. 2. 16～2. 24 (8 日) 2 人	大妻女子大学
27	6	H27. 8. 3～9. 11 (24 日) 2 人	大妻女子大学
		H27. 8. 3～9. 1 (18 日) 1 人	大妻女子大学
		H27. 10. 2～11. 10 (24 日) 1 人	明星大学
		H28. 2. 1～3. 7 (24 日) 2 人	大妻女子大学

(2) 講師の派遣

年度	日数	テーマ	学校名
23	1	社会福祉協議会の仕事と専門職の役割	大妻女子大学
24	1	社会福祉協議会における仕事	大妻女子大学
	1	ボランティア活動について	東京医療学院大学
25	1	社会福祉協議会における仕事	大妻女子大学
	1	ボランティア活動について	東京医療学院大学
	2	社会福祉協議会の歴史的背景と役割、今後の課題	
26	1	社会福祉協議会における仕事	大妻女子大学
	1	ボランティア活動について	東京医療学院大学
	2	社会福祉協議会の歴史的背景と役割、今後の課題	
	1	社会福祉協議会の役割とボランティア通信での連携について	多摩大学(中村その子ゼミナール)
	1	ふくしだよりを通じた社会福祉協議会の活動について	
27	1	社会福祉協議会における仕事	大妻女子大学
	1	ボランティア活動について	東京医療学院大学
	2	多摩市社会福祉協議会の歴史的背景と役割、今後の課題	

3 普及・啓発

(1) 会報「ふくしだより」の発行

単位：円

年度	発行数	配布方法	内 容	広告収入	発行経費
23	年6回発行 (5・7・9・ 11・1・3月)	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞折り込み（一部ポスティング） ・公共施設、郵便局、駅、福祉協力店等に配架 ・声のふくしだよりの送付（録音テープを視覚障がい者に送付） 	タブロイド版	262,000	3,218,202
24			タブロイド版	354,000	2,671,059
25		<ul style="list-style-type: none"> ・ポスティングによる全戸配布（平成25年度から実施） ・公共施設、郵便局、駅、福祉協力店等に配架 ・声のふくしだよりの送付 	72,000部	399,000	3,386,234
26		<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設、郵便局、駅、福祉協力店等に配架 ・声のふくしだよりの送付 	タブロイド版 70,000部	375,000	3,402,395
27		<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設、郵便局、駅、福祉協力店等に配架 ・声のふくしだよりの送付 	タブロイド版 70,000部	543,000	4,601,876

(2) 福祉バザー

単位：円

年度	日時	場所	バザー等 収入	バザー 経費	収益額	備考
23	23.10.30(日) 10:00 ～15:00	東永山複合 施設	555,287 (343,687)	805,834	△250,547	協力：17団体 参加：23団体 ※東日本大震災復興支援 フェア（石巻元気復興セ ンター、潮風商店訪問販 売）
24	24.11.4(日) 10:00 ～15:00		556,479 (443,650)	739,145	△182,666	協力：10団体 参加：22団体
25	26.2.22(土) 11:00 ～15:00	総合福祉セ ンター	519,815 (335,315)	135,890	383,925	協力：10団体 参加：24団体 ※2.19～21 までプレバ ザー実施
26	27.1.24(土)、 2.18(水) ～21(土) 10:00 ～15:00	ヴィータ及 び総合福祉 センター・ア クアブルー 多摩	470,362 (404,870)	88,599	381,763	ボランティアまつり、春 の発表会、福祉大会の開 催日に合わせて実施
27	27.10.18(日)、 28.2.24(水) ～27(日) 10:00 ～15:00	総合福祉セ ンター・ア クアブルー 多摩	678,401 (643,711)	41,256	637,415	福祉フェスタ、春の発表 会、福祉大会の開催日に 合わせて実施

※バザー等収入額は、バザー出店参加費、飲み物販売、寄附金等その他収入を含む。

()内の数字はバザーのみの収入額

(3) 福祉フェスタ

年度	日時	場所	来場者数	内容	備考
27	27.10.18(日) 10:00 ～16:30	総合福祉センター およびアクアブルー多摩	約 4,000 人	<ul style="list-style-type: none"> ・たまかんフェスタ、からきだ菖蒲館まつりとの同日開催（共同企画スタンプラリー等実施） ・福祉団体等による販売、体験、発表、展示 ・福祉バザー、チャリティけんちん ・東日本大震災復興支援フェア ・特別企画「被災地復興の現状について」（講演：石巻元気復興センター）、「ライブ 手話ソング」（出演：水戸真奈美氏） 	協賛・協力：32 団体 参加：54 団体 協力者（ボランティア） 74 人

(4) 福祉大会

年度	日時	場所	内容	参加者
22	23.2.27(日) 10:00 ～12:00	総合福祉センター3 階 多目的フロア	第 1 部 式典（表彰状：個人 23 人、感謝状：個人 10 人、10 団体） 第 2 部 「草むら音楽隊」による合唱、「多摩スイングオーケストラ」による演奏	<ul style="list-style-type: none"> ・受賞者 32 人 ・来賓者 18 人 ・来場者 102 人 ・出演者 24 人
23	24.2.26(土) 10:00 ～12:00		第 1 部 式典（表彰状：個人 19 人、感謝状：個人 7 人、21 団体） 第 2 部 パルテノン多摩訪問コンサート「ヴァイオリンの調べ」	<ul style="list-style-type: none"> ・受賞者 38 人 ・来賓者 18 人 ・来場者 120 人 ・出演者 6 人
24	25.2.24(日) 13:00 ～15:15		第 1 部 式典（表彰状：個人 18 人、感謝状：個人 2 人・11 団体） 第 2 部 多摩テュッティ弦楽合奏団「ストリングスコンサート」	<ul style="list-style-type: none"> ・受賞者 25 人 ・来賓者 16 人 ・来場者 60 人 ・出演者 54 人（関係者含む）
25	26.2.22(土) 9:30 ～10:10		式典（表彰状：個人 15 人、感謝状：個人 3 人、17 団体） ※法人化 40 周年記念福祉大会として記念誌を作成し、配布	<ul style="list-style-type: none"> ・受賞者 24 人 ・来賓者 21 人 ・来場者 40 人
26	27.2.21(土) 10:00 ～16:30		<ul style="list-style-type: none"> ・福祉バザー、福祉団体等の自主製品販売、模擬店、福祉体験コーナー、発表等 ・式典（表彰状：個人 27 人、感謝状：個人 9 人、11 団体） ・多摩市長による講演会「多摩市版地域包括ケアシステムについて」・社協会長との対談 協力：2 団体、参加：30 団体、協賛：6 団体	<ul style="list-style-type: none"> ・受賞者 31 人 ・来賓者 18 人 ・来場者 3,000 人
27	28.2.27(土) 10:00 ～16:30	総合福祉センターおよびアクアブルー多摩	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉バザー、福祉団体等の自主製品販売、模擬店、福祉体験コーナー、発表、無料映画上映会 ・式典（表彰者：個人 20 人、感謝状：個人 5 人、18 団体）（東京都共同募金会多摩地区協力会感謝状：4 団体） ・多摩市医師会会長（田村豊氏）による講演「医療と福祉の連携～いつまでも元気で楽しく暮らしていくには～」 協力：1 団体、参加：21 団体	<ul style="list-style-type: none"> ・受賞者 38 人 ・来賓者 19 人 ・来場者 1,800 人

4 組織強化活動

(1) 会員賛助金の状況

区分・単価 (円)	23年度		24年度		25年度		26年度		27年度	
	件数	会費(円)	件数	会費(円)	件数	会費(円)	件数	会費(円)	件数	賛助金(円)
個人会員 @500以上	3,167	1,597,000	2,916	1,458,000	2,534	1,267,000	2,559	1,279,500	3,497	2,377,547
団体会員 3,000以上	89	309,000	94	327,000	111	374,000	126	428,500	134	463,500
賛助会員 1,000以上	920	1,123,350	846	1,020,500	806	968,000	793	961,000		
特別会員 10,000以上	93	1,045,000	82	1,010,000	72	845,000	85	975,000	95	1,075,000
合計	4,269	4,074,350	3,938	3,815,500	3,523	3,454,000	3,563	3,644,000	3,726	3,916,047

(2) チャリティーゴルフ大会

単位：円

年度	日にち	場所	参加者	参加費 収入	協賛 収入	大会 経費	収益額	備考
23	23.6.20 (月)	桜ヶ丘 カントリー クラブ	202人	621,000	769,320	568,978	821,342	協賛： 44団体、個人4人
24	24.6.25 (月)		171人	522,000	676,730	506,520	692,210	協賛： 42団体、個人3人
25	25.6.24 (月)		157人	480,000	605,651	453,296	632,355	協賛： 41団体、個人4人
26	26.6.23 (月)		176人	455,000	587,498	381,696	660,802	協賛： 45団体、個人3人
27	26.6.29 (月)		143人	302,000	417,200	68,768	650,342	協賛： 40団体、個人5人

(3) 寄付金の状況

単位：円

区 分		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
一般寄付		970,195	1,332,287	6,467,146	1,209,746	2,028,021
指定 寄付	ボランティア基金	147,169	168,734	50,000	68,810	61,000
	ボランティア・ 市民活動支援	-	150,000	466,794	365,377	595,245
	小地域福祉活動	-	-	11,122	100,000	95,000
合計		1,117,364	1,651,021	6,995,062	1,653,933	2,779,266

5 助成事業

(1) 収支の状況

① 収入の状況

単位：円

区分	平成27年度			平成26年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合計	4,599,000	4,100,000	89.1	4,248,000	4,116,736	96.6

② 支出の状況

単位：円

区分	平成27年度			平成26年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合計	4,599,000	3,878,972	84.3	4,248,000	4,088,817	96.2

(2) 福祉団体補助

①平成27年度実績

目的	団体へ補助することで、地域福祉の充実と発展を図る。	
補助団体	14団体	
	① おしゃべりノササゲの会	(パーキンソン病患者と家族の会)
	② くぬぎ	(知的障がい児者と保護者の会)
	③ サンクラブ多摩	(精神障がい者の家族会)
	④ 多摩市失語症友の会こだま	(失語症当事者の会)
	⑤ 多摩市視覚障害者福祉協会	(視覚障がい者当事者の会)
	⑥ 多摩市手をつなぐ親の会	(知的障がい児者と保護者の会)
	⑦ 多摩市遺族会	(遺族会)
	⑧ 多摩市身体障害者福祉協会	(身体障がい者当事者の会)
	⑨ 多摩市手をつなぐ育成会	(全日本手をつなぐ育成会加入団体)
	⑩ 多摩市聴覚障害者協会	(聴覚障がい者当事者の会)
	⑪ 多摩草むらの会	(精神障がい者と家族の会)
	⑫ 多摩やまばと会	(原爆被爆者の会)
	⑬ プレイルームゆづり葉の家	(知的障がい児者の会)
⑭ ほほえみ	(母子家庭の会)	
補助金額	総額 2,406,958 円 (内訳) ①事業費 2,406,958 円 ②平和式典参加費 0 円	

②過去5年間の状況

単位：円

	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
補助団体	14団体	14団体	14団体	14団体	14団体
補助総額	2,821,160	2,821,160	2,821,160	2,801,927	2,406,958

(3) 老人クラブ連合会事業費補助金

連合会が行う事業に要する経費の一部を補助することにより、高齢者間の交流や親睦、連合会の活動の活発化を図る。

補助団体：多摩市老人クラブ連合会

補助金額：150,000円(年額) ※会報紙に充当

(4) 自治会・住宅管理組合ふくし活動助成金

自治会・住宅管理組合が行う地域での福祉活動（地域のまつり、敬老事業、防災・文化活動等）に関する事業に対して助成することで、地域の福祉の振興を図る。

		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
対象団体	自治会	95 団体	95 団体	94 団体	94 団体	94 団体
	管理組合	97 団体	97 団体	100 団体	101 団体	101 団体
	計	192 団体	192 団体	194 団体	195 団体	195 団体
助成団体	自治会	12 団体	18 団体	19 団体	26 団体	31 団体
	管理組合	20 団体	24 団体	30 団体	31 団体	34 団体
	計	32 団体	42 団体	49 団体	57 団体	65 団体
助成総額		630,500	840,000	980,000	1,117,700	1,286,750

単位：円

※上限額：1 団体 2 万円

※申請受付期間：4 月 1 日～6 月 30 日（交付決定 7 月）

6 地域福祉活動の推進事業

(1) 収支の状況

① 収入の状況

単位：円

区 分	平成27年度			平成26年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合 計	4,203,000	2,905,086	69.1	2,647,000	2,523,000	95.3

② 支出の状況

単位：円

区 分	平成27年度			平成26年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合 計	4,203,000	2,445,373	58.1	2,647,000	2,356,213	89.0

(2) 相談事業「福祉なんでも相談」

①平成27年度実績

開催会場 開催日時	①愛宕かえで館 第2木曜日 (午後2時～4時・10回実施) ②ひじり館 第3金曜日 (" "・10回実施) ③貝取こぶし館 第1月曜日 (午後1時～3時・10回実施) ④わいわいショップ第2火曜日 (" "・11回実施) ⑤百草団地 第4水曜日 (" "・10回実施) ⑥トムハウス 第2火曜日 (12時30分～午後1時30分・9回実施) ⑦からきだ菖蒲館 第3火曜日 (午後2時～4時・11回実施) ⑧桜ヶ丘(サロン内) 第4木曜日 (午後2時～4時・10回実施)
内 容	地域住民の身近な相談を関係する団体等と適切につなぐことで、問題の早期発見と予防に努めるとともに、本協議会や福祉サービスの情報提供及びPRを図る。 多摩ボランティア・市民活動支援センター及び権利擁護センターと連携し、専門相談への対応を図る。
対 象 者	市民全般
相談件数	328件(高齢62件 障がい5件 その他32件 事業229人) *前年度同期114件(高齢97件 障がい7件 その他10件)
連 携 者 (団体)	コミュニティセンター運営協議会、地域包括支援センター 多摩ボランティア・市民活動支援センター、権利擁護センター 地域活動支援センターあんど、消費生活センター

②過去5年間の状況

	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
相談件数	105	69	68	114	328

(3) ふれあい・いきいきサロン推進事業

①平成27年度実績

内 容	小地域福祉活動推進にあたり、住民主体で行う地域でのサロン活動の推進と支援を行う。 登録団体への支援内容 <活動方法・内容等の相談、情報提供、人材紹介、保険料の負担> <活動費の補助・・・1年目2万円、2年目1万円、3～5年目5千円> ・保険加入団体52団体 保険料総額 187,616円
対象団体	市内の任意の市民団体
連携者 (団体)	サロン活動団体、地域包括支援センター、多摩市、民生・児童委員

②過去5年間の状況

	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
登録団体数	37	43	46	43	52
助成団体数	24	22	25	20	23
助成総額 (単位:円)	205,000	240,000	200,000	175,000	275,000

③平成27年度ふれあい・いきいきサロン等活動状況一覧

◎ 本協議会登録サロン

NO	サロン名	場 所	日 時	登録 年度	備考
1	永山3-1ふれあい	永山3-1集会所	毎月第3木曜日	H15	
2	月曜会	グリーンメゾン 貝取2集会所	毎月第1・3月曜日	H15	
3	豊ヶ丘5-3懇話会	豊ヶ丘5-3集会所	毎週2～3回開催 (不定)	H16	
4	もえぎサロン	貝取クラブ(集会所)	毎月第1金曜日	H16	
5	豊ヶ丘4-1 ふれあい おしゃべりサロン	豊ヶ丘4-1集会所	毎月第3水曜日	H16	
6	雑談の会(関戸・一ノ宮)	関・一つむぎ館	毎月第4金曜日	H17	
7	環の会	グリーンメゾン 鶴牧3集会所	毎週木曜日	H18	
8	ふれあいサロン「木の葉」 (このは)	豊ヶ丘5-1 集会所	毎月19日	H18	
9	碁楽会	豊ヶ丘市民ホール	毎週月・水・金・土 曜日	H18	
10	みのりの会	都営貝取2丁目団地 集会所	第1木・第3金曜日	H18	
11	三々五々の会	落合3-3集会所	第1火曜日	H19	
12	エステート永山-3 ”ふれあいサロン”	エステート永山3集 会所	第1・3金曜日	H19	

NO	サロン名	場 所	日 時	登録 年度	備考
13	豊ヶ丘3-3ふれあい会	豊ヶ丘3-3集会所	第1月曜日	H19	
14	ハイライズ親睦の会	鶴牧6-16集会所	第2日曜日	H19	
15	ブリリアシニアの会	ブリリア多摩センター 内パーティールーム	第3水曜日	H20	
16	連光寺志学サロン	連光寺志学サロン (連光寺2丁目)	毎月5日	H20	
17	ぷろむな〜ど・サロン	プロムナード多摩中 央団地集会所	第4水曜日	H20	
18	サロン河原倶楽部	関戸河原クラブ(集 会所)	第2土曜日	H21	
19	京王一ノ宮サロン	京王一ノ宮集会所 (連光寺4丁目)	第4木曜日	H21	
20	にじの会	向の丘集会所(連光 寺1丁目)	毎月10日	H21	
21	この指とまれ	関戸4丁目ポロン (店舗)	第1・3月曜日、 第1火曜日、 第3木曜日	H21	
22	ふれあいサロン貝取4-4	貝取4-4集会所	第2土曜日	H21	
23	瓜生ランチ	瓜生集会所	第3火曜日	H21	
24	ふれあいサロン 「すずめのお宿」	エステート聖ヶ丘- 3集会所	第3木曜日	H22	
25	いきいきサロン和田	和田集会所	第4日曜日	H22	
26	落合4-3園芸有志会	落合4-3集会所	毎週日曜日	H22	
27	聖ヶ丘2丁目東サロン ”気まま会”	エステート聖ヶ丘2 丁目東団地集会所	毎週金・土・日曜日	H22	
28	聖ヶ丘灯火サロン	聖ヶ丘4丁目集会所	第4土曜日	H23	活動費 助成有
29	サロンかいどりやま	グリーンヒル貝取2 集会所	第2土曜日	H23	活動費 助成有
30	ご近所ふれあいの会	貝取5丁目UR集會 所	第2火曜日	H23	活動費 助成有
31	いきいきサロン・メゾネッ ト永山	メゾネット永山5 集会所	第1火曜日	H24	活動費 助成有
32	鶴三会	タウンハウス鶴牧3 集会所	第3木曜日	H24	活動費 助成有
33	桜ヶ丘まちネットにこにこ サロン	桜ヶ丘集会所	毎週木曜日	H24	活動費 助成有
34	サロン・コスモ	コスモフォーラム多摩 コミュニティ棟 カルチャールーム	第3金曜日	H24	活動費 助成有
35	サロンボンジュール	聖ヶ丘2丁目集会所	不定期	H24	活動費 助成有
36	木曜サロン	落合3-4集会所	毎週木曜日	H25	活動費 助成有

NO	サロン名	場 所	日 時	登録 年度	備考
37	関戸みのり会	関戸第一クラブ集会所	奇数月第1木曜日	H25	活動費 助成有
38	茶ロンつむぎ	エステート貝取-2 住宅管理組合集会所	毎週火・木曜日	H25	活動費 助成有
39	愛宕第一住宅サロン	愛宕第一住宅集会所	毎週水・土曜日	H26	活動費 助成有
40	鶴5東町会親睦会	鶴牧5丁目集会所	第1月曜日	H26	活動費 助成有
41	ひまわりの会	個人宅（諏訪2丁目）	第1水曜日	H26	活動費 助成有 子育て サロン
42	愛宕いどばた会	愛宕2丁目住宅管理 組合集会所	第3木曜日	H26	活動費 助成有
43	落合4の3おはなし会	落合4-3集会所	毎月第2・4火曜日	H27	活動費 助成有
44	関戸さくら会	関戸河原クラブ集会所 （関戸2丁目）	毎月第1月曜日	H27	活動費 助成有
45	一ノ宮けやきサロン	一ノ宮集会所	毎月第3水曜日	H27	活動費 助成有
46	いきいきローズ	木の実公園集会所 （連光寺3丁目）	毎週水曜日	H27	活動費 助成有
47	木の実サロン	木の実公園集会所 （連光寺3丁目）	毎月第2火曜日	H27	活動費 助成有
48	「喫茶くすのき」	タウンハウス鶴牧4 集会所	毎月第4木曜日	H27	活動費 助成有
49	ハマナスの会	聖ヶ丘3丁目南集会所	毎月第3金曜日	H27	活動費 助成有
50	サロン5-21	タウンハウス永山5 集会所	毎月第3週1回	H27	活動費 助成有
51	ふれあい サロン 結	落合4-4集会所	毎月第3水曜日	H27	活動費 助成有

*登録サロンについては、サロン保険の保険料を本協議会にて全額負担

◎ 諏訪支部によって実施されているサロン

NO	サロン名	場 所	日 時	開始 年度	備考
1	茶話会（諏訪2丁目）	諏訪2丁目住宅管理 組合集会所	第1月曜日	H17	
2	茶話会（諏訪5丁目）	諏訪5丁目自治会集 会所	第1木曜日	H18	
3	茶話会（諏訪1丁目）	永山ハウス	第3木曜日	H20	
4	茶話会（諏訪4丁目）	諏訪4-1談話室	第4木曜日	H24	

- ◎ 連携サロン(社協サロン登録をおこなわず活動しているサロン。社協は、サロン活動における相談支援・サロン交流会などにおける情報交換の機会の提供などの連携を図っている)

NO	サロン名	場 所	日 時	開始年度	備考
1	落合3-2自治会ふれあいサロン	落合3-2自治会集会所	毎週火曜日	H8	
2	百草井戸端サロン	都市再生機構の第二集会所	第2水曜日	H15	
3	カレーの日(馬引沢団地ボランティアクラブ)	馬引沢団地自治会集会所	第2水曜日	H9	
4	都営聖ヶ丘1丁目アパート自治会 ふれあいサロン	都営聖ヶ丘1丁目アパート自治会集会所	不定期	H12	
5	ホームタウン諏訪1-71やまもの会	ホームタウン諏訪集会所	奇数月最終土曜日	H16	元社協登録サロン
6	多摩健康麻将の会	東永山複合施設・落合複合施設	毎週月・火・水・土・日曜日	H17	元社協登録サロン
7	歌の輪サークル	グリーンメゾン集会所	第2火曜日	H23	元社協登録サロン

- ◎ ラウンジ(サロン活動の中で、毎週1回以上の開催、小イベントの実施など一定の条件を満たす活動)

NO	名 称	場 所	日 時	開始年度	備考
1	諏訪4丁目ふらっとラウンジ	諏訪4丁目自治会談話室とその周辺	毎週月曜日、第1・3・5金曜日、第2・4土曜日	H19	
2	諏訪5丁目ぶらっとラウンジ	諏訪5丁目集会所とその周辺	毎週土曜日	H21	

(4) 小地域福祉活動推進事業

地域住民ニーズの把握や住民自らが福祉課題を共有化し、それぞれの地域の個別課題の解決に向けて協議する場として、コミュニティエリア内の自治会・住宅管理組合、民生委員、地域包括支援センター、福祉団体ボランティア、コミュニティセンター運営委員会や社協役員とともに「地域住民懇談会」を開き、適宜「地域福祉推進委員会」の設置など地域の組織化につなげていく。また、地域福祉推進委員会を通じて、地域住民がさまざまな地域課題解決に取り組めるよう支援する。

①平成27年度実績（小地域福祉活動状況）

エリア名	小地域福祉活動の進捗状況
<p>第1エリア (関戸・一ノ宮)</p>	<p><関戸エリア> ■まち育てネットワーク・関戸 *委員会：6回開催 ：延べ72団体89人参加 *世話人会：6回開催 [定例の委員会内での取り組み] ※定例の委員会では、事業の進捗確認と情報交換を実施 [委員会企画事業] ・関戸まち歩き第5弾実施[4月]：24人参加 ・ホテル狩り交流会[6月]：27人参加 ・多摩中学校宿泊訓練への参加協力[10月] ・関戸まち歩き第6弾[10月]：31人参加 ・関戸まち歩き第7弾[11月]：13人参加 ・関戸しゃべりBa（地域交流イベント）[2月]：29人参加 ・つむぎ館まつり出展[10月]：まちの縁側 ・地域ふれあいフォーラム TAMA 出展[1月]：まちの縁側 *広報紙：「まちネット・関戸だより」 第2号 [8月] 1,000部発行 第3号 [1月] 1,000部発行 *多摩第一小学校放課後教室ボランティア協力：13回実施 多摩第一小学校 PTA との打ち合わせ：1回実施 *サロン登録：「関戸さくら会」 <一ノ宮エリア> *サロン登録：「一ノ宮けやきサロン」</p>
<p>第2エリア (連光寺・聖ヶ丘)</p>	<p>■連光寺・聖ヶ丘地域福祉推進委員会 *委員会：6回開催 ：延べ147団体223人参加 *世話人会：11回開催 [定例の委員会内での取り組み] ・2015年度テーマ「世代間交流」を進めるために4グループに分かれて、討議・活動（イベント企画、多摩大連携、子育て支援、高齢者支援） <イベント企画グループ> ・世代間交流バーベキュー [11月] 参加者48人 <多摩大連携グループ> ・防災ゲーム [11月] 参加者21人(内多摩大学生6人) ・地域インタビュー[2月] 参加者12人(内多摩大学生3人) <子育て支援グループ> ・聖ヶ丘学童クラブ「乳幼児開放」への参加 <高齢者支援グループ> ・東落合小の高齢者ゴミだし活動聞き取り調査 など *各部会の活動 ○広報部会 ・広報紙「ふくしポスト」 第10号 [5月] 3,000部発行 第11号 [9月] 3,000部発行 第12号 [1月] 3,000部発行 ○事業部会 ・学習会の開催：テーマ「介護保険制度改正と新たな地域づくり」[12月] 参加者 51人</p>

	<p>*<u>聖ヶ丘コミュニティセンター運営協議会との連携</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉なんでも相談の実施（ひじり館） 10回実施 <p>*<u>サロン登録</u>：「いきいきローズ」「ハマナスの会」「木の実サロン」</p>
第3エリア (桜ヶ丘)	<p>■<u>桜ヶ丘まちネット</u></p> <p>*<u>委員会</u>：2回開催 ：延べ20団体43人参加</p> <p>*<u>世話人会</u>：11回開催 〔定例の委員会内での取り組み〕 ※定例の委員会では情報交換等を実施 〔委員会企画事業〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普及啓発講座の実施：「いつまでも住み慣れた地域で暮らしていくために～地域で受ける医療と介護について」のテーマであいクリニック中沢の院長亀谷氏を講師に迎え、地域住民を対象に講座を実施（61人参加）〔10月〕 <p>*<u>広報紙</u>：「さくらの丘だより」 第5号〔4月〕 2,500部発行 第6号〔7月〕 2,500部発行 第7号〔12月〕 2,500部発行</p> <p>*<u>集会所でサロン活動</u>（毎週木曜）47回開催 延べ約1,200人参加</p> <p>■<u>にこにこサロン</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉なんでも相談の実施（にこにこサロン内）：10回実施 （連携：西部地域包括支援センター） <p>*<u>桜ヶ丘コミュニティセンター運営協議会との連携</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ゆう桜ヶ丘夏祭り」への運営の協力 ・普及啓発講座の共催実施〔10月〕
第4エリア (東寺方、和田、百草、落川)	<p><百草団地周辺エリア></p> <p>■<u>三方の森ふれんど</u></p> <p>*<u>地域住民懇談会</u>：1回開催 延べ11団体20人参加</p> <p>*<u>委員会</u>：5回開催 延べ51団体100人参加</p> <p>*<u>準備会</u>：7回開催</p> <p>*<u>世話人会</u>：1回開催 〔定例の委員会内での取り組み〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員会「三方の森ふれんど」立ち上げと名称決め〔7月〕 ・居場所「三方の森ふれんど広場」立ち上げにむけて〔12月〕 ・体制づくり（委員長、副委員長、世話人、居場所担当者選出）〔2月〕 <p>〔委員会企画事業〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災イベントの実施（協力：多摩市防災安全課、多摩消防署）〔9月〕：60人参加 ・見守りサポーター養成研修実施（講師：高齢支援課）〔3月〕：13人参加 <p>*<u>その他</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉なんでも相談の実施（三方の森コミュニティ会館）：10回実施 （連携：西部地域包括支援センター） ※高齢者を対象の脳トレ、「おたっしや21」、権利擁護センター「あんしんサポート・たま」紹介、たすけあい有償活動紹介、介護予防リーダーと体操や口腔ケア、介護状態にならない講座等の実施。
第5エリア (愛宕・乞田)	<p><愛宕エリア></p> <p>■<u>ほほえみネットワーク・愛宕</u></p> <p>*<u>委員会</u>：4回開催 ：延べ76団体186人参加</p> <p>*<u>世話人会</u>：12回開催 〔定例の委員会内での取り組み〕</p>

<p>第5エリア (愛宕・乞田)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者にやさしい地域へ-ヘルプカード講座-[6月] ・元気な方も認知症の方も引きこもらずに、安心して外に出られる地域へ-首都大学東京 名誉教授星旦二氏による講座- 86人参加[9月] ・「まち歩き」-地域のことをもっと知ろう → 防災、防犯から地域力アップへ 東愛宕中学校教員及び生徒も参加し実施 45人参加[12月] ・「今年度の振り返りと来年度の取り組みについて」テーマ：愛宕の魅力を再発見 23人参加[2月] *広報紙：「ほほえみ通信」 創刊号 [10月] 2,500部発行 *愛宕コミュニティセンター運営協議会との連携 ・福祉なんでも相談の実施：10回実施 ・かえで館まつりへの参加[10月] ※中部・西部包括、あいクリニックと連携し健康チェック等を実施 *その他 ・あたご連協夏祭り[7月] ※中部・西部包括、あいクリニックと連携しゲームや健康チェック等を実施
<p>第6エリア (馬引沢・諏訪)</p>	<p>■馬引沢・諏訪地域福祉推進委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> *委員会：6回開催 ：延べ89団体122人参加 *世話人会：13回開催 〔定例の委員会内での取り組み〕 *本年度のテーマ「見守りと広報紙発行」 ・広報紙に関するグループワーク[4月] ・広報紙紹介、わが街再発見事業(どんぐりパン)[6月] ・見守りに関する事例紹介とグループワーク[8月] ・地域の見守りに関する情報交換・ささえ愛の記事検討[10月] ・ささえ愛の記事検討 [12月] ・広報紙紹介、平成28年度に向けて意見交換[2月] *広報紙：「ささえ愛」 第4号 [6月] 3,800部発行 第5号 [2月] 3,800部発行

第7エリア
(永山)

■福祉のネットワーク永山

*委員会：6回開催

：延べ108団体184人参加

*世話人会：12回開催

〔定例の委員会内での取り組み〕

- ・子どもの安全体験教室紹介と地域住民取組みについて（瓜生小学校 PTA 他）
[5、7、9月]
- ・エステート聖ヶ丘-3団地の住民助け合い活動の紹介[7月]
- ・居場所づくり「食を通じたサロン活動」紹介（馬引沢団地ボランティアクラブ「カレーの日」、瓜生ランチ）[9月]
- ・障がい者理解「健常者と共にできるスポーツ」紹介（多摩市視覚障害者福祉協会）[11月]
- ・介護保険制度改正についてのミニ講座（介護保険課、高齢支援課）[1月]
- ・1年間の振り返りとH28年度にむけてグループワーク「子どもの見守り」「介護予防、健康維持」「高齢者の見守り、居場所」[3月]

*交流

- ・「ネットワーク・まち歩き」開催（毎月第2火曜日：11回開催：参加者数延べ383人）。
- ・「さんぽ会」（毎月第1・3水曜日）
瓜生小PTA子どもの安全体験教室、避難訓練（集団下校付添）参加

*見守り

- ・見守りウォーキング（毎月第2・4月曜日）12月より新規事業

*広報紙：「ふくしのネットワーク永山だより」（季刊発行）

春号 [4月] 1,720部発行
夏号 [6月] 1,780部発行
秋号 [10月] 2,020部発行
冬号 [12月] 2,470部発行

*セミナー 体操を通じて「介護予防」

- ・「痛活」セミナー実施[10月]：馬引沢後藤整骨院後藤院長による「運動を通じて痛みと上手に付き合う」講座と体操体験実施 48人参加

*ネットワークづくり

- 「瓜生小地区防災組織担当者連絡会」8回開催：延べ参加89団体157人参加
・避難所運営訓練実施[11月]：12団体162人参加
- 「永山小・多摩永山中地区防災情報連絡会」8回開催：延べ56団体95人参加
・地区防災倉庫内物品棚卸を通しての情報共有[7月]
・永山地区合同防災訓練実施[11月]：12団体100人参加

*その他

- ・福祉なんでも相談の実施（永山商店街 わいわいショップ）：10回実施
（連携：中部地域包括支援センター）

※脳トレ(7回)の実施

*サロン登録：「サロン5-21」

<p>第8エリア (貝取・豊ヶ丘)</p>	<p>■ネットワーク貝取・豊ヶ丘きずな *委員会：5回開催 ：延べ77団体117人参加 *世話人会：9回開催 ※地域福祉普及啓発講座[10月]企画の為臨時会を開催 *普及啓発講座：1回開催 69人参加 〔定例の委員会内での取り組み〕 *本年度のテーマ「地域のきずなとプライバシー」 ・「在宅介護・医療・福祉と地域で出来る支えあい」介護保険利用の流れ、福祉サービスを受けながら地域で暮らしている人の事例を田村クリニックのケアマネジャーより紹介。「地域で出来る支えあい」についてグループワークを実施[5月] ・「地域での支えあい～多摩市の事例から～」聖ヶ丘“おてつだい・エブリー”の紹介、グループワーク実施[7月] ・「避難所運営ゲーム（HUG）」を青陵中学校の避難所マニュアルを基に青陵中学校を会場に実施。[11月] ・「あなたならどう使う？集会所」～集会所の可能性を探る～と題し、地域内の事例紹介やUR都市機構による事例提供、情報交換[1月] ・「平成27年度総括と平成28年度に向けて」～地域づくり・担い手育成・防災から考える～と題し、平成28年度の取り組み内容を参加者も交えて意見交換の実施[3月] 〔委員会企画事業〕 ・「支え合いとプライバシー～個人情報への誤解と真実～」と題し、田園調布学園大学村井氏を講師に迎え、全市向けに企画・実施 [10月] ※プチ講座(4回) *貝取コミュニティセンター運営協議会との連携 ・福祉なんでも相談の実施（こぶし館）：10回実施 （連携：南部地域包括支援センター） ※今年度より冒頭30分で「ちょこっと講座」を実施：延べ45人参加</p>
<p>第9エリア (鶴牧・落合・南野)</p>	<p>■ふれあいトムとも *委員会：6回開催 ：延べ115団体 153人参加 *世話人会：9回開催 〔定例の委員会内での取り組み〕 ・ふれあいトムともの活動、多摩センター地域包括支援センターの活動紹介 [6月] ・災害時も含めた要援護者の見守りについて（北落合地区災害対策連絡協議会・エステート聖ヶ丘-3団地の活動紹介） [7月] ・エステート鶴牧4・5住宅管理組合の防災活動について[9月] ・寸劇による「鶴牧・落合・南野地域の社会福祉資源紹介～つながりあい・支えあう～」、地域での見守りについてグループディスカッション[11月] ・馬引沢自治会の見守り活動について[1月] ・今年度のトムともの取り組み報告と次年度に向けてフリートーキング[3月] *広報紙：「トムともだより」 第4号[9月] 1,000部発行 第5号[3月] 1,300部発行 *鶴牧・落合・南野コミュニティセンター運営協議会との連携 ・福祉なんでも相談の実施（トムハウス）：9回実施 （連携：多摩センター地域包括支援センター） ※脳トレ等の実施</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・トムハウス主催の食事懇談会で脳トレと福祉なんでも相談のPRを実施 ・トムハウスまつりへの参加[10月] ※多摩センター包括と連携して、脳トレを実施 *サロン登録：「落合4の3おはなしの会」「喫茶くすのき」「ふれあいサロン結」 	
第10エリア (唐木田・中沢・山王下)	<p>■唐木田・中沢・山王下等地区地域福祉推進委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> *地域住民懇談会：2回開催：延べ28団体36人参加 *委員会：6回開催：延べ60団体98人参加 *社協役員打合せ：3回開催 [定例の委員会内での取り組み] ・今後の委員会内での取り組みに関して意見交換[7月] ・テーマ別グループワーク実施[9月][11月][2月] ・「コミュニケーション」グループを中心にイベント検討 [2月] [3月] 【委員会企画事業】 ・市内ふれあいきいきサロン見学 [2月] ・唐木田・中沢・鶴牧・山王下地区桜まつり実施（鶴牧西公園での花見イベント） [3月] *唐木田コミュニティセンター運営協議会との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・福祉なんでも相談の実施（からきだ菖蒲館）：10回実施（連携：多摩センター地域包括支援センター） ・菖蒲館まつりへの参加 ※多摩センター包括と連携して脳トレを実施 ・桜まつりの共催実施 [3月] *青木葉地域連絡会との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の自治会、マンション管理組合、青少年問題協議会、小学校からなる青木葉地域連絡会（開催：3回）に出席し、管理組合が抱える課題を情報共有 ・「落合ふるさと夏祭り」にて東日本大震災復興支援の協力実施（参加主体は青木葉地域連絡会有志） 	
※地域住民懇談会・地域福祉推進委員会の主なメンバー（民生委員、地域包括支援センター、自治会・住宅管理組合、コミュニティセンター運営協議会、老人クラブ、青少年問題協議会地区委員会、地域防犯・防火活動組織など）		
地域福祉推進委員会情報交換会 (地域福祉推進委員会連絡会)	開催日時	第1回：平成27年7月30日(木) 第2回：平成28年3月1日(火)
	会 場	多摩市総合福祉センター 7階研修室
	内 容	第1回：広報紙の取組みと地域福祉推進委員会の活動拡大について 第2回：介護保険制度改正を受けた多摩市の取組みと今後の地域福祉推進委員会の役割・方向性について
	対 象 者	各地域福祉推進委員会世話人
	参 加 者	第1回：22人 第2回：42人
地域福祉普及啓発講座	開催日時	平成27年10月4日(日)
	会 場	永山公民館 ベルブホール
	内 容	支えあいとプライバシー～個人情報保護法の誤解と真実～
	対 象 者	多摩市民
	参 加 者	69人

7 たすけあい有償活動事業

(1) 概要

実施日時	月曜日～土曜日
内 容 利用料金	<p>住民同士の支えあいの仕組みづくりも含めた地域福祉の観点から、地域ニーズに柔軟に対応できるサービス提供をめざしている。</p> <p>生活援助サービス・・・家事全般、簡単な身の回りの世話、手続き代行、薬の受取、趣味活動などの外出補助 (1時間900円、時間外1,100円)</p> <p>介助サービス・・・車イス、通院の付き添いなどの身辺介助 (1時間1,000円、時間外1,200円)</p> <p>その他のサービス・・・換気扇掃除、窓拭き、草むしり、簡単な模様替えなど (1時間900円、時間外1,100円)</p> <p>時間外・・・早朝(7時～8時) 夜間(17時～20時) 及び日曜・祝日は割増料金</p>
対象者	多摩市在住で、上記内容を本人、家族ができない方
連携者 (団 体)	市、地域包括支援センター、介護保険事業所、シルバー人材センター他

(2) 収支の状況

① 収入の状況

単位：円

区 分	平成27年度			平成26年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合 計	6,275,000	4,628,721	73.7	6,945,000	4,156,943	59.8

② 支出の状況

単位：円

区 分	平成27年度			平成26年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合 計	6,275,000	4,424,351	70.5	6,945,000	4,140,183	59.6

(3) たすけあい有償活動実施状況

単位：人

	利用者	協力員			利用状況			
	人数	月末登録者数	新規登録者	活動者数	援助		介助	
					日中	時間外	日中	時間外
4月	61	184	2	42	57	0	5	0
5月	70	184	0	43	66	3	3	1
6月	77	194	14	50	72	1	5	1
7月	70	181	3	45	65	0	5	0
8月	62	182	1	43	59	1	3	0
9月	71	182	0	53	67	3	4	1

10月	74	182	0	49	70	2	4	0
11月	75	182	1	52	72	2	3	1
12月	80	184	2	49	75	2	6	0
1月	71	187	3	46	65	0	7	1
2月	65	213	26	44	62	2	3	0
3月	79	215	2	55	73	0	10	1
月平均	71.2	189.1		47.5	66.9	1.3	4.8	0.5
昨年度 月平均	68.2	168.0		48.1	62.1	2.4	5.5	0.5

(新規利用者：69人 新規登録協力員：54人)

(4) 過去5年間の状況

単位：人

		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
利用者数(月平均数)		72.9	73.1	65	68.2	71.2
協力員	登録者数	201	175	181	195	215
	うち新規登録者数	28	23	46	50	54
	活動者数(月平均数)	54.5	56.9	50.5	48.1	47.5

(5) たすけあい有償活動協力員研修会

開催日時	第1回 平成27年6月25日(木) 午前9時30分～11時30分 第2回 平成27年12月16日(水) 午前10時～11時30分
会場	第1回 永山公民館 視聴覚室 第2回 関戸公民館 第2学習室
内容	第1回 「みまもりサポーター養成研修」(初任者研修) 第2回 「高齢者疑似体験とサポートについて」(ステップアップ研修)
対象者	たすけあい有償活動協力員
参加者	第1回 15人 第2回 9人
連携者(団体)	第1回 高齢支援課

(6) たすけあい有償活動協力員懇談会

開催日時	第1回 平成27年10月8日(木) 午前10時～11時30分 第2回 平成28年2月29日(月) 午後2時～4時
会場	第1回 永山公民館 視聴覚室 第2回 関戸公民館 第1・2学習室
内容	懇談することにより、協力員がお互いに情報を共有し、日頃の活動における疑問や課題を解決する機会とする。
対象者	たすけあい有償活動協力員
参加者	第1回 16人 第2回 18人

(7) たすけあい有償活動協力員説明会

開催日時	第1回 平成27年6月17日(木) 午前10時~11時30分 第2回 平成28年2月17日(水) 午前10時~11時30分
会場	第1回 関戸公民館 第2学習室 第2回 永山公民館 視聴覚室
内容	たすけあい有償活動事業説明 協力員登録手続き
対象者	18歳以上の市民及び近隣地区住民
参加者	第1回 18人 第2回 48人

8 ボランティア・市民活動推進事業（多摩ボランティア・市民活動支援センター）

(1) 収支の状況

① 収入の状況

単位：円

区 分	平成27年度			平成26年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合 計	12,116,000	11,979,469	98.9	8,193,000	7,648,227	93.3

② 支出の状況

単位：円

区 分	平成27年度			平成26年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合 計	10,669,000	8,061,523	75.6	8,012,000	5,937,906	74.1

(2) 多摩ボランティア・市民活動支援センター運営委員会及び各種専門委員会の開催

委員会名	委員数	開催日	出席者数
運営委員会	15名	H27. 5. 18	12名
		H27. 9. 15	11名
		H27. 11. 17	11名
		H28. 3. 4	9名
		H28. 3. 15	12名
センター機能強化検討専門委員会	11名	H27. 4. 30	9名
		H27. 6. 22	9名
		H27. 9. 7	10名
		H27. 11. 9	9名
		H28. 3. 7	9名
財源確保検討専門委員会	9名	H27. 4. 27	6名
		H27. 6. 11	5名
		H27. 8. 27	5名
		H27. 10. 29	8名
		H27. 12. 7	5名
		H28. 1. 12	6名
		H28. 2. 22	6名
		H28. 3. 29	8名
企業等連携強化専門委員会	11名	H27. 7. 9	7名
		H27. 8. 17	8名
		H27. 9. 18	6名
		H27. 11. 16	7名
		H28. 2. 15	5名
災害ボランティアセンター設置・運営マニュアル見直し検討専門委員会	12名	H27. 4. 24	7名
		H27. 6. 26	11名
		H27. 7. 24	11名
		H27. 11. 13	8名
		H27. 12. 15	8名
団体登録及び助成金交付審査会(※)	6名	H27. 8. 25	5名

(※)平成28年度ボランティア活動等振興助成金交付審査は第4回運営委員会にて実施

(3) ボランティア育成事業

① 市民活動入門講座（福祉編）

「車いす安全整備講習会」

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
H27. 7. 30	7人	多摩ボランティア・市民活動市民センター活動室	<ul style="list-style-type: none"> ・手動車いすの規格と機能の習得、メンテナンスの基礎知識（点検～調整） ・操作体験 	介護リハビリシステム研究所

② 市民活動入門講座（IT編）

「テキスト化ってなあに」（全3回）

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
①H27. 9. 25 ②H27. 10. 2 ③ H27. 10. 16	延べ 46人	多摩ボランティア・市民活動支援センター	①テキスト化の流れ ②基礎凡例に基づいた校正作業の基礎、図や写真、グラフなどの視覚情報の処理 ③活字読み取りソフトの操作方法、校正作業、凡例の作り方 視覚障がい者のお話	全国音訳ボランティアネットワーク

③ 市民活動入門講座（地域活動編）

「観光ガイドボランティア入門講座」（全6回）

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
①H27. 9. 30 ② H27. 10. 28 ③ H27. 11. 18 ④ H27. 12. 16 ⑤H28. 1. 13 ⑥H28. 1. 23	延べ 93人	多摩ボランティア・市民活動支援センター	<ul style="list-style-type: none"> ・多摩市の魅力を学ぶ。 ・プロのガイド体験。 ・独自のコースを作成し、ボランティアまつりで発表。 	多摩市市民経済部 経済観光課 (株)歴史シアター・ジヤパン

④ ボランティア体験

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
H27. 5. 3、4、5、6、17、31、6. 21、7. 4、12、26、8. 1、23	延べ 51人	多摩ボランティア・市民活動支援センター及び東京ヴェルディホームゲーム会場等全3箇所	東京医療学院大学学生ボランティア体験	東京ヴェルディ男性ボランティア会議
H27. 5. 26、28	30人	市内・近隣の福祉施設等全7箇所	三菱東京UFJ銀行新任研修におけるボランティア体験	市内・近隣の高齢者、障がい者施設・団体

H27. 7. 20～ 8. 31	171 人	市内・近隣の 福祉施設等 全 89 箇所	夏のボランティア体験 2015 小学生以上による夏のボ ランティア体験	市内・近隣の高齢者、 障がい者施設・団体、 保育園、児童館、学 童クラブ、NPO・ボラ ンティア団体、コミ ュニティセンター
----------------------	-------	----------------------------	--	---

⑤ 災害ボランティア育成

ア) 市民活動入門講座（災害ボランティア編）（定員 40 人）

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
H27. 7. 28	16 人	関戸公民館 第 1 学習室	「わが家と地域の防災策」 ・第 1 部 身のまわりを知 る ・第 2 部 イメージする ・第 3 部 対応を考える	一般社団法人ピース ポート災害ボランテ ィアセンター

イ) 災害ボランティアセンター・スタッフボランティア活動体験（定員 30 人、全 3 回）

※ 実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
H27. 9. 9	43 人	多摩市総合 福祉センタ ー	・伊豆大島の土砂災害での 被災地支援活動を通じ て ・災害ボランティアセンタ ーとは ・多摩市災害ボランティア センター設置・運営マニ ュアルについて	国士舘大学防災・救 急救助総合研究所
H27. 9. 24	35 人	多摩市総合 福祉センタ ー	災害ボランティアセンタ ー設置シミュレーション	災害救援ボランティ ア推進委員会
H27. 10. 24	75 人	多摩市総合 福祉センタ ー	多摩市災害ボランティセ ンター設置・運営訓練	

※上記参加者には社協職員を含む（職員研修を兼ねているため）

※スタッフボランティアとして 22 人が登録

⑥ 夏休みこども科学実験教室

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
H27. 8. 4	25 人	多摩ボラン ティア・市 民活動支援 センター	「つくろう！知ってみよ う！～電子工作で学ぶ でんきと光のふしぎ」 （午前・午後開催） ・多摩ボラセンマスコッ トキャラクター「タマボラ 君」のお披露目 ※収益はボランティア・市 民活動の振興の財源に 充てる。 事業収益 1,932 円	NPO 法人きらめき ライフ多摩 ※企画運営：財源確 保検討専門委員会

⑦ ボランティア相談員連絡会

実施日	参加者	場所	内容
H27. 6. 25	5 人	多摩ボランティア・市民活動支援センター	<ul style="list-style-type: none"> 夏のボランティア体験受付について 出張相談窓口担当について
H27. 11. 30	5 人	多摩ボランティア・市民活動支援センター	<ul style="list-style-type: none"> 出張相談場所変更について 出張相談窓口担当について
H28. 3. 14	6 人	多摩ボランティア・市民活動支援センター	<ul style="list-style-type: none"> 出張相談窓口担当について

⑧ 第5回多摩地域企業等情報交換の集い

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
H27. 10. 27	45 人 ・企業 14 社 ・大学 5 校 ・関係団体等 10 団体	多摩市総合福祉センター7階研修室	<ul style="list-style-type: none"> 事例発表 <ul style="list-style-type: none"> ①企業の社会貢献活動 ②大学の社会貢献活動 ③ボランティア受入施設等よりボランティアに期待すること 多摩ボラセンの取組み、支援内容等 参加者プレゼン 参加者交流(グループ討議) 振り返り 	東京海上日動システムズ(株)、マジオネット多摩(株)、大妻女子大学、東京ヴェルディ、FC町田ゼルビア、東京都市大学 ※企画・運営：多摩ボラセン企業等連携強化専門委員会

⑨ クリスマスキャンドルスタンドづくり

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
H27. 12. 6	24 人	多摩ボランティア・市民活動支援センター	<ul style="list-style-type: none"> クリスマスキャンドルスタンドづくり。参加費をボランティア・市民活動の振興の財源に充てる。 チャリティ金 29,000 円	協力：恵泉女学園大学 ※企画運営：財源確保検討専門委員会

⑩ 第7回ボランティアまつり

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
H28. 1. 23	来場者 4,000人 当日スタッフ 141人 (実行委員 12人、財源 確保専門委員 会委員6人、 ボランティア 102人、職員 21人)	関戸公民館 7階・8階、 さくら広場 多摩ボラン ティア・市民 活動支援 センター	<ul style="list-style-type: none"> ・特別企画「ボランティアのはじめの一步を踏み出すには」(市内在住中学生とのパネルディスカッション) ・各種発表(キッズダンス、マジック、和太鼓、バンド演奏等) ・各種体験(福祉体験、創作体験、ハンドマッサージ体験、鉄道模型運転体験、バルーンアート体験等) ・福祉施設等による販売 ・被災地復興支援フェア等 ・着ぐるみによるグリーティング等 ・チャリティイベントの売上額 80,900円 ・協賛金額 255,000円 ・復興支援関係売上(収益は被災地へ寄附) 53,100円 	協賛企業等 42 団体、ボランティア 114 人(実行委員 12 人含む) ※企画運営：第7回ボランティアまつり実行委員会

⑪ 第11回地域ふれあいフォーラム TAMA

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
H28. 1. 24	来場者 5,000人	関戸公民館 7階・8階 さくら広場 多摩ボラン ティア・市民 活動支援 センター	<ul style="list-style-type: none"> ・各種体験(鉄道模型運転体験、昔遊び体験)の実施 	東京ボランティアリーダー会グループ、男性ボランティア会議

⑫ コミュニティ起業塾

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
H28. 2. 6～ 3. 19 (全5回)	14人	関戸公民館 8階大会議 室、多摩ボ ランティア ・市民活 動支援セン ター	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティビジネスの先行事例から学び、成功するための必要性を理解する ・自分のアイデアを具体化する ・地域資源の活用法 ・コミュニティビジネスの実現に向けた事業計画の作成 ・PC活用による情報発信 	多摩CBネットワーク、人材育成コンサルタント ※関戸公民館との共催

⑬ サポートボランティア入門講座（障がい者理解講座）

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
H28. 2. 7～ 3. 5 (全4回)	15人	永山公民館 4階 集会室	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者差別解消法についての講演 ・座談会(障がい当事者等) ・車椅子体験・高齢者疑似体験 ・ボランティア団体等の活動紹介 	障がい当事者、ボランティア団体等 ※永山公民館、多摩市障害福祉課との共催

⑭ 3.11 東日本大震災復興支援チャリティコンサート

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
H28. 3. 11	来場者 200人	関戸公民館 8階 ヴィータホール	<ul style="list-style-type: none"> ・テノール・ジプシーヴァイオリン・ピアノによる独唱及び演奏 ・入場料 1,000円(前売券) ・チケット販売236枚(前売券完売) ・チケット売上額236,000円 ・支援金募金箱 7,108円 ・被災地復興支援商品売上 80,650円 ※収益の一部(190,000円)を被災地(石巻市・宮古市)へ寄附(95,000円×2箇所) 	※企画運営：財源確保検討専門委員会 ※関戸公民館との共催

⑮ 施設ボランティア受け入れ担当者情報交換会

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
H28. 3. 22	施設 12人	関戸公民館 8階 大会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・講義 「施設におけるボランティアの受け入れポイント」 ・質疑応答、 ・ワークショップおよび情報交換 「効果的なボランティア募集の方法を考えよう！」 	東京ボランティア・市民活動センター

⑯ たまボランティアギフト

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
①H27. 7. 12 ②H27. 7. 21～ 8. 31 ③H27. 9. 12 ④H27. 11. 1 ⑤H28. 1. 23	2社 延べ34人	①④味の素スタジアム ②市内福祉施設、ボランティア団体 ③東日本大震災	①④ヴェルディホーム車いす介助 ②夏のボランティア体験 ③からきだ菖蒲館 ⑤第6回ボランティアまつりにおける社員のボランティア活動	東京海上日動システムズ(株) 多摩信用金庫

		災県外避難者交流事業 ⑤関戸公民館 7階・8階 さくら広場 多摩ボランティア・市民活動支援センター	・マッチングギフト額 91,200円 (1社12人分)	
--	--	---	-----------------------------------	--

(4) 地域出張相談事業

実施日	来所者	場所	内容	協力団体等
H27. 4. 3～ 7. 9 全12日	延べ 37人	市内コミュニティセンター12箇所、永山分室	平成27年度ボランティア保険加入受付、夏のボランティア体験申込受付、ボランティア・市民活動の情報提供、相談等	市内コミュニティセンター運営協議会、ボランティア相談員延べ11人
H28. 3. 23～ 3. 29 全4日 ※4. 25 まで実施(全8日予定)	延べ 29人	市内コミュニティセンター4箇所、永山公民館	平成28年度ボランティア保険加入受付、にゃんともTAMARボランティアポイント登録受付。ボランティア・市民活動の情報提供、相談等	市内コミュニティセンター運営協議会、ボランティア相談員延べ8人
毎月 第1・3月曜日 全20日	延べ 17人	多摩ボランティア・市民活動支援センター総合福祉センター分室	ボランティア・市民活動の情報提供、相談対応、ボランティア保険受付、夏のボランティア体験申込受付等	ボランティア相談員延べ17人

(5) 協力事業

	団体	実施日	実施・協力内容	協力団体等
1	多摩ボランティア・市民活動支援センター パソコン研修室利用登録団体(4団体)	H27. 4. 1～ H28. 3. 31	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコン教室の開催(全385回) ・パソコン研修室の貸出、広報 	
2	東京ヴェルディ1969フットボールクラブ(株)	H27. 4. 1～ 11. 14	<ul style="list-style-type: none"> ・東京ヴェルディホームゲームでの車イス来場者の付添、会場案内等(参加者申込受付、広報) 	
3	南多摩日本語の会	H27. 4. 4～ 5. 30 (全8回)	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア日本語講師養成講座・初級コース(参加者申込受付、打ち合わせコーナーの貸出) 	
4	第34回せいせき桜まつり実行委員会	H27. 4. 5	<ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災復興支援フェア出店 	石巻元気復興センター、多摩市災害復興支援ボランティアの会

5	NPO法人 シニアサポート多摩	H27. 5. 9	・「おひとり様・おふたり様の安心終活講座」(午前・午後開催)(参加者申込受付、広報)	
6	多摩市災害復興支援 ボランティアの会	H27. 5. 15～ 5. 17	・石巻市災害復興ボランティア活動支援(参加者申込受付、備品貸出等)	石巻市小網倉 16 行政区
7	南多摩日本語の会	H27. 6. 4～ 7. 25 (全 8 回)	・ボランティア日本語講師養成講座・中級コース(参加者申込受付、打ち合わせコーナーの貸出)	
8	多摩市手話サークル 「クローバー」	H27. 7. 28～ 7. 30 (全 3 回)	・夏休み手話教室(参加者申込受付、永山分室会議室の貸出、広報)	
9	NPO法人 医療ネットワーク支援センター	H27. 9. 12	・県外避難者交流イベントのボランティア調整等	唐木田コミュニティセンター
10	NPO法人 シニアサポート多摩	H27. 9. 18、19	・「おひとり様・おふたり様の安心終活講座」(各日とも同内容)(参加者申込受付、広報)	
11	にじいろの会	H27. 10. 16	「介護予防の勉強会パートⅢ」(広報、参加者申込受付、講演者協力)	多摩市、稲城市社会福祉協議会

(6) 地域出前事業

	学校・団体	実施日	実施・協力内容	協力団体等
1	東京医療学院大学	H27. 4. 6	講師派遣 ①ボランティア・市民活動についての話 ②多摩ボランティア・市民活動支援センターの取り組みについて	
2	三菱東京 UFJ 銀行	H27. 5. 29	講師派遣 ・新任研修での社員のボランティア活動報告に対する講評とアドバイス	
3	永山高校	H27. 6. 10	①ボランティア・市民活動についての話 ②夏のボランティア体験 2015 の説明	
4	青陵中学校	H27. 7. 1	①ボランティア・市民活動についての話 ②夏のボランティア体験 2015 の説明	
5	多摩市老人クラブ連 合会	H27. 9. 8	車いす講習会	男性ボランティア会議

6	永山小学校	①H27. 9. 17 ②H27. 10. 16 ③H27. 11. 27	①視覚障がい者理解、盲導犬の話 ②点字体験、点字練習器貸出 ③聴覚障がい者理解、手話体験	①視覚障がい当事者 ②多摩市点字サークル「トータス」、パソコン点訳サークルこがめ ③多摩市聴覚障害者協会、NPO 法人多摩市聴覚障がい者情報活動センター、多摩市手話サークル「クローバー」
7	南鶴牧小 おやじの会	H27. 9. 26	「エコスポ祭り」内での子ども向け車イス利用体験、高齢者擬似体験、視覚障がい者体験	男性ボランティア会議
8	南鶴牧小学校	H27. 9. 28	視覚障がい者理解、日常生活の話	視覚障がい当事者
9	多摩中学校	H27. 10. 2	障がいのある方(車いす利用者) への理解についての話	車いす利用者当事者
10	多摩第二小学校	H27. 10. 6	聴覚障がい者理解、手話体験	多摩市聴覚障害者協会、NPO 法人多摩市聴覚障がい者情報活動センター、多摩市手話サークル「クローバー」
11	東京海上日動システムズ㈱	H27. 10. 29	社員向け高齢者理解講座 ・高齢者についてのお話 ・高齢者疑似体験	
12	多摩市立子育て総合センター たまっこ	H27. 11. 27	講師派遣 「平成 27 年度 子育て・子育て支援者養成講座」での市民活動の紹介と役割について	
13	大松台小学校	① H27. 11. 26 ② H27. 12. 7	① 視覚障がい者理解、日常生活の話 ② 点字体験、点字練習器貸出	① 視覚障がい当事者 ② パソコン点訳サークルこがめ
14	北諏訪小学校	H28. 1. 29	聴覚障がい者理解、手話体験	多摩市手話サークル「クローバー」

(7) ボランティア活動等振興助成金交付事業

① 平成 27 年度実績

団体名	事業内容	助成金額 (単位：円)
筋力向上体操サポーターズクラブ	足裏測定健康教室	30,000

南多摩日本語の会	外国人に対する日本語講師ボランティアについての講演会	23,642
TAMA 人形げきまつり実行委員会	「世界の人形劇フェスティバル」講演会	30,000
南京玉すだれ多摩お江戸隊	南京玉すだれの演技を通してのボランティア活動を継続・推進するための支援	50,000
傾聴ボランティア「福寿草」	傾聴入門講座	30,000
うたごえランド実行委員会	「うたごえランド」の開催	30,000
多摩市手話サークル「クローバー」	手話や聴覚障害に関する講演会	30,000
[おもちゃ病院] kebo	おもちゃ・家庭用小物の修理に携わる者の養成・研修	20,000
ヴィータ男の会	相撲部屋の親方衆・力士を講師に、ちゃんこ鍋の調理法を学ぶ会	30,000
多摩市災害復興支援ボランティアの会	東日本大震災で被災した宮城県石巻市小網倉浜での漁業支援活動	100,000
珠いきいきライフの会	「音楽と共に豊かな人生を」の開催	30,000
多摩市要約筆記サークル	聞えにくい人のためのサポート方法を知ろう！要約筆記付きミニ手話入門講座	30,000
NPO 法人アピュイ	学習障害や生活上の課題を抱える小中学生に対し、学習支援・居場所づくり	98,000
多摩市音訳グループ繭	会員のボランティア活動の質向上のための講習会	20,000
にじいろの会	介護予防の勉強会パートⅢ	23,000
つるし飾り雛の会	被災地へ慰問し、つるし雛の制作を通じ、現地の方と多摩市民との交流を深める。	27,000
風船隊バルバル	会員確保と会員のスキルアップを目指した講座	50,000
合計（17団体）		651,642

② 過去5年間の状況

	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
登録団体数	37	57	67	64	69
助成団体数	20	14	11	12	17
助成総額(円)	750,873	483,310	500,000	417,500	651,642

(8) 関係機関との連携

会議名	実施回数	備考
市民活動ネットワーク連絡会	月1回	構成：多摩市（市民活動支援課、関戸・永山公民館、文化スポーツ課）、多摩NPOセンター、多摩ボランティア・市民活動支援センター
ヴィータ係長会議	月1回	構成：多摩市（関戸公民館、市民活動支援課、TAMA女性センター、聖蹟桜ヶ丘駅前出張所）、多摩市社協（多摩ボランティア・市民活動支援センター、まちづくり推進係）

多摩NPOセンター運営会議	月 1 回	オブザーバー参加
多摩ボランティア・市民活動支援センター登録団体等連絡会	月 1 回	構成：25 団体、個人 1 人
市区町村ボランティア・市民活動センター長会議	年 4 回	
市区町村ボランティア・市民活動推進事務局連絡会	年 4 回	
市区町村災害ボランティア担当者会議	年 3 回	
市区町村社協南多摩ブロック職員の会ボランティア担当者会議	年 3 回	構成：八王子市、町田市、日野市、稲城市、多摩市の 5 市社協 ※東京ボランティア・市民活動支援センターがオブザーバー参加 ※会議の他、メーリングリストを作成し、情報交換を行っている。

(9) ボランティア基金・寄附金状況

① ボランティア基金（平成28年3月末現在高 8, 848, 619円）

単位：円

	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度
寄附金額	147,169	168,734	50,000	68,810	61,000

② 指定寄附金（ボランティア・市民活動推進）

単位：円

	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度
寄附金額	-	150,000	466,794	365,377	595,245

※ 商品券による寄附 100,000 円を含む

※ 平成 25 年度の寄附金のうち、30,000 円は「たまボランティアギフト」による寄附金

※ 平成 26 年度の寄附金のうち、26,000 円は「たまボランティアギフト」による寄附金

※ 平成 27 年度の寄附金のうち、91,200 円は「たまボランティアギフト」による寄附金

(10) 多摩ボランティア・市民活動支援センターボランティア登録者状況

	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度
個人登録者数	607 人	219 人	153 人	304 人	475 人※1
団体加盟者数	908 人	1,904 人	3,220 人	2,764 人	3,023 人※2
V保険登録者数	3,780 人	3,352 人	3,485 人	2,787 人	3,002 人
登録団体数	37 団体	57 団体	67 団体	64 団体	69 団体

※1 個人登録者人のうち、186 人は介護予防ボランティアポイント登録者。

※2 延べ人数。複数の団体に所属して活動しているボランティアがいるため。

(11) 多摩ボランティア・市民活動支援センター（ヴィータ）利用登録者状況

	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度
個人利用登録者数	-	298 人	562 人	732 人	890 人
来館者数	-	6,237 人	15,571 人	18,152 人	12,800 人

※平成 24 年 11 月 1 日より個人利用登録受付開始

(12) ボランティア相談状況

	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
ボランティア希望	120	124	143	153	159
ボランティア要請	111	76	105	111	96
*マッチング(紹介)	96	56	89	66	75
情報提供	90	90	86	77	63
協力依頼	53	69	59	38	34
その他	—	—	—	1	4
計	374	359	393	380	356

※ボランティア希望の数字には介護予防ボランティア登録者の数は含まない。

※マッチング(紹介)は、ボランティア要請に対しての紹介数のため、合計数に含まず。

(13) 活動室・会議室利用状況及び機材貸出状況

① 活動室利用状況

ヴィータ(本センター) 打ち合わせコーナー 定員30人

総合福祉センター ボランティア活動室 定員15人

永山分室 ボランティア活動室 定員20人 会議室 定員50人

()内は前年度

利用月	ヴィータ(本センター)		総合福祉センター分室		永山分室	
	延団体数	利用人数	延団体数	利用人数	延団体数	利用人数
H 27. 4	46 (50)	320 (369)	18 (16)	171 (154)	57 (56)	986 (833)
H 27. 5	33 (39)	219 (305)	17 (12)	113 (103)	48 (54)	879 (1,027)
H 27. 6	45 (52)	247 (338)	16 (20)	118 (146)	53 (61)	959 (967)
H 27. 7	40 (48)	282 (414)	13 (10)	104 (95)	60 (60)	532 (897)
H 27. 8	36 (34)	219 (229)	20 (12)	147 (85)	32 (33)	368 (405)
H 27. 9	31 (42)	212 (253)	17 (12)	133 (109)	58 (53)	969 (966)
H 27.10	32 (51)	292 (312)	18 (16)	142 (150)	58 (61)	973 (762)
H 27.11	45 (55)	285 (300)	12 (14)	93 (134)	76 (64)	959 (1,000)
H 27.12	37 (47)	262 (301)	19 (15)	148 (137)	43 (46)	793 (762)
H 28. 1	26 (41)	174 (248)	15 (14)	144 (119)	38 (45)	561 (678)
H 28. 2	47 (55)	426 (273)	16 (20)	156 (156)	64 (64)	870 (966)
H 28. 3	45 (46)	237 (283)	17 (21)	151 (172)	79 (67)	857 (966)
合計	463 (560)	3,175 (3,625)	198 (182)	1,620 (1,560)	666 (664)	9,932 (10,024)

② 機材貸し出し状況

印刷機、コピー機(白黒・カラー)、拡大コピー機、メールボックス、ロッカー、車いす、高齢者疑似体験セット、視覚障がい体験セット、アイマスク、白杖、点字練習器、図書等、ボランティア・市民活動に必要な機材・用具の貸出を行った。(一部有料)

貸出機材	貸出件数合計 ()内は前年度
ロッカー	33 (33)
メールボックス	15 (15)
多目的ボックス	38 (39)
車いす	25 (26)
高齢者疑似体験セット	20 (16)
視覚障がい体験セット	8 (1)
アイマスク	9 (8)
点字練習器	4 (5)
女性センターライブラリー図書	50 (56)

(14) 多摩ボランティア・市民活動支援センター広報状況

① 「ボランティア通信」発行状況（月1回発行）

発行部数(月別)	総発行部数	設置・送付箇所数	主な設置・送付場所
2,400部	28,800部	292箇所	市内公共施設（コミュニティセンター含む）、市内郵便局、駅構内、市内企業・店舗（福祉協力店含む）、学校等

② 多摩ボランティア・市民活動支援センター専用ホームページ開設状況

（ ）内は前年度の数

ア) 平成27年度実績

月	訪問者数	一日平均アクセス数
H27. 4	3,146(1,542)	105(52)
H27. 5	2,063(1,381)	67(45)
H27. 6	2,515(2,226)	84(75)
H27. 7	2,377(2,034)	77(66)
H27. 8	1,590(1,440)	51(47)
H27. 9	1,638(1,181)	55(40)
H27. 10	1,332(1,329)	43(44)
H27. 11	1,209(988)	28(33)
H27. 12	1,127(934)	37(30)
H28. 1	1,387(1,283)	45(41)
H28. 2	1,159(1,339)	40(48)
H28. 3	1,211(2,975)	39(96)
合計	20,754(18,652)	56(51)

イ) 過去5年間の状況

	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
訪問件数	-	11,713	15,969	18,652	20,754
一日平均アクセス件数	-	32	44	51	56

③ 多摩ボランティア・市民活動支援センターメールマガジン配信状況

ア 配信日：第1木曜日。その他、不定期に配信。

イ 登録件数：611人（平成28年3月末日現在）

ウ 配信回数：14回

エ 過去5年間の状況

	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
登録件数	-	402	615	648	611

※メールマガジン配信サービスは、平成24年11月より実施

9 介護予防ボランティアポイント事業（多摩市受託事業）

(1) 概要

目的	多摩市介護予防ボランティアポイント事業実施要綱に基づき、介護保険法（平成9年法律第123号）第115条の45第1項第1号に規定する介護予防事業として、高齢者のボランティア活動実績を「ポイント」として評価することにより、介護予防を促進し、もって元気な高齢者が地域に貢献できるような取り組みを推進することを目的とする。
事業開始	平成26年7月7日（受託事業開始）
事業概要	<p>(1) 事業内容</p> <p>①制度根拠：介護保険法第115条の45第1項第1号、地域支援事業実施要綱、多摩市介護予防ボランティアポイント事業実施要綱</p> <p>②介護予防ボランティア：多摩市在住の介護保険第1号被保険者（あらかじめ管理機関へ登録が必要）</p> <p>③介護予防ボランティア活動（多摩市長が指定する介護予防ボランティア事業及び活動）</p> <p>ア) 事業 ●介護保険対象施設 ●多摩市が実施する地域支援事業（介護予防事業）</p> <p>イ) 活動 ●レクリエーション等の指導、参加支援 ●お茶だしや食堂内の配膳・下膳などの補助 ●散歩、外出、館内移動の補助 ●模擬店、会場設営、利用者の移動補助、芸能披露などの行事の手伝い ●話し相手 ●その他施設職員と共に行う軽微かつ補助的な活動（例—草刈、洗濯物の整理、シーツ交換など） ●その他</p> <p>④活動実績の把握：介護予防ボランティアが持参する介護予防ボランティア手帳に活動確認スタンプを押印。</p> <p>⑤評価ポイントの付与：介護予防ボランティア手帳に押印されたスタンプの数に応じて最大5,000ポイントの評価ポイントを付与。</p> <p>⑥評価ポイント転換交付金：介護予防ボランティア手帳を添えて、評価ポイント活用を申し出る。交付額は、年間最大で5,000円。</p> <p>⑦その他：介護保険料の未納又は滞納の場合、適用しない。</p> <p>(2) 業務内容</p> <p>①介護予防ボランティア登録対象者向け説明会・研修会及び受入機関向け説明会の実施</p> <p>②受入機関の登録に関する事務</p> <p>③介護予防ボランティアの登録及び介護予防ボランティア手帳の交付に関する事務</p> <p>④介護予防ボランティア活動評価ポイントの付与及び管理に関する事務</p> <p>⑤介護予防ボランティアポイント交付金交付申請に関する事務</p> <p>⑥介護予防ボランティアポイント登録者に対する受入機関及び活動内容等の紹介に関する事務</p>

(2) 契約状況等

単位：円

	平成27年度
契約年月日	平成27年4月1日
契約金額	1,906,000円

(3) 収支の状況

① 収入の状況

単位：円

	平成27年度		
区分	予算現額	収入済額	執行率(%)
合計	1,906,000	1,573,599	82.6

② 支出の状況

単位：円

	平成27年度		
区分	予算現額	支出済額	執行率(%)
合計	1,906,000	1,573,599	82.6

(4) 事業実施状況

① ボランティア登録者数

	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
登録者数	—	—	—	91人	187人

② 登録施設数

	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
登録施設数	—	—	—	45	46

※多摩市高齢支援課を施設数に含む

③ 登録者向け説明会

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
H27.8.13	14人	関戸公民館第2学習室	・にゃんともTAMAるボランティアポイントについて ・登録手続きについて	
H28.3.17	22人	関戸公民館第1学習室	・にゃんともTAMAるボランティアポイントについて ・登録手続きについて	

④ 研修会

実施日	参加者	場所	内容	協力団体等
H27.8.13	19人	関戸公民館第2学習室	高齢者施設におけるボランティア活動について	聖の郷
H28.3.17	29人	関戸公民館第1学習室	高齢者施設がボランティアに期待することと心構え	あい介護老人保健施設

⑤ 施設向け説明会

実施日	参加者	場所	内容	備考
H28. 1. 28	0 施設 0 人	関戸公民館第2学習室	<ul style="list-style-type: none">・にゃんともTAMAるボラティアポイントについて・登録手続きについて	後日個別に相談を行い 1 施設登録

10 福祉サービス利用援助事業

(1)概要

目的	認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等に対し、本人との契約に基づき、福祉サービスの利用援助等を行うことにより、安心して自立した生活が送れるようにする。
対象者	1 認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者 2 支援が必要な高齢者、身体障がい者
内容	①福祉サービス利用援助(情報提供、手続き援助、利用料の支払い等) ②日常的金銭管理サービス(年金や手当の受領手続き、日常生活上の支払い手続き、払い戻し等) ③書類等の預かりサービス(年金証書、預貯金通帳、権利証、実印等) ④成年後見制度に関する相談及び利用支援

(2)地域福祉権利擁護事業(東京都社会福祉協議会受託事業)

	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
相談件数	2,988	3,359	3,754	4,325	4,620
契約件数	13	17	17	21	24
解約件数	13	11	7	7	18
年度末契約件数	41	47	57	71	77

収支状況(人件費を除く)

収入の状況

単位:円

区分	平成27年度			平成26年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合計	2,663,000	2,579,125	96.9	2,543,000	2,585,213	101.6

支出の状況

区分	平成27年度			平成26年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合計	2,663,000	2,190,438	82.3	2,525,000	2,288,274	90.6

(3)東京都福祉サービス総合支援事業(多摩市補助事業)

	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
相談件数	794	875	1,028	992	1,088
契約件数	9	6	9	3	4
解約件数	2	4	3	5	7
年度末契約件数	18	20	26	24	21

福祉サービス利用援助事業 平成27年度末契約総数 98件 (77件+21件)

収支状況(人件費を除く)

収入の状況

単位:円

区分	平成27年度			平成26年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合計	1,890,000	1,862,532	98.5	1,305,000	1,353,800	103.7

支出の状況

区分	平成27年度			平成26年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合計	1,890,000	1,211,584	64.1	1,304,000	1,048,442	80.4

(4) 成年後見制度利用支援業務

	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
相談件数	233	220	224	397	224
申立支援件数	9	8	4	4	5

※平成21年10月1日より業務開始

※申立支援件数は、(2)および(3)の契約者に対して申立支援を行った件数。

収支状況(人件費を除く)

収入の状況

単位:円

区分	平成27年度			平成26年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合計	908,000	908,000	100.0	821,000	821,000	100.0

支出の状況

区分	平成27年度			平成26年度		
	予算現額	執行済額	執行率(%)	予算現額	執行済額	執行率(%)
合計	908,000	772,362	85.1	821,000	708,584	86.3

(5)実施事業

広報・説明会	<p>1 社協および市広報紙、ホームページの掲載。独自パンフレットの配布。</p> <p>2 社協職員による成年後見制度及び福祉サービス利用援助事業説明会の実施。</p> <p>① 市民向け事業説明会 平成27年 7月22日(月) 12人 平成28年 2月 1日(月) 4人 平成28年 3月 4日(金) 36人</p> <p>② 事業所向け事業説明会 平成27年10月14日(水) 8人 平成28年 1月20日(水) 62人</p>
ふくし法律 相談	<p>実施日:毎月、第3木曜日 午後1時30分～3時30分</p> <p>場 所:総合福祉センター内</p> <p>弁護士:第二東京弁護士会所属 弁護士 増田径子氏</p> <p>対象者:高齢者、障がい者及びその家族等</p> <p>件 数:21件</p> <p>相続について(7件)</p> <p>財産管理について(6件)</p> <p>成年後見制度について(4件)</p> <p>福祉サービスの利用について(1件)</p> <p>離婚について(2件)</p> <p>その他(1件)</p>
講演会	<p>事業名:「司法書士による任意後見制度と遺言について」(2回シリーズ)</p> <p>日 時:①平成27年6月10日(水)、②平成27年6月11日(木)いずれも午前10時～12時</p> <p>場 所:関戸公民館 大会議室</p> <p>講 師:司法書士 相田浩和氏</p> <p>目 的:市民を対象に任意後見制度と遺言についての普及啓発を行う。 講演会を通じて権利擁護業務に必要な司法書士との連携の充実を図る。</p> <p>内 容:司法書士より任意後見と遺言の制度概要や活用方法について連続して講演を行った。</p> <p>参加者:延べ48名</p> <p>事業名:「市民のための成年後見講座」</p> <p>日 時:平成27年7月4日(土) 午前10時～12時</p> <p>場 所:消費生活センター 講座室</p> <p>講 師:弁護士 藤野大介氏</p> <p>目 的:市民を対象に成年後見制度の普及啓発を行う。</p> <p>内 容:成年後見制度の活用(基礎編)について講演を行った。</p> <p>参加者:24名</p> <p>事業名:「親族後見人懇談会」 (後見人・保佐人・補助人支援会議)</p> <p>日 時:平成27年7月4日(土) 午後2時～4時</p> <p>場 所:消費生活センター 講座室</p> <p>講 師:社会福祉士 長田さかゑ氏</p>

目的：後見業務における疑問等の解決を図り、合わせて後見人・保佐人・補助人及び受任予定の市民の交流を促進することで、後見人等の支援を行う。

内容：親族後見人を対象として日々の後見活動における悩みや成果などを話し合い、権利擁護センター運営委員会委員のアドバイスを受け、今後の後見活動に活かすため情報交換会を行った。

参加者：8名

事業名：「障がいのある方とその家族のための成年後見の集い」

日時：平成27年7月17日（金）午前10時30分～12時30分

場所：消費生活センター 講座室

講師：精神保健福祉士 長谷川千種氏

目的：「障がいのある方」と「その家族」を対象に、成年後見制度の普及を図るとともに、制度に関する疑問等に対応することで利用を促進する。

内容：精神障がい者の成年後見活用について講演を行った。

参加者：15名

事業名：「司法書士による市民のための成年後見相談会」

日時：平成27年7月17日（金）午後1時30分～4時40分

場所：消費生活センター 講座室

相談員：（公社）成年後見センターリーガルサポート東京支部所属 司法書士3名
中村伸介氏、他2名

目的：市民を対象に成年後見制度の普及啓発を図る。

内容：司法書士による成年後見制度に関する相談会を行った。

相談者数：6名

事業名：「失敗しない有料老人ホームの選び方と成年後見制度」

日時：平成27年10月3日（土）午前10時～12時

場所：ベルブ永山3階 講座室

講師：公益社団法人全国有料老人ホーム協会相談員 渡辺敬章氏

目的：高齢者・障がい者の消費生活トラブルを防ぐための注意点、トラブルの対応方法や権利擁護事業を用いた再発防止策について講演会を行う。

内容：市民を対象に失敗しない有料老人ホームの選び方と成年後見制度について講演を行った。

参加者：34人

事業名：「遺言講座 おしえて遺言のこと」（2回シリーズ）

日時：①平成27年10月7日（水）、②10月8日（木）いずれも午前10時～12時

場所：関戸公民館 大会議室

講師：多摩公証役場公証人 長久保守夫氏

目的：市民を対象に遺言についての普及啓発を行う。

講演会を通じて権利擁護業務に必要な公証人との連携の充実を図る。

内容：多摩公証役場の公証人より遺言の制度概要や、書き方・活用方法について連続して講演を行った。

参加者：延べ58人

	<p>事業名:「後見人・保佐人・補助人支援会議」 日 時:平成27年11月13日(金)午後7時～9時 場 所:ベルブ永山3階 講座室 講 師:弁護士 大森頤氏 目 的:後見業務における疑問等の解決を図り、合わせて後見人・保佐人・補助人及び受任 予定の市民の交流を促進することで、後見人等の支援を行う。 内 容:後見活動におけるトラブルケースの対応についての講演と情報交換会を行った。 参加者:8人</p> <p>事業名:「障がいのある方とその家族のための成年後見の集い」 日 時:平成28年1月15日(金)午前10時30分～12時30分 場 所:ベルブ永山3階 講座室 講 師:社会福祉士 熊倉千雅氏 目 的:「障がいのある方」と「その家族」を対象に、成年後見制度の普及を図るとともに、制 度に関する疑問等に対応することで利用を促進する。 内 容:知的障がい者の成年後見活用について講演を行った。 参加者:12人</p> <p>事業名:「市民のための成年後見講座」 日 時:平成28年2月6日(土)午前10時～12時 場 所:消費生活センター 講座室 講 師:弁護士 藤野大介氏 目 的:市民を対象に成年後見制度の普及啓発を行う。 内 容:成年後見制度の活用(応用編)について講演を行った。 参加者:10名</p> <p>事業名:「後見人・保佐人・補助人支援会議」 日 時:平成28年2月6日(土)午後2時～4時 場 所:ベルブ永山3階 講座室 講 師:司法書士 森山 哲也氏 目 的:後見業務における疑問等の解決を図り、合わせて後見人・保佐人・補助人及び受任 予定の市民の交流を促進することで、後見人等の支援を行う。 内 容:親族後見人のための後見活動のポイントについての講演と情報交換会を行った。 参加者:5人</p>
<p>専門研修会</p>	<p>事業名:生活支援員研修会 「生活支援員活動におけるヒヤリハット、リスクヘッジについて」 日 時:平成27年6月29日(月) 午後2時～3時 場 所:総合福祉センター7階 研修室 説明者:権利擁護センター 職員 目 的:高齢者世帯の見守りについて学び、生活支援員、職員の知識の向上を図り、以 て福祉サービス利用援助事業の質を向上させる。 内 容:KJ法を用いた生活支援員活動におけるヒヤリハットの検証および、 再発防止・事故防止についての意見交換。</p>

	<p>対象者：生活支援員・職員 参加者：生活支援員21名、職員6名 計27名</p> <p>事業名：生活支援員研修会 「支援を通じて困ったこと分からないこと及び活動指示書の理解について」</p> <p>日 時：平成28年1月25日(月)午後1時30分～3時30分 場 所：総合福祉センター7階 研修室 説明者：権利擁護センター 職員</p> <p>目 的：高齢者世帯の見守りについて学び、生活支援員、職員の知識の向上を図り、以て福祉サービス利用援助事業の質を向上させる。</p> <p>内 容：グループディスカッションにより、支援活動中の困りごと等を話し合い、リスクマネジメントも含めながら対応策等の意見交換・情報交換を行う。</p> <p>対象者：生活支援員・職員 参加者：生活支援員21人、職員5人 計26人</p>
<p>他社協との 連携</p>	<p>地域福祉権利擁護事業・成年後見制度担当者会議</p> <p>① 平成27年7月21日(水) 開催場所：八王子社協</p> <p>② 平成27年12月8日(火) 開催場所：多摩社協</p>

11 資金貸付事業

(1) 生活福祉資金（東京都社会福祉協議会受託事業）

単位：円

資金種別	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
相談総件数	1,558件	1,172件	1,046件	952件	1,446件
資金種別ごとの貸付内容	①福祉資金 (6件)	2,147,000 (3件)	1,725,480 (3件)	3,748,360 (8件)	305,480 (4件)
	②緊急小口資金 (10件)	400,000 (5件)	500,000 (5件)	200,000 (2件)	530,000 (7件)
	③教育支援資金 (20件) ※辞退 886,000	11,840,000 (6件)	10,844,000 (13件) ※辞退 3,320,000	8,850,000 (8件) ※辞退 1,365,000	26,470,000 (23件) ※辞退 5,660,000
	④総合支援資金 (11件) ※辞退 512,000	2,302,000 (4件)	976,000 (3件) ※辞退 67,000	-	-
	⑤要保護世帯向け 不動産担保型生活 福祉資金 (1件)	-	-	-	-
	合計	41,492,000 (48件)	16,689,000 (18件)	14,045,480 (24件)	12,798,360 (18件)

(2)小口資金（多摩市社会福祉協議会独自事業）

不慮の出来事で、その出費に急を要するものに2万円を限度に資金を貸し付ける。

単位：円

	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
相談件数	426件	566件	533件	579件	869件
貸付金額	457,000 (27件)	582,000 (32件)	454,000 (24件)	486,000 (26件)	644,000 (36件)
償還状況	当年度貸付分償還金 (46件)	438,000 (70件)	309,000 (47件)	292,000 (48件)	339,000 (55件)
	過年度貸付分償還金 (51件)	406,000 (74件)	401,000 (71件)	279,000 (51件)	506,000 (97件)

(3)緊急援護事業（多摩市社会福祉協議会独自事業）

生活困窮者に対して、2,000円を限度に金品等を援助する。

単位：円

	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
支給件数	15件	15件	14件	19件	15件
支給金額	7,500	8,000	1,500	10,500	1,500

※ 業務の一部は、多摩市健康福祉部福祉総務課に依頼して実施

(4)その他（フードバンク事業）

生活困窮者に対して、食糧を配布する。

	27年度
支給件数	20件

1 2 収益事業の実施

一本杉公園、多摩東公園、資源化センター建物内、多摩市シルバー人材センター敷地内に、自動販売機を設置している。

西都ヤクルト販売(株)が管理運営を行っており、売上の一部が収益金となる。

単位：円

設置場所	コミッション額				
	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度
一本杉公園 (2 台)	447,976	479,983	507,966	589,556	694,324
多摩東公園 (1 台)	229,223	265,328	269,015	372,756	419,400
資源化センター (1 台)	191,843	181,170	155,708	260,348	238,296
福祉ショップ (4 台)	1,246,902	1,244,430	1,220,467	-	-
シルバー人材センター(1 台)	45,673	72,115	82,631	52,844	48,888
合 計	2,161,617	2,243,026	2,235,787	1,275,504	1,400,908

※ コミッション額：販売品の単価差により 1 本当たり 4 4 円～6 8 円の収益がある。

※ 平成 2 6 年度より資源化センター設置自動販売機は 2 台から 1 台に、福祉ショップ設置自動販売機は、福祉ショップ運営終了に伴い、設置も終了。

※ 平成 2 6 年度より西都ヤクルト販売(株)が全ての自動販売機の管理を担っている。(2 2 年度～2 5 年度は東京コカ・コーラボトリング(株)、ジャパンビバレッジホールディング(株)、サントリービバレッジサービス(株)、西都ヤクルト販売(株)が管理)

1 3 老人福祉センター事業（多摩市受託事業）

(1) 概要

目 的	市内在住の満60歳以上の方に、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションなどの事業を実施するとともに、高齢者団体の活動を支援し、健康で明るい生活を過ごしていただく。
事業開始	平成9年4月1日（受託事業開始）
対 象	市内在住の満60歳以上の方（H28.3.31現在、48,594人）
実施場所	多摩市総合福祉センター内
内 容	<p>① 業務日時</p> <ul style="list-style-type: none"> ●月曜日から土曜日[年末年始・日曜日・祝日・第2土曜日を除く日]の午前9時から午後5時まで <p>② 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ●趣味、教養、健康増進などの教室・講座 陶芸 英会話 折り紙 書道 ペン字 料理、絵手紙 キーボード、ちぎり絵 パソコン らくらく運動 からだのしくみと簡単体操 がんばりすぎない健康体操 歌って体操 3B体操 スポーツ吹矢 ラジオ体操 太極拳 水中運動（ハツラツ・イキイキ教室） 等 ●行事等の開催 春の発表会 囲碁の日 カラオケの日 世代間交流事業 将棋大会 囲碁対局 囲碁大会 等

(2) 契約状況等

区 分	平成27年度		平成26年度	
	内 容	備 考	内 容	備 考
契約年月日	平成27年4月1日		平成26年4月1日	
概算契約金額	37,457,000円		47,180,000円	
契約変更年月日	平成28年1月6日		平成27年1月5日	
変更契約金額	35,891,000円		37,605,000円	

(3) 収支の状況

① 収入の状況

単位：円

区 分	平成27年度				平成26年度			
	予算現額	収入済額	予算残額	執行率(%)	予算現額	収入済額	予算残額	執行率(%)
受託金収入	35,891,000	34,196,459	1,694,541	95.3	37,605,000	36,712,193	892,807	97.6
参加費収入	100,000	115,800	△15,800	115.8	127,000	122,300	4,700	96.3
利用料収入	395,000	399,100	△4,100	101.0	292,000	318,650	△26,650	109.1
受取利息配当金収入	15,000	6,071	8,929	40.5	20,000	5,950	14,050	29.8
合計	36,401,000	34,717,430	1,683,570	95.4	38,044,000	37,159,093	884,907	97.6

② 支出の状況

単位：円

区 分	平成27年度				平成26年度			
	予算現額	支出済額	予算残額	執行率(%)	予算現額	支出済額	予算残額	執行率(%)
人件費	28,834,000	27,751,428	1,082,572	96.3	30,360,000	30,027,028	332,972	98.9
事業費	4,824,000	4,513,109	310,891	93.6	4,743,000	4,422,651	213,931	93.2
事務費	889,000	618,292	270,708	69.6	1,278,000	1,064,069	213,931	83.2
退職積立金	1,839,000	1,828,530	10,470	99.4	1,643,000	1,639,395	3,605	99.7
拠点区分間繰入金	15,000	6,071	8,929	40.5	20,000	5,950	14,050	29.8
合計	36,401,000	34,717,430	1,683,570	95.4	38,044,000	37,159,093	884,907	97.6

(4) 利用状況

①平成27年度実績

単位：人

	平成27年度（平成26年度）							月別合計
	利用登録者	寿大学 (文化・教養)	寿大学 (健康推進)	その他事業	同好会活動	老人クラブ	相談業務	
4月	4,317 (4,669)	0 (0)	62 (43)	19 (17)	2,845 (2,824)	270 (223)	0 (0)	7,513 (7,776)
5月	4,025 (4,369)	288 (189)	341 (354)	15 (20)	2,329 (2,411)	173 (203)	5 (6)	7,176 (7,552)
6月	4,469 (4,389)	521 (445)	354 (296)	17 (15)	2,844 (2,603)	94 (127)	4 (6)	8,303 (7,881)
7月	4,301 (4,544)	393 (408)	344 (326)	17 (52)	2,689 (2,659)	67 (76)	5 (6)	7,816 (8,071)
8月	4,244 (4,446)	257 (377)	257 (271)	36 (59)	2,079 (2,097)	54 (53)	6 (3)	6,933 (7,306)
9月	3,806 (4,129)	421 (360)	264 (255)	14 (49)	2,379 (2,472)	136 (77)	3 (2)	7,023 (7,344)

10月	4,206 (4,335)	557 (544)	479 (409)	42 (33)	2,694 (2,490)	78 (118)	5 (7)	8,061 (7,936)
11月	3,734 (3,874)	379 (398)	274 (324)	91 (82)	2,426 (2,326)	124 (76)	6 (3)	7,034 (7,083)
12月	3,886 (3,921)	376 (369)	365 (289)	17 (19)	2,559 (2,441)	78 (87)	7 (4)	7,288 (7,130)
1月	3,840 (3,917)	324 (437)	289 (223)	65 (80)	2,275 (2,317)	191 (166)	2 (2)	6,986 (7,142)
2月	4,359 (4,141)	308 (311)	138 (206)	2,387 (2,405)	2,124 (1,887)	288 (211)	2 (4)	9,606 (9,165)
3月	4,428 (4,543)	63 (91)	109 (65)	16 (67)	2,585 (2,549)	76 (54)	5 (7)	7,282 (7,406)
事業別 合計	49,615 (51,277)	3,887 (3,929)	3,276 (3,060)	2,736 (2,928)	29,828 (29,076)	1,629 (1,471)	50 (50)	91,021 (91,791)

②過去5年間の状況

単位：人

区分	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
利用登録者	48,673	54,153	54,550	51,277	49,615
寿大学（文化・教養）	5,780	4,881	4,469	3,929	3,887
寿大学（健康推進事業）	2,768	3,348	3,016	3,060	3,276
その他事業	3,626	3,257	2,247	2,928	2,736
同好会活動	30,136	29,017	28,965	29,076	29,828
老人クラブ	1,785	1,725	1,488	1,471	1,629
相談業務	107	136	133	50	50
合計	92,875	96,517	95,018	91,791	91,021

③平成27年度事業詳細

事業	内容
寿大学	<p>(1) 文化・教養</p> <p>【通年】英会話入門、書道入門、キーボード（ピアノ）入門</p> <p>【前期】折り紙</p> <p>【前期・後期】コンパクトデジタルカメラ入門、陶芸入門 ちぎり絵</p> <p>【短期】パソコン講座、(初めてのパソコン、ワード・エクセル初級)</p> <p>【世代間交流事業】</p> <p>ふれ愛折り紙教室（参加者27人）</p> <p>【生活に役立つ講座】</p> <p>高齢難聴者の聞こえと補聴器（参加者26人）</p> <p>(2) 健康推進</p>

	<p>【前期】 らくらく運動(自彊術)、太極拳、のびのびストレッチ体操</p> <p>【前期・後期】 からだのしくみと単体操、スポーツ吹矢、 がんばりすぎない健康体操、ヨガ 広げよう!ラジオ体操の輪</p> <p>【短期】 ハツラツ・イキイキ教室 (水中運動・延べ550人が参加)</p> <p>【健康に関する講座】</p> <p>①脳トレ・メントレ・持久力 (参加者37人)</p> <p>②健身気功 (参加者23人)</p>
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・囲碁の日 (毎月第3月曜日・午後1時15分から3時30分) ・カラオケの日 (毎月第1金曜日・午前) ・おしゃべりサロン (毎月第2木曜日・午前) ・元気チェックの実施 (毎月第4水曜日・午前) ・春の発表会 (来場者数 2,387人) ・将棋大会 (参加者34人)
同好会	<p>59団体</p> <p>①健康 17団体 (ダンス、体操、卓球、太極拳など)</p> <p>②文化 40団体 (英会話、編み物、キーボード、陶芸、カラオケなど)</p>

1.4 多摩市南部地域包括支援センター事業（多摩市受託事業）

(1) 概要

目的	多摩市包括的支援事業実施要綱に基づき、介護保険法（平成9年法律第123号。以下「法」という。）第115条の45に規定する地域包括支援センター（以下「センター」という。）を設置し、地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、その保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的とする。
事業開始	平成23年4月1日（受託事業開始）
担当エリア	貝取1～5丁目、豊ヶ丘、南野地区
実施場所	担当エリア内の他、多摩市内及び市外の業務関係機関等
内容	<p>① 業務日</p> <ul style="list-style-type: none"> ●月曜日から土曜日 [日曜日・祝祭日・年末年始(12/29～1/3)を除く日] <p>② 業務時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ●午前8時30分から午後5時 [相談時間は午前9時から午後5時] <p>※上記以外の曜日、時間帯も電話による相談受付を実施。</p> <p>③ 業務内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ●総合相談・権利擁護支援 <p>高齢者に関する相談の総合相談窓口として対応し、必要に応じて訪問による実態把握や相談を行う。また、高齢者の権利擁護に関する取り組みとして、虐待防止や対応、成年後見制度や地域福祉権利擁護事業などの利用支援を行う。</p> ●包括的・継続的ケアマネジメント支援 <p>要介護高齢者に対し、包括的かつ継続的な介護保険等サービスの提供がなされるよう、主に居宅介護支援事業所のケアマネジャーに対しケアマネジメント支援を行う。</p> ●介護予防ケアマネジメント <p>特定高齢者や一般高齢者に対し、介護予防に関する普及・啓発・介護予防事業への参加調整などを行う。</p> ●地域ネットワーク構築支援 <p>地域に総合的、重層的な地域ネットワークの構築に関する支援を行う。社会福祉協議会、民生委員、自治会・住宅管理組合など、地域に存在する個々の役割を横断的に連携する取り組みを支援する。</p> ●居宅介護予防支援（介護保険事業） <p>要支援高齢者に対し、介護予防サービス計画の作成など、居宅介護予防支援サービスの提供を行う。</p> ●多摩市一般福祉サービス利用支援 <p>多摩市が実施する高齢者福祉サービスの利用支援、利用申請、サービス調整などを行う。</p>

(2) 約状況等

単位：円

	平成27年度		平成26年度	
契約年月日	平成27年4月1日		平成26年4月1日	
契約金額	26,000,000 (12回払い)		26,000,000 (12回払い)	
	1回目	2,174,000	1回目	2,174,000
	2回目以降	2,166,000	2回目以降	2,166,000

(3) 収支の状況

① 収入の状況

単位：円

	平成27年度				平成26年度			
区 分	予算現額	収入済額	予算残額	執行率 (%)	予算現額	収入済額	予算残額	執行率 (%)
受託金収入	26,000,000	26,000,000	0	100	26,000,000	26,000,000	0	100
介護保険収入	4,800,000	5,814,479	△1,014,479	121.1	4,680,000	5,574,612	△894,612	119.1
合 計	30,800,000	31,814,479	△1,014,479	103.3	30,680,000	31,574,612	△894,612	102.9

② 支出の状況

単位：円

	平成27年度				平成26年度			
区 分	予算現額	支出済額	予算残額	執行率 (%)	予算現額	支出済額	予算残額	執行率 (%)
人件費	26,801,000	24,431,894	2,369,106	91.2	26,321,000	23,200,548	3,120,452	88.1
事務費	2,060,000	1,422,147	637,853	69.0	2,229,000	1,849,483	379,517	83.0
事業費	78,000	24,318	53,682	31.2	56,000	13,219	42,781	23.6
固定資産所得支出	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0
退職積立金	1,861,000	1,790,190	70,810	96.2	2,074,000	1,764,405	309,595	85.1
合 計	30,800,000	27,668,549	3,131,451	89.8	30,680,000	26,827,655	3,852,345	87.4

(4) 事業実施状況

①総合相談・権利擁護支援

[相談件数実績]

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
年度初回	166	71	56	26	33	28	34	29	30	29	29	28	559
継続	205	293	405	376	325	316	411	364	427	496	351	293	4,262
計	371	364	461	402	358	344	445	393	457	525	380	321	4,821

[相談件数実績（過去5年間の状況）]

	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
年度初回	452	516	374	654	559
継続	2,787	2,883	3,612	3,712	4,262
合計	3,239	3,399	3,986	4,366	4,821

[相談方法実績]

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話	231	245	318	252	212	234	310	258	301	349	228	189	3,127
来所	16	23	26	16	24	15	15	18	22	11	9	13	208
訪問	111	83	94	126	93	75	105	100	115	130	96	89	1,217
その他	13	13	23	8	29	20	15	17	19	35	47	30	269
計	371	364	461	402	358	344	445	393	457	525	380	321	4,821

[相談方法実績（過去5年間の状況）]

	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
電話	1,887	2,267	2,736	2,857	3,127
来所	213	188	107	183	208
訪問	1,040	824	1,034	1,117	1,217
その他	99	120	109	209	269
合計	3,239	3,399	3,986	4,366	4,821

[相談者内訳]

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
本人	172	148	194	205	175	157	213	170	181	209	189	161	2,174
配偶者	49	46	59	76	74	42	67	46	84	79	39	51	712
子・孫・親族	63	75	69	53	49	62	76	77	90	101	81	40	836
居宅介護支援事業者	65	59	89	57	46	57	64	69	73	141	115	72	907
医療機関	7	21	36	22	17	26	34	26	36	44	25	14	308

民生委員	5	1	2	3	3	2	5	8	6	3	5	0	43
地域住民	6	5	11	6	5	11	5	7	9	6	1	3	75
行政	29	21	20	23	17	18	21	19	28	19	24	24	263
関係機関	109	105	125	98	83	75	134	112	137	129	67	67	1,241
官公庁	0	0	0	1	1	1	0	0	0	1	0	5	9
その他	1	0	4	1	2	6	8	6	0	3	6	8	45
計	506	481	609	545	472	457	627	540	652	735	552	446	6,622

〔相談者内訳（過去5年間の状況）〕

	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
本人	1,479	1,376	1,648	1,853	2,174
配偶者	528	534	620	718	712
子・孫・親族	635	591	634	749	836
介護支援事業者	731	746	823	744	907
医療機関	147	214	317	239	308
民生委員	61	73	49	53	43
地域住民	42	44	46	56	75
行政	200	349	258	307	263
関係機関	836	947	1,145	1,169	1,241
官公庁	8	14	8	16	9
その他	17	61	17	28	45
合計	4,684	4,949	5,565	5,932	6,622

〔相談内容内訳〕

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総合相談	302	301	390	317	289	290	370	318	362	391	285	248	3,863
制度・サービス説明	89	97	117	140	87	75	103	68	76	109	114	118	1,193
サービス調整	51	59	73	61	48	61	73	55	79	67	46	41	714
社会資源の紹介	36	40	38	25	32	23	38	22	22	38	48	29	391
医療連携	5	21	36	22	9	17	30	22	22	38	15	13	250
虐待予防	0	2	2	9	5	2	3	0	4	10	0	0	37

虐待ケース	6	4	2	9	6	4	2	2	19	39	4	16	113
成年後見制度	27	48	59	24	9	12	10	8	9	19	4	1	230
ケアマネ支援	14	18	24	8	1	7	8	4	3	7	4	7	105
サービス 担当者会議	17	11	18	16	8	16	22	27	20	19	14	14	202
見守り活動	3	7	13	8	11	7	8	7	11	3	3	4	85
その他	0	0	1	0	2	0	0	1	2	5	28	5	44
計	550	608	773	639	507	514	667	534	629	745	565	496	7,227

〔相談内容内訳（過去5年間の状況）〕

	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
総合相談	2,057	2,583	3,270	3,466	3,863
制度等説明	1,257	1,057	1,134	945	1,193
サービス調整	650	495	371	631	714
社会資源紹介	414	288	307	310	391
医療連携	50	82	85	221	250
虐待連携	93	115	104	43	37
虐待ケース	65	66	92	188	113
成年後見制度	67	187	134	99	230
ケアマネ支援	147	95	33	47	105
サービス担当者会議	142	189	141	216	202
見守り活動	101	123	57	72	85
その他	354	23	11	46	44
合計	5,397	5,303	5,739	6,284	7,227

②包括的・継続的ケアマネジメント支援

〔地域ケア会議〕

日 程	会 場	参加者数	内 容
4. 27 (月)	多摩市総合福祉センター 705会議室	12人 (傍聴4人)	事例報告・検討 市への提言 ケアプランの見直し
12. 10 (木)	貝取2-2集会所	11人 (傍聴3人)	事例報告・検討 市への提言 ケアプランの見直し

[わが街こんだん会]

日 程	会 場	参加者数	内 容
9. 3 (木)	貝取こぶし館ホール	50人	「認知症サポーター養成講座 ～いつまでも暮らしていける 街をめざして～」 認知症講座、脳トレ、寸劇 情報交換会
10. 1 (木)	貝取こぶし館ホール	31人	関係機関紹介、お楽しみ企画 (絵本)、事例紹介 情報交換会
12. 19 (火)	総合福祉センター 704会議室	29人	平成28年度の体制について 平成27年度事業の振り返り 懇談会

③介護予防ケアマネジメント

[介護予防教室]

日 程	会名・事業名	参加者数	内 容
6. 18 (木)	介護予防教室 (パルシステム豊ヶ丘委員会)	13人	ズンドコ体操、ラジオ体操 脳トレ
6. 19 (金)	介護予防教室 (サロン木の葉)	13人	エンディングノート 認知症について
10. 18 (日)	介護予防教室 (福祉フェスタ)	104人	福祉用具体験会
11. 10 (火)	介護予防教室 (貝取こぶし館)	19人	ラジオ体操教室
12. 8 (火)	介護予防教室 (貝取こぶし館)	21人	ラジオ体操教室
12. 17 (木)	介護予防教室 (パルシステム豊ヶ丘委員会)	24人	ズンドコ体操、ラジオ体操 脳トレ

[介護予防教室「南なん亭」]

日 程	会名・事業名	参加者数	内 容
4. 24 (金)	南なん亭	41人	「転ばない人生を送ろうじゃ ないか」 質疑応答

5. 11 (金)	南なん亭	30人	「園芸でこころも身体もリフレッシュ！」 質疑応答
6. 26 (金)	南なん亭	30人	「飲み込むチカラ！ いつまでも食事を楽しもう」 質疑応答
9. 27 (金)	南なん亭	17人	「その時、私たちにできること 災害ボランティアセンターを知ろう」 質疑応答
10. 30 (金)	南なん亭	26人	「もしもの時有料老人ホーム に入れるの？」 質疑応答
11. 27 (金)	南なん亭	18人	「終活って何？～エンディング ノート活用法～」 質疑応答
12. 18 (金)	南なん亭	148人	「☆アルビレオ☆ クリスマ スコンサート」
1. 29 (金)	南なん亭	16人	「もっと知ろう！介護食！」 質疑応答
2. 16 (火)	南なん亭	24人	「終活セミナー～エンディング ノート活用法～」 質疑応答
3. 18 (金)	南なん亭	45人	「認知症について 教えて！ 杉山先生！」 質疑応答

[おたっしや健診]

日 程	会名・事業名	参加者数	内 容
9. 18 (金)	介護予防健診 おたっしや 21 (豊ヶ丘 3-1)	28人	包括の機能・役割の説明 おたっしや健診 (問診・体力測定等)
11. 20 (金)	介護予防健診 おたっしや 21 (ボランティアグループ ヘリック)	11人	包括の機能・役割の説明 おたっしや健診 (問診・体力測定等)
3. 10 (木)	介護予防健診 おたっしや 21 (貝取こぶし館)	25人	おたっしや健診 (問診・体力測定等)

〔出張健康相談「元気チェック」〕

日 程	会名・事業名	参加者数	内 容
4. 9 (木)	貝取こぶし館 「元気チェック 2015」	29人	地域運動指導員による体操 血圧・握力測定、健康相談、 健康手帳交付
5. 14 (木)	貝取こぶし館 「元気チェック 2015」	19人	輪投げ 血圧・握力測定、健康相談、 健康手帳交付
5. 27 (水)	総合福祉センター 「元気チェック」	40人	血圧・握力測定 健康相談
6. 11 (木)	貝取こぶし館 「元気チェック 2015」	36人	地域運動指導員による体操 血圧・握力測定、健康相談、 健康手帳交付
7. 9 (木)	貝取こぶし館 「元気チェック 2015」	27人	ストラックアウト 血圧・握力測定、健康相談、 健康手帳交付
8. 13 (木)	貝取こぶし館 「元気チェック 2015」	25人	地域運動指導員による体操 血圧・握力測定、健康相談、 健康手帳交付
8. 26 (水)	総合福祉センター 「元気チェック」	43人	血圧・握力測定 健康相談
9. 10 (木)	貝取こぶし館 「元気チェック 2015」	21人	ダーツ 血圧・握力測定、健康相談、 健康手帳交付
10. 9 (木)	貝取こぶし館 「元気チェック 2015」	25人	地域運動指導員による体操 血圧・握力測定、健康相談、 健康手帳交付
11. 12 (木)	貝取こぶし館 「元気チェック 2015」	29人	童謡、歌謡曲 血圧・握力測定、健康相談、 健康手帳交付
11. 25 (水)	総合福祉センター 「元気チェック」	29人	血圧・握力測定 健康相談
12. 10 (木)	貝取こぶし館 「元気チェック 2015」	26人	地域運動指導員による体操 血圧・握力測定、健康相談、 健康手帳交付
1. 14 (木)	貝取こぶし館 「元気チェック 2015」	26人	ラダーゲッター 血圧・握力測定、健康相談、 健康手帳交付

2. 12 (金)	貝取こぶし館 「元気チェック 2015」	30人	地域運動指導員による体操 血圧・握力測定、健康相談、 健康手帳交付
3. 10 (木)	貝取こぶし館 「元気チェック 2015」	40人	おたっしゅ健診 血圧・握力測定、健康相談、 健康手帳交付

④地域ネットワーク構築支援

〔地区連絡会の開催〕

日 程	会名・事業名	参加者数	内 容
7. 15 (水)	南部包括地区連絡会	21人	平成27年度の活動内容 情報交換会

〔多摩市社会福祉協議会・地域福祉推進委員会（地域住民懇談会）への参加実績〕

日 程	会名・事業名	内 容
5. 23 (土)	ネットワーク貝取・豊ヶ丘 きずな (貝取こぶし館)	在宅医療・介護・福祉と地域での支え合い
7. 11 (土)	ネットワーク貝取・豊ヶ丘 きずな (貝取こぶし館)	地域での支え合い～多摩市の実例から～/ 高齢者の活躍の場
1. 16 (土)	ネットワーク貝取・豊ヶ丘 きずな (貝取こぶし館)	あなたならどう使う？集会所～集会所の可 能性を探る～
3. 19 (土)	ネットワーク貝取・豊ヶ丘 きずな (貝取こぶし館)	平成27年度の総括と平成28年度に向けて～ 地域づくり・担い手育成・防災から考える～

〔認知症サポーター養成講座の開催〕

日 程	会名・事業名	参加者数	内 容
6. 9 (火)	認知症サポーター養成講座 (豊ヶ丘3-3ふれあい会)	8人	認知症の基礎知識 多摩市の現状と包括の役割 質疑応答
6. 24 (水)	認知症サポーター養成講座 (豊ヶ丘福祉館)	19人	認知症の基礎知識 多摩市の現状と包括の役割 質疑応答

7. 24 (金)	認知症サポーター養成講座 (Y2多摩にじの会)	10人	認知症の基礎知識 多摩市の現状と包括の役割 質疑応答
8. 6 (木)	認知症サポーター養成講座 (多摩市社会福祉協議会)	2人	認知症の基礎知識 多摩市の現状と包括の役割 質疑応答
9. 1 (火)	認知症サポーター養成講座 (多摩市社会福祉協議会)	3人	認知症の基礎知識 多摩市の現状と包括の役割 質疑応答
9. 3 (木)	認知症サポーター養成講座 (貝取こぶし館)	50人	認知症の基礎知識 多摩市の現状と包括の役割 質疑応答

⑤居宅介護予防支援（介護保険事業）

〔介護予防給付プラン件数〕

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規プラン件数	2	7	6	3	4	2	5	4	5	4	0	5	47
(内委託件数)	1	2	0	1	2	1	1	0	2	3	0	0	13
継続プラン件数	141	140	135	138	130	134	131	130	129	128	128	129	1,593
(内委託件数)	35	35	30	31	28	32	30	27	28	40	80	97	493
計	143	147	141	141	134	136	136	134	134	132	128	134	1,640

〔介護予防給付プラン件数（過去5年間の状況）〕

	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
新規プラン件数	48	64	55	64	47
(内委託件数)	10	12	18	19	13
継続プラン件数	848	997	1,200	1,566	1,593
(内委託件数)	241	232	272	497	493
合計	896	1,061	1,255	1,630	1,640

⑥多摩市一般福祉サービス利用支援

〔多摩市主催・長寿を祝う会における「おたっしや健診」の実施協力〕

日程	会場	内容
9. 26 (土)	パルテノン多摩	おたっしや健診 (問診、体力測定等)

15 障がい者地域活動支援センター事業(多摩市受託事業)

(1)概要

目 的	市内在住の障がいを持つ方や家族等を対象とした事業の実施、情報提供、福祉サービス利用の援助を行い、障がいを持つ方の社会参加、自立への援助を図る。
事業開始	平成24年4月1日(受託事業開始)
対 象	市内在住の障害者手帳所持者(※)と家族、市内の障がい者団体 障害者手帳所持者数 6,522人 (身体4,177人 知的987人 精神1,358人) 平成28年2月末日現在
実施場所	多摩市総合福祉センター内
内 容	<p>① 業務日時</p> <ul style="list-style-type: none"> ●月曜日から土曜日まで[第2土曜日、日曜日、祝祭日、年末年始を除く]の午前8時30分から午後5時まで <p>② 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ●基礎的事業 <ul style="list-style-type: none"> ・創作活動(陶芸) ・社会との交流促進(在宅障がい者デイサービス、体操教室、パソコン教室、カラオケの日、同好会活動、在宅生活支援事業/グループ活動・言語グループ) ●機能強化事業 <ul style="list-style-type: none"> ・相談事業(指定特定相談支援事業、在宅生活支援事業/リハビリ相談、パソコン相談、聞こえと補聴器の相談会、聞こえのこと言葉のこと相談会) ・地域ボランティア育成(水中運動ボランティア養成講座) ・普及啓発(福祉機器展示コーナー、総合福祉センターだより発行、講演講座、障がい者と共にひとときの和) ・機能訓練(水中機能訓練、親子水中運動教室、水浴訓練室個人・団体貸出し・障がい者水中運動体験教室) ・入浴サービス(通所入浴・訪問入浴) ●その他 <ul style="list-style-type: none"> ・ヘルプカード等の配布、協力事業

(2) 契約状況等

単位：円

	平成27年度			平成26年度		
区分	内容			内容		
契約年月日	平成27年4月1日			平成26年4月1日		
	地域活動支援センター			地域活動支援センター		
		基礎的事業	機能強化事業		基礎的事業	機能強化事業
契約金額	84,416,000	32,268,000	52,148,000	79,164,000	32,296,000	46,868,000
契約変更日	平成28年1月7日			平成27年1月8日		
変更契約金	80,216,000	29,768,000	50,448,000	77,414,000	32,296,000	45,118,000

(3) 収支の状況

① 収入の状況

単位：円

	平成27年度				平成26年度			
区分	予算現額	収入済額	予算残額	執行率(%)	予算現額	収入済額	予算残額	執行率(%)
受託金収入	80,216,000	72,088,958	8,127,042	89.9	77,414,000	71,460,934	5,953,066	92.5
参加費収入	22,000	14,500	7,500	65.9	22,000	17,000	5,000	77.3
利用料収入	442,000	266,268	175,732	60.2	402,000	239,624	162,376	59.6
計画相談支援給付費	4,000,000	4,674,180	△674,180	116.9	2,620,000	3,388,197	△768,197	129.3
雑収入	48,000	7,680	40,320	16.0	51,000	50,500	500	29.8
合計	84,728,000	77,051,586	7,676,414	90.9	80,509,000	75,156,255	5,352,745	97.6

② 支出の状況

単位：円

	平成27年度				平成26年度			
区分	予算現額	支出済額	予算残額	執行率(%)	予算現額	支出済額	予算残額	執行率(%)
人件費	68,135,000	64,346,462	3,788,538	94.4	68,148,000	65,125,716	3,022,284	95.6
事業費	11,830,000	8,998,036	2,831,964	76.1	8,081,000	6,250,975	1,830,025	77.4
事務費	1,482,000	997,668	484,332	67.3	1,371,000	901,229	469,771	65.8
退職積立金	3,281,000	2,709,420	571,580	82.6	2,909,000	2,878,335	30,665	98.9
合計	84,728,000	77,051,586	7,676,414	90.9	80,509,000	75,156,255	5,352,745	93.3

(4) 利用登録状況

① 登録者数(※平成27年度は重複有)

	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
総人数	-	107人	116人	114人	200人
(内訳)身体	-	84人	90人	83人	143人

知的	-	14人	14人	5人	25人
精神	-	5人	10人	14人	17人
手帳無	-	4人	2人	12人	21人

③ 利用延べ人数

	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
総人数	-	9,982人	9,034人	12,598人	12,289人
(内訳)身体	-	6,508人	5,726人	6,059人	5,837人
知的	-	217人	249人	219人	782人
精神	-	661人	500人	1,167人	1,838人
手帳無	-	311人	151人	805人	995人
関係者	-	2,108人	2,388人	4,348人	2,837人

※関係者とは、家族・ボランティア・関係機関の職員等。

※平成24年度～平成27年度は、重複有。

(5) 実施状況

【基礎的事業】

① 教養講座等

講座名	実施日	参加延人数	その他
ア) パソコン教室 定員：各コース4人 全4回 場所：502会議室			
木曜コース	① H27.5.14～6.4	6人	身体、精神
	② H27.7.9～30	14人	
	③ H26.11.5～26	11人	
土曜コース	① H27.9.26～10.24	8人	身体、精神
	② H27.11.28～12.26	6人	
	④ H28.1.16～2.6	12人	
視覚障がいコース	① H27.9.3～24	11人	身体(視覚障がいのみ)
	② H27.12.3～24	8人	
	③ H28.3.3～24	16人	
イ) 体操教室 定員：15人(親子体操15組) 各コース全10回 場所：多目的フロア			
体操教室<前期>	H27.5.7～9.17	108人	身体、知的、精神
体操教室<後期>	H27.10.1～H28.2.18	120人	身体、知的、精神
親子体操教室<前期>	H27.5.2～9.19	72人	主に発達障がいなど
親子体操教室<後期>	H27.10.3～H28.3.5	60人	
ウ) 在宅生活支援事業(グループ活動) 場所：機能訓練室/やまざくら			
脳トレ・体操等	H27.5.7～H28.2.25	94人	定員：8人 全42回 ※身体・精神重複有

② 在宅障がい者デイサービス 毎週水・金曜日 定員：8人 ※（ ）は前年度

内 容		4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期
延利用者数		45(23)	45(35)	48(36)	59(37)	48(41)	46(38)	291(210)
訓練等	機能訓練等(各種体操、歩行訓練、体力測定等)	9回 延48人	8回 延44人	9回 延47人	9回 延51人	8回 延44人	8回 延46人	51回 延280人
	社会適応訓練等(外出、調理/言語訓練/個別訓練等)	14回 延32人	11回 延31人	13回 延46人	13回 延45人	13回 延44人	10回 延36人	74回 延234人
	創作活動等(書画、作業展示会作品制作等)	1回 延6人	2回 延9人	2回 延12人	1回 延8人	2回 延11人	2回 延12人	10回 延58人
	アクティビティ等(ゲーム、カラオケ、そば打ち等)	6回 延33人	2回 延11人	1回 延6人	3回 延10人	2回 延10人	1回 延5人	15回 延75人
食事サービス		45(23)	45(35)	49(31)	59(36)	46(40)	46(38)	290(203)
送迎サービス		86(44)	85(65)	94(67)	115(67)	92(73)	88(68)	560(384)
内 容		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延利用者数		59 (45)	40 (46)	36 (46)	47 (39)	42 (38)	46 (45)	561 (469)
訓練等	機能訓練等(各種体操、歩行訓練、体力測定等)	7回 延44人	7回 延30人	4回 延15人	7回 延32人	8回 延33人	5回 延20人	89回 延454人
	社会適応訓練等(外出、調理/言語訓練/個別訓練等)	9回 延46人	7回 延24人	8回 延35人	13回 延43人	13回 延41人	12回 延45人	136回 延468人
	創作活動等(書画、作業展示会作品制作等)	2回 延13人	4回 延20人	2回 延10人	4回 延11人	2回 延9人	2回 延13人	26回 延134人
	アクティビティ等(ゲーム、カラオケ、そば打ち等)	2回 延13人	1回 延5人	1回 延2人	1回 延3人	1回 延4人	1回 延3人	22回 延105人
食事サービス		50(45)	35(47)	27(46)	46(39)	37(38)	37(45)	522(463)
送迎サービス		104(85)	78(83)	35(80)	80(74)	81(71)	89(85)	1,027(862)
その他	開所日数：101日 利用人数8人 利用終了者4人(H28.3月末) 新規利用者2人(H27.4月開始) 利用者状況：手帳所持者8人(身体6人、精神3人 ※重複有) 個人面談15回 ケースカンファレンス3件							

③ その他

事業名		実施日	参加延人数
同好会	花みずき体操クラブ	毎週火曜日 全21回 ※第5週を除く	110人
	憩書道	第1・3月曜日 全9回	69人
カラオケの日		第4土曜日午前	27人

【機能強化事業】

① 相談事業

ア) 指定特定相談支援事業 (福祉サービス等利用計画作成件数)							
利用者状況：手帳所持者 71 人 (身障 18 人、精神 16 人、知的 37 人※重複有)							
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	上半期
契約件数	6	4	3	6	7	3	29
計画作成数 (新規、モニタリング)	15	22	18	23	27	24	129
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
契約件数	7	6	9	5	9	2	67
計画作成数 (新規、モニタリング)	23	29	28	30	36	29	304
イ) 一般相談 (電話、来所、訪問、その他による相談支援)							
相談者状況：本人 492 人(身体 124、知的 82、精神 249、手帳等なし 37)							
家族・関係機関等 300 人							
相談内容：総合相談、制度/サービス説明、サービス調整等							
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	上半期
相談延人数	121	63	98	94	74	59	509
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
相談延人数	59	73	43	63	64	45	856
ウ) 各種相談会等							
相談会	実施日	来所延人数	内容			協力団体等	
パソコン相談会	第 1.3 火曜日	59 人	パソコンに関する個別相談			パソコンボランティア 多摩	
聞こえと補聴器の相談会	年 3 回 6/20、10/17、2/20	47 人	言語聴覚士による ・聴力検査 ・補聴器や日常生活用具等に関する相談			NPO 法人多摩市 聴覚障がい者情報活動センター	
聞こえのこと ことばのこと相談	毎週水曜日	42 人					
在宅生活支援 リハビリ相談	毎週木曜日	56 人	作業療法士による リハビリに関する個別相談				

② 地域ボランティア育成事業

定員：6 人 全 4 回

事業名	実施日	参加延人数	内容
水中運動ボランティア養成講座	H27. 7. 1~7. 29	27 人	障がい者が安全に水中運動を行うための見守りと運動サポートの方法を学ぶ

③ 普及啓発事業

ア) 総合福祉センターだより発行状況 (月1回発行) ※老人福祉センター事業含む				
発行部数	総発行部数	設置・送付箇所	主な設置・送付箇所	
650部	7,800部	40箇所	市内公共施設(公民館、コミュニティセンター)、関係機関等	
イ) 多摩市福祉交流会「障がい者と共にひとときの和」				
実施日	開催校	参加人数	内容	参加協力団体
H27.9.15	西愛宕小学校	68人 各種体験 4-6年生 40人	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者理解に関する話(体の話、目の話、耳の話) 各種体験(車いす、手話、点字) 	<ul style="list-style-type: none"> NPO法人多摩市身体障害者福祉協会/アートひまわり 多摩市視覚障がい者福祉協会、 多摩市聴覚障害者協会 多摩市点字サークルトータス 多摩市手話サークルクローバー 男性ボランティア会議
H.27.10.19	大松台小学校	530人 各種体験 6年生 100人		
ウ) 福祉機器展示コーナー				
<ul style="list-style-type: none"> 車いす、クッション、シルバーカー、杖、靴、シャワーチェア、すべり止めマット等の展示 福祉機器等に関する情報提供 看護師によるミニ健康相談 			来所・相談延人数 305人	
エ) 講演会				
H.28.3.2 障がいのある子と家族が知っておきたい「親なきあと」 講師：渡部 伸氏 (渡部行政書士事務所代表)			参加者 90人	

④ 水浴事業

事業名	実施日	参加延人数	その他	
水中機能訓練	火・木曜日 前期 各21回 後期 各21回	476人	<ul style="list-style-type: none"> 手帳所持者 脳出血・脳梗塞後遺症、関節リウマチ、変形性股(膝)関節症、パーキンソン病等 送迎サービス有(511人) 	
障がい者水中運動体験教室	H27.11.4～ 11.25	18人	障がい者でも水中運動が行えることを知り日常的に体を動かす機会を設ける	
親子水中運動	親子コース 第1・3水曜日 前期10回・後期8回	251人	<ul style="list-style-type: none"> 主に発達障がいなど *親子コース…3歳～就学前の親子 *子供コース…年長～小学生 	
	子供コース 第2・4水曜日 前期10回・後期8回			
室水貸出 貸出 訓練	個人貸出	月・金曜日 午前/午後	1,150人	<ul style="list-style-type: none"> 手帳所持者 脳出血・脳梗塞後遺症、関節リウマチ、変形性股(膝)関節症、パーキンソン病等
	団体貸出	土曜日	216人	<ul style="list-style-type: none"> 団体登録 2団体

⑤ 入浴サービス事業

事業名	利用延人数	その他
通所入浴サービス	287 人	身体、知的 ※送迎サービス有
訪問入浴サービス	303 人	身体、知的 ※訪問入浴事業者への再委託により実施

【その他】

①ヘルプカードの配布 (配布数)

	配布場所	配布数	配布者内訳
1	多摩市役所障害福祉課	410	<ul style="list-style-type: none"> ・身障 113 (視覚/聴覚/言語/肢体/内部) ・知的 68 ・精神 87 ・難病 6 ・その他 250 特別支援学校、疾病、高齢者、その他
2	社協：総合福祉センター3階 多摩ボランティア・市民活動支援センター	105	
3	相談支援事業所等	9	
合 計		524	

②協力事業

	事業名	実施日	実施団体・内容
1	失語症会話パートナー養成連続講座	H27. 9. 9, 30 10. 14, 28	<ul style="list-style-type: none"> ・多摩市失語症友の会 こだま ・講義と実習 ・参加者 11人
2	高次脳機能障がい者支援でつながる医療と福祉 in 多摩	H27. 11. 3	<ul style="list-style-type: none"> ・南多摩高次脳機能障害者支援センター (共催) ・東京慈恵会医科大学付属第三病院リハビリテーション科教授 渡邊 修氏による講演、当事者・家族・支援者のディスカッション・交流会茶話会 ・参加者 95 人

16 同行援護事業

(1) 概要

目的	視覚障がいにより、移動に著しい困難を有する障がい者等に対し、同行援護従事者を派遣し、移動時及びそれに伴う外出先において必要な視覚的情報の支援（代読、代筆を含む）を行う。外出先において必要な移動の援護や排泄等必要な介助を行うことにより、社会参加、及び自立支援を行うことを目的とする。
対象者	多摩市より障害福祉サービス受給者証の交付を受けた者。 ※多摩市における視覚障がい者248人（平成28年2月末現在） 内契約者44人(17.7%)（平成28年3月末現在）
同行援護従事者	同行援護従業者養成研修（一般過程）を修了した者。 居宅介護の従事者要件を満たす者については特例措置あり。 ※登録者数 30人（平成28年3月末現在）

(2) 収支の状況

① 収入の状況

単位：円

区 分	平成27年度				平成26年度			
	予算現額	収入済額	予算残額	執行率(%)	予算現額	収入済額	予算残額	執行率(%)
介護給付費	13,000,000	13,630,656	△630,656	104.9	12,714,000	13,135,258	△421,258	103.3
利用料負担金	123,000	192,932	△69,932	156.9	126,000	163,054	△37,054	129.4
受取利息配当金	2,000	2,583	△583	129.2	3,000	2,160	840	72.0
合計	13,125,000	13,826,171	△701,171	105.3	12,843,000	13,300,472	△457,472	103.5

② 支出の状況

単位：円

区 分	平成27年度				平成26年度			
	予算現額	支出済額	予算残額	執行率(%)	予算現額	支出済額	予算残額	執行率(%)
人件費	3,443,000	3,061,273	381,727	88.9	3,159,000	3,117,734	41,266	98.6
事業費	9,016,000	8,598,432	417,568	95.4	8,935,000	8,470,225	464,775	94.7
事務費	666,000	419,495	246,505	63.0	749,000	423,077	325,923	56.4
合計	13,125,000	12,079,200	1,045,800	92.0	12,843,000	12,011,036	831,964	93.5

(3) 同行援護活動実績

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
契約者数	43人	47人	46人	42人	44人

(うち身体介護有)	(5人)	(4人)	(4人)	(5人)	(9人)
利用人数	1 8 4人 (月平均 30.6人)	3 7 4人 (月平均 31.6人)	3 5 8人 (月平均 29.8人)	3 5 0人 (月平均 29.1人)	3 5 3人 (月平均 29.4人)
派遣回数	1,178回 (月平均 196.3回)	2,406回 (月平均 200.6回)	2,248回 (月平均 187.3回)	2,404回 (月平均 200.3回)	2,239回 (月平均 186.6回)
派遣時間	3,299.5時間 (月平均 549.55時間)	7,005.5時間 (月平均 583.7時間)	6,930時間 (月平均 577.5時間)	7,288時間 (月平均 607.3時間)	7,234時間 (月平均 602.8時間)
活動者数	1 1 8人 (月平均 19.7人)	2 3 3人 (月平均 19.4人)	2 2 2人 (月平均 18.5人)	2 5 6人 (月平均 21.3人)	2 8 9人 (月平均 24.1人)
同行援護登録従事者	2 2人	2 5人	2 7人	2 9人	3 0人

17 意思疎通支援（手話通訳者派遣）事業（多摩市受託事業）

(1) 概要

目 的	聴覚障がい者及び言語障がい者（以下「聴覚障がい者等」という）が、他者との意思疎通を円滑にするため、手話通訳を必要とする場合に、手話通訳者を派遣すること及び手話通訳に係わる交通費を助成することにより、聴覚障がい者等の地域での自立生活及び社会参加を促すことを目的とする。
対 象 者	<p>① 多摩市地域生活支援事業要綱第3条の規定を満たし、かつ、市に居住する聴覚、音声又は言語機能障害のため身体障害者手帳を所持する者。</p> <p>② 市に事務所を有する聴覚障がい者等団体。</p> <p>③ ①に該当する者が複数参加することが見込まれている講演会その他事業の主催者</p> <p>④ その他市長が特に認めた者。</p> <p>※多摩市における聴覚障害者・平衡機能障害者手帳所持者数379人（平成28年2月末現在） 内利用登録者数104人（27.4%）</p>
利用時間の制限	手話通訳者等の派遣・・・・・・・・原則月20時間
手話通訳者	<p>①多摩市登録手話通訳者…手話通訳士又は手話通訳者全国统一試験に合格した市内在住の満20歳以上の者で、多摩市長が手話通訳者として認定した者。※登録者数36人（平成28年3月末現在）</p> <p>②東京手話通訳等派遣センター登録手話通訳者 ※専門的な内容に関わる場合で、利用者が希望する場合に派遣。</p>

(2) 契約状況等

区 分	平成27年度		平成26年度	
	内 容	備 考	内 容	備 考
契約年月日	平成27年4月1日		平成26年4月1日	
概算契約金額	9,512,000円		9,242,000円	

(3) 収支の状況

① 収入の状況

単位：円

区 分	平成 2 7 年度				平成 2 6 年度			
	予算現額	収入済額	予算残額	執行率 (%)	予算現額	収入済額	予算残額	執行率 (%)
受託金収入	9,421,000	8,269,989	1,151,011	87.8	9,242,000	8,826,509	415,491	95.5
受取利息配当金収入	1,000	478	522	47.8	1,000	432	568	43.2
合計	9,422,000	8,270,467	1,151,533	87.8	9,243,000	8,826,941	416,059	95.4

② 支出の状況

単位：円

区 分	平成 2 7 年度				平成 2 6 年度			
	予算現額	支出済額	予算残額	執行率 (%)	予算現額	支出済額	予算残額	執行率 (%)
人件費	4,000,000	3,880,335	119,665	97.0	3,990,000	3,912,701	77,299	98.0
事業費	4,803,000	3,837,687	965,313	79.9	4,759,000	4,513,090	245,910	94.8
事務費	618,000	551,967	66,033	89.3	493,000	400,718	9,282	81.2
拠点区分間繰入金	1,000	478	522	47.8	1,000	432	568	43.2
合計	9,422,000	8,270,467	1,151,533	87.8	9,243,000	8,826,941	416,059	95.4

(4) 多摩市登録手話通訳者の活動実績

	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度
利用登録者	109 人	109 人	107 人	103 人	104 人
登録手話通訳者	28 人	30 人	30 人	34 人	36 人
派遣件数 (市・都)	1,014 件	1,072 件	1,096 件	1,228 件	1,160 件
派遣時間 (市)	1,944 時間	2,022 時間	2,254 時間 45 分	2,011 時間 53 分	1,692 時間 59 分
派遣者活動人数 (市)	204 人	215 人	212 人	242 人	241 人

18 意思疎通支援（要約筆記者派遣）事業（多摩市受託事業）

(1) 概要

目 的	聴覚障がい者等が、他者との意思疎通を円滑にするため、要約筆記を必要とする場合に、要約筆記者を派遣すること及び要約筆記に係わる交通費を助成することにより、聴覚障がい者等の地域での自立生活及び社会参加を促すことを目的とする。
対 象 者	<p>① 多摩市地域生活支援事業要綱第3条の規定を満たし、かつ、市に居住する聴覚、音声又は言語機能障害のため身体障害者手帳を所持する者。</p> <p>② 市に事務所を有する聴覚障がい者等団体。</p> <p>③ ①に該当する者が複数参加することが見込まれている講演会その他事業の主催者</p> <p>④ その他市長が特に認めた者。</p> <p>※多摩市における聴覚障害者・平衡機能障害者手帳所持者数379人（平成28年2月末現在） 内利用登録者数104人（27.4%）</p>
利用時間の制限	要約筆記者の派遣・・・・・・・・原則月20時間
要約筆記者	<p>①多摩市登録要約筆記者…東京都要約筆記者養成講習会を終了または同程度の満20歳以上の者で、多摩市長が手話通訳者として認定した者。 ※登録者数23人（平成28年3月末現在）</p> <p>②東京手話通訳等派遣センター登録要約筆記者 ※専門的な内容に関わる場合で、利用者が希望する場合に派遣。</p>

(2) 契約状況等

単位：円

区 分	平成27年度		平成26年度	
	内 容	備 考	内 容	備 考
契約年月日	平成27年4月1日		平成26年4月1日	
概算契約金額	940,000		932,000	

(3) 収支の状況

① 収入の状況

単位：円

区 分	平成 2 7 年度				平成 2 6 年度			
	予算現額	収入済額	予算残額	執行率 (%)	予算現額	収入済額	予算残額	執行率 (%)
受託金収入	1,031,000	984,525	46,475	95.5	932,000	829,824	102,716	89.0

② 支出の状況

単位：円

区 分	平成 2 7 年度				平成 2 6 年度			
	予算現額	支出済額	予算残額	執行率 (%)	予算現額	支出済額	予算残額	執行率 (%)
事業費	945,000	898,697	46,303	95.1	855,000	783,754	71,246	91.6
事務費	86,000	85,828	172	99.8	77,000	46,070	30,930	59.8
合計	1,031,000	984,525	46,475	95.5	932,000	829,824	102,176	89.0

(4) 要約筆記者の活動実績

	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度
利用登録者	109 人	109 人	107 人	103 人	104 人
登録要約筆記者	15 人	16 人	18 人	23 人	23 人
派遣件数(市・都)	74 件	76 件	49 件	74 件	246 件
のべ派遣時間(市)	422 時間	471 時間	350 時間 53 分	521 時間 58 分	627 時間 52 分
のべ派遣活動人数(市)	86 人	91 人	90 人	124 人	121 人

19 共同募金関係

(1) 赤い羽根共同募金

※東京都共同募金会多摩地区協会として実施

単位：円

種別	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
街頭募金	399,211 (23 団体)	364,222 (8 団体)	223,024 (13 団体)	268,873 (12 団体)	527,612 (8 団体)
自治会・ 住宅管理組合	642,752 (50 団体)	672,320 (50 団体)	548,824 (46 団体)	548,044 (53 団体)	492,102 (37 団体)
職域募金	263,201 (13 団体)	137,196 (16 団体)	168,852 (12 団体)	171,180 (10 団体)	167,199 (14 団体)
募金箱	46,025 (16 団体)	33,406 (16 団体)	36,852 (26 団体)	47,431 (29 団体)	61,262 (31 団体)
プリペードカードによる募金	182,147	99,768	112,800	96,944 (14 団体)	118,825 (15 団体)
個人	5,005	2,500	5,000	12,074	2,479
合計	1,538,341	1,309,412	1,090,052	1,144,546	1,369,484

※()内は、協力等団体数

(2) 歳末たすけあい運動募金 (平成27年12月1日～12月31日まで)

種別	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
街頭募金	185,438 (4 団体)	127,995 (9 団体)	171,650 (9 団体)	173,555 (13 団体)	296,032 (14 団体)
自治会・住宅管理組合	1,119,703 (62 団体)	1,085,644 (86 団体)	1,157,690 (85 団体)	1,065,257 (74 団体)	1,126,404 (77 団体)
法人(団体)募金	209,402 (6 団体)	417,480 (15 団体)	339,414 (19 団体)	307,466 (14 団体)	347,375 (15 団体)
個人募金	21,275	37,957	14,062	16,368	40,129
その他の募金	99,888	27,249	25,838	42,469	39,362
預金利息	41	40	45	131	46
合計	1,635,747	1,696,365	1,708,699	1,605,246	1,849,348
見舞金(③3,000円/人を身体障がい者等に交付)	327,000	156,000	309,000 (103人)	282,000 (94人)	H27年度より廃止
都共募納付額 ※翌年配分金額	1,241,135	1,472,204	1,328,250	1,252,899	1,741,023

単位：円

※ () 内の団体数は、協力団体数。() 内の人数は、見舞金交付人数

20 その他の事業

(1) 車椅子貸出事業

①概要

目的	日常生活において一時的又は短期的に車椅子を必要とする方に車椅子を貸し出し、地域福祉の向上に寄与する。
対象	市内に住所を有する方で、下記のいずれかに該当する方又は使用者を介助する方 (1) 歩行困難な高齢者 (2) 身体障がい者 (3) 疾病、傷病等により一時的に歩行困難な者 (4) その他会長が特に必要と認めたもの
貸出期間	1回 1ヶ月以内
貸出料金	無料

②過去5年間の状況

	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
貸出件数	31	35	31	57	57

(2) 東日本大震災復興支援事業

①多摩市災害復興支援ボランティアの会活動協力

平成23年度本会が実施した、石巻市復興支援活動に参加した市民ボランティアの有志が発起人となり、平成24年4月に「多摩市災害復興支援ボランティアの会」を立ち上げた。以降、多摩ボランティア・市民活動支援センターの登録団体となり、多摩市社会福祉協議会ボランティア活動等振興助成金を交付し支援している。

②東日本大震災復興支援フェアの開催

(単位：円)

実施日	名称	実施場所	体制	売上額	支援金額
H27.5.3 ～5	ガーデンシティ多摩 センターこどもまつり2015	多摩センターパ ルテノン大通り	V 18人 役員18人 職員17人	173,070	153,104

※ 体制の「V」は、「ボランティア」

(3) その他復興支援活動

①平成 27 年台風 18 号による大雨等災害義援金活動（街頭募金）
（単位：円）

実施日	実施場所	体制	募金額
H27. 9. 14	聖蹟桜ヶ丘駅	V 5 人 職員 12 人	80, 741
H27. 9. 16	永山駅	V 3 人 職員 9 人	108, 485
H27. 9. 17	永山駅	V 7 人 職員 4 人	30, 257
H27. 9. 18	多摩センター駅	V 6 人 職員 6 人	96, 208
合 計		V 21 人 職員 31 人	315, 691

※ 体制の「V」は「ボランティア」

②平成 27 年台風 18 号による大雨等災害義援金活動（募金箱等）
合計 46, 091 円

※義援金総額 361, 782 円